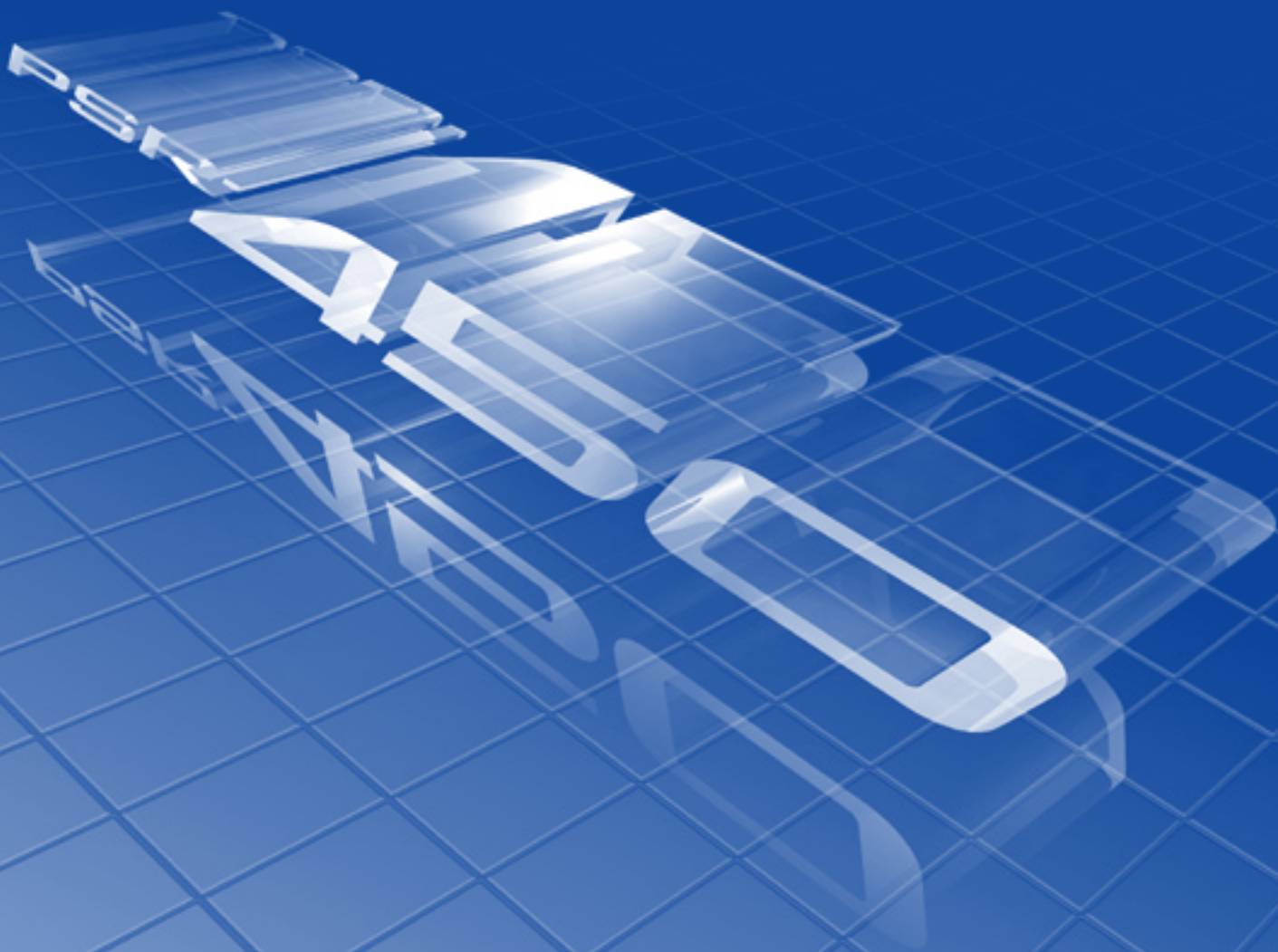




PORTATONE

PSR-450



取扱説明書



# 安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## ■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	-----------	---

	<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	-----------	--

# 警告

## 電源 / 電源アダプター



電源は必ず交流 100V を使用する。  
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの (PA-5D) を使用する。  
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

禁止

電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

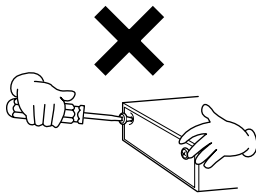
## 分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

禁止

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



## 水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。感電や火災、または故障の原因になります。

禁止



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

禁止

## 火に注意



本体の上にもろうそくなど火気のあるものを置かない。  
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

## 異常に気づいたら



電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

必ず実行

# ⚠ 注意

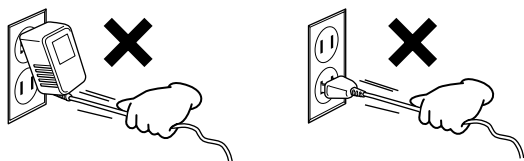
## 電源 / 電源アダプター



電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

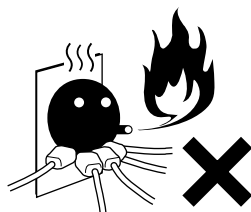
必ず実行



たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



## 乾電池



乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。

必ず実行



乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。

発熱、火災、液漏れの原因になります。

必ず実行



乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。

乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れてると破裂するおそれがあります。

禁止



使い切りタイプの乾電池は、充電しない。

充電すると液漏れや破裂の原因になります。

禁止



長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。

乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

必ず実行



乾電池は子供の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

禁止



乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。

禁止

## 設置



直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

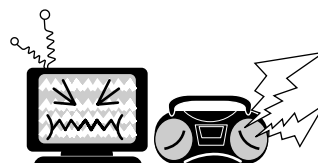
禁止



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。

楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

禁止



不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がかげがをしったりする原因になります。

禁止



本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々か転倒したりするおそれがあります。

必ず実行



指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

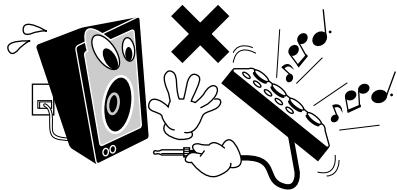
必ず実行

## 接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。  
感電または機器の損傷の原因になることがあります。



## 手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。  
本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

## 使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。  
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。  
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。  
本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしったりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



## データの保存

### 作成したデータの保存とバックアップ



必ず実行

乾電池が入っている場合、または電源アダプターが接続されている場合は、電源を切っても内部のデータ(41ページ)は保持されます。乾電池もアダプターもない状態では、このデータは消えてしまいます。大切なデータは、フロッピーディスクに保存してください。乾電池を交換する場合は、データを消してしまわないために、電源アダプターを接続した状態で行なってください。

### フロッピーディスクのバックアップ



必ず実行

保存したフロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のフロッピーディスクにバックアップとして保存されることをおすすめします。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態(電源スイッチが「STANDBY」の状態)でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

## フロッピーディスクの取り扱いについて

この楽器のフロントパネルにはフロッピーディスクドライブが装備されています。

ドライブに入れたフロッピーディスクと本体内部メモリーとの間では、保存/読み込み(セーブ/ロード)など、データのやりとりができます。フロッピーディスク(ドライブ)をご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

### ■使用できるフロッピーディスクの種類

3.5インチの2DD、または、2HDフロッピーディスクが使用できます。

### ■フロッピーディスクのフォーマット

- 新しいディスクや他の機器で使っていたディスクは、そのままでは使えない場合があります。この機器のドライブに入れてもディスクが読めない場合は、フォーマット(初期化)をする必要があります。フォーマットの方法59ページをご覧ください。なお、フォーマットを行なうとディスク内のすべてのデータは消去されます。あらかじめ、データの有無をご確認ください。

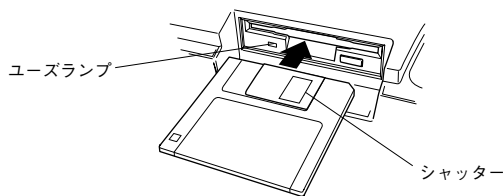
#### NOTE

- ・この機器でフォーマットしたフロッピーディスクは、そのままでは他の機器で使えない場合があります。

### ■フロッピーディスクの挿入/取り出し

#### ●フロッピーディスクの挿入

- ・フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、ディスク挿入口にカチッと音がするまでいねいに差し込みます。



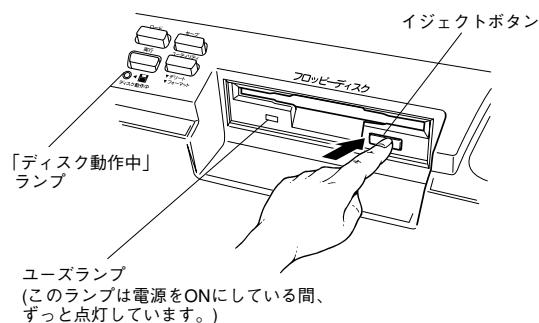
#### NOTE

- ・電源を入れると、ディスク挿入口左下のユーズランプは常に点灯して、フロッピーディスクドライブが使用可能であることを示します。
- ・フロッピーディスクドライブに、金属や紙片などの異物を入れないでください。ディスクがこわれたり、ディスクドライブユニットが故障したりする原因になります。

#### ●フロッピーディスクの取り出し

- ・あらかじめフロッピーディスクにアクセス中\*でないことを確認した上で、ディスク挿入口の右下にあるイジェクトボタンをしっかりと奥まで押します。フロッピーディスクが押し出されるので、取り出して(引き抜いて)ください。イジェクトボタンを中途半端に押したり、あわてて押ししたりすると、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなる場合は、無理に取り出そうとせず、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んでからやり直してください。

\*アクセス中：録音や再生、データ削除などの作業中を指します。また、電源が入っている状態でフロッピーディスクを挿入したときも、楽器本体がディスクの内容を確認するために自動的にアクセス中になります。



- ・アクセス中にフロッピーディスクを取り出したり、楽器本体の電源を切ったりしないでください。ディスク内容がこわれるだけでなく、ディスクドライブユニットの故障の原因になります。電源を切るときは、フロッピーディスクはあらかじめディスクドライブユニットから取り出してください。電源を切ったあと、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

### ■磁気ヘッドの定期的なクリーニング

- ディスクドライブユニットは高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生にエラーが生じることがあります。
- ディスクドライブユニットを良好な状態で使用いただくために、磁気ヘッドを定期的に(1か月に1回程度)クリーニングしていただくことをおすすめします。

#### NOTE

- ・磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、弊社推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

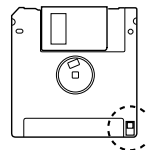
### ■フロッピーディスクについてのご注意

#### ●フロッピーディスクの取り扱いと保管

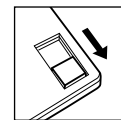
- ・(持ち運び場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落したり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。
- ・直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所に置かないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにご注意ください。
- ・ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- ・磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ・シャッターやディスク自体が変形しているようなディスクは、使用しないでください。
- ・フロッピーディスクにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

#### ●誤消去防止

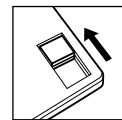
- ・フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまわないようにライトプロテクトタブ(書き込み禁止タブ)が付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして、書き込みができないようにしてください。逆に、データを保存する場合などは、ご使用前にディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。



フロッピーディスクの裏側



録音不可(演奏を録音できません。)



録音可(演奏を録音できます。)

#### ●データのバックアップ

- ・フロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータはバックアップとして予備のディスクに保存しておかれることをおすすめします。

#### NOTE

- ・市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご確認の上、お求めください。

## パネルロゴについて

PSR-450では、以下のロゴマークが付いている市販のミュージックソフト(フロッピーディスク)を扱うことができます。



・ディスク操作をする場合は、電源アダプターの使用をおすすめします。ディスク操作中に電池がなくなると、PSR-450のデータやディスクのデータが失われる恐れがあります。



### GMシステムレベル1

GM規格に準拠した音色配列を利用して、収録されているソングを再生することができます。

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。PSR-450はGMシステムレベル1に対応しています。



### スタイルファイル

スタイルファイルフォーマットとは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した統一フォーマットです。



### XGライト

「XGlite」はヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGlite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただし、「XGlite」ではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので、「XG」のソングデータが元のデータと異なって聞こえる場合があります。

### ● 付属品について

PSR-450の付属品を確認してください。

- ・ 本体
- ・ 電源アダプター
- ・ 譜面立て
- ・ 和文シート
- ・ 取扱説明書
- ・ データディスク
- ・ 保証書

### 音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

- ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

- ・ Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

## ごあいさつ

このたびはヤマハポータートーンPSR-450をお買いもとめいただき、  
まことにありがとうございます。PSR-450のさまざまな機能を十分に活用するために、  
この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。  
なお、読み終わったあとも、保証書とともに大切に保管して、  
操作のしかたがわからないときにお読みください。

## PSR-450の特長

### ■ ミュージックデータベース ..... 16ページ

演奏したいジャンルの音楽を選ぶことにより、自動的にそのジャンルに最適なスタイルや楽器音色(ボイス)が選ばれます。

### ■ フロッピーディスクドライブ.....54ページ

鍵盤での演奏を録音したユーザーソングデータなどPSR-450上で作ったデータを、フロッピーディスクにバックアップとして保存できます(55ページ)。ユーザーソングは、GM音色配列のスタンダードMIDIファイルとしてフロッピーディスクに保存することもできる(57ページ)ので、GM対応であれば他の楽器で鳴らすこともできます。また、別売のGMソングを、本体内部メモリーに読み込ませることなくディスクを挿入するだけで鳴らすことができます(54ページ)。

### ■ グランドピアノ .....24ページ

楽器音色(ボイス)、ソング、スタイルのすべてを、ワンタッチでピアノ練習に適した設定に切り替える機能です。

### ■ イージーパフォーマー .....50ページ

「このソングを弾きたいけどうまく弾けない」このようなとき、イージーパフォーマーが助けてくれます。

#### ● [L]左手、[R]右手 ..... 50ページ

演奏したいパートを[L]ボタン(左手)、[R]ボタン(右手)で選び、演奏のタイミングに合わせて鍵盤を押します。押す鍵盤を間違えてもタイミングがあてればメロディやコードが正しく鳴ります。

#### ● ディクショナリー ..... 46ページ

和音の押さえ方を画面に表示してくれます。

- 微妙なニュアンスを表現できるタッチレスポンス付61鍵キーボード。
- 高音質でバラエティ豊かな楽器音色135音色+12ドラムキット+480XG。最大発音数は32音。
- いろいろな音楽ジャンルの演奏が楽しめる140種類のスタイル機能。
- 最大16種類のパネル設定(楽器音色・スタイルなどの設定)が記憶でき、演奏中もワンタッチで呼び出せるレジストレーション機能。
- 演奏に効果的なデジタルエフェクト(リバーブ/DSP/ハーモニー)を内蔵。
- 弾いた演奏をPSR-450内に録音できるソングメモリー機能。  
ユーザーソング5曲、6トラック：5トラック(メロディ)+1トラック(スタイル)
- パネルの設定状態、コード表示などを一目で確認できる大型液晶画面。
- 音楽表現の可能性を広げるMIDI機能(GMシステムレベル1対応)。
- 自分の感覚でテンポの設定ができるタップテンポ機能。



# 目次

<b>演奏の準備</b>	<b>10</b>
電源の準備	10
電源を入れる	10
ヘッドフォン/外部出力端子について	11
フットスイッチ端子について	11
MIDI端子について	11

<b>各部の名称</b>	<b>12</b>
--------------	-----------

## クイックガイド

<b>ステップ1</b>	
<b>ソング (SONG) を鳴らしましょう</b>	14
デモソングを聞く	14
好きなソングを1曲選んで聞く	14

<b>ステップ2</b>	
<b>ミュージックデータベースを使って弾いてみましょう</b>	16
ミュージックデータベース	16
ミュージックデータベースの設定内容	17

<b>ステップ3</b>	
<b>スタイルを使って弾いてみましょう</b>	18
リズムだけを再生する	18
左手でコードを押さえてスタイルを鳴らす	19
スタイルのパターンに変化を付ける(セクション)	20
スタイル再生に関する便利な機能	22
スタイルのスタート方法	22
スタイルのストップ方法	23
スタイル音量の設定	23

<b>ステップ4</b>	
<b>いろいろな楽器音色(ボイス)で弾いてみましょう</b>	24
グランドピアノの音で弾いてみましょう	24
メトロノームを鳴らしながら弾いてみましょう	24
メトロノームを鳴らす/止める	24
テンポを設定する	24
拍子を設定する	25
メトロノーム音量を設定する	25
いろいろな楽器音色(ボイス)を選んで弾いてみましょう	26
楽器音色(ボイス)が自動的に選ばれる(ワンタッチセッティング)	27
ドラムキットを鳴らしてみましょう	27
右手と左手で別々の楽器音色(ボイス)が演奏できる	28
ワンタッチで鍵盤をスプリット状態にする	28
スプリットポイントの変更	28
2つの楽器音色(ボイス)を重ねて鳴らす(デュアルボイス)	29
メインボイスとデュアルボイスの設定	29

<b>ステップ5</b>	
<b>いろいろな効果を付けて演奏してみましょう</b>	30
ピッチをホイールで変えるピッチベンド	30
ピッチの変化幅を設定する	30
右手のメロディーにハーモニーを付ける	31
ハーモニーのタイプを選ぶ	31
ハーモニーを付けて演奏する	32
演奏した音にリバーブ(残響効果)を付ける	32
演奏した音にDSP効果を付ける	33

<b>ステップ6</b>	
<b>演奏を録音してみましょう</b>	34
演奏を録音する	34
ユーザーソングの消去(クリア)	36
ソングクリア	36
トラッククリア	37

<b>基本操作と画面の見かた</b>	<b>38</b>
--------------------	-----------

<b>バックアップデータと初期化(イニシャライズ)の方法</b>	<b>41</b>
バックアップデータ	41
初期化(イニシャライズ)の方法	41

<b>演奏するときの機能</b>	<b>42</b>
鍵盤を弾く強弱で音量を変える(タッチレスポンス)	42
タッチレスポンスのオン/オフ	42
タッチ感度を設定する	42
ピッチを半音単位で変えるトランスポーズ	43
ピッチを微調整するチューニング	43

<b>スタイルコードの押さえ方</b>	<b>44</b>
指1~3本で簡単にコードを指定する方法	44
構成音を正確に押さえてコードを指定する方法	44
ディクショナリーでコードを調べる	46

<b>ソングを鳴らすときの機能</b>	<b>48</b>
ソングのメロディ音色を変更する	48
ソング音量	48
くり返し演奏	49

<b>イージーパフォーマー</b>	<b>50</b>
イージーパフォーマーでソングを弾いてみる	50

<b>パネルの設定を保存する(レジストレーションメモリー)</b>	<b>52</b>
現在のパネルの設定状態を保存する	52
保存したパネルの設定を呼び出す	53

<b>フロッピーディスクにセーブ/ロードする</b>	<b>54</b>
ディスクソングを鳴らす	54
トラックのオクターブを変更する	55
データをセーブ	55
ロード	57
消去	58
フォーマット(フロッピーディスクの初期化)	59

<b>MIDI機器の接続</b>	<b>62</b>
MIDIって何?	62
MIDIでできること	63
パーソナルコンピューターと接続する	64
ローカルオン/オフを設定する	64
PSR-450のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)	65
クロックを設定する	66

<b>楽器リスト</b>	67
最大同時発音数について	67
<b>ドラムキットリスト</b>	74
<b>スタイルリスト</b>	76
<b>ミュージックデータベースリスト</b>	77
<b>エフェクトタイプリスト</b>	78
<b>MIDIインプリメンテーションチャート</b>	80
<b>MIDIデータフォーマット</b>	81
エフェクトマップ	82
<b>故障かな?と思ったら</b>	83
<b>仕様一覧</b>	84
<b>インデックス</b>	85
<b>保証とアフターサービス</b>	87

# 演奏の準備

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

## ■ 電源の準備

PSR-450は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

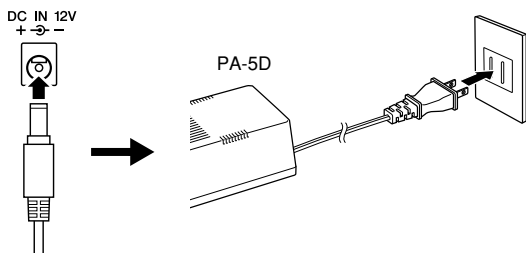
### 家庭用コンセントから電源をとるときは

- ① 本体の電源スイッチが切れている(スタンバイになっている)ことを確認してください。

❗ 電源アダプターをご使用になる場合は、付属のアダプターPA-5Dをご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

- ② アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 12V (電源アダプター接続)端子にさし込みます。
- ③ アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。

❗ 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

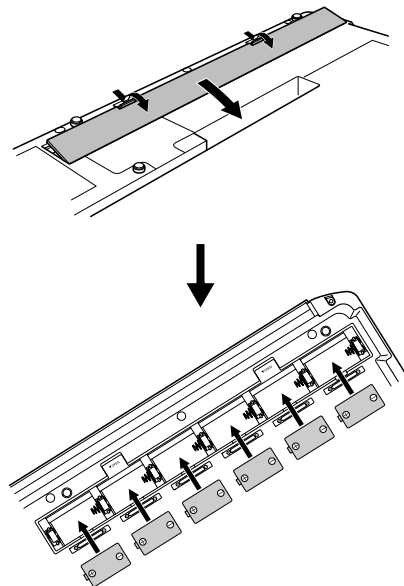


### 乾電池を使うときは

- ① PSR-450を柔らかい布などの上で裏返し、電池ぶたをはずします。
- ② 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池ぶたを閉めます。

#### NOTE

・乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり画面の表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

- ❗ 乾電池はすべて+/−の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ❗ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- ❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。
- ❗ フロッピーディスクドライブを使用する場合(ソングの録音/再生やデータのセーブ、ロードなど)、特に電力消費が大きいので電源アダプターのご使用をおすすめします。ディスクに録音/セーブ中に、乾電池が消耗すると、ディスクに録音/セーブしようとしたデータだけでなく、内蔵メモリーに録音されていたユーザーソング、レジストレーションメモリーなどのデータも失われますので、ご注意ください。

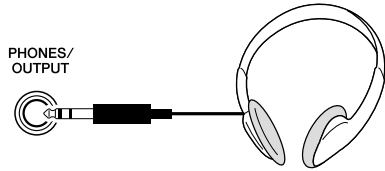
## ■ 電源を入れる

[電源 入/切](STANDBY/ON) スイッチを押すと、電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。

❗ スイッチが「切」の状態でも微電流が流れています。PSR-450を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。



## ■ ヘッドフォン/外部出力端子について ●



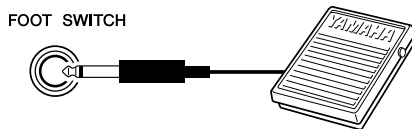
接続すると自動的にPSR-450のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT 端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、PSR-450の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

⊘ ・大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

⚠ ・PSR-450を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

## ■ フットスイッチ端子について ●



別売のフットスイッチ (FC4 または FC5) をこの端子に接続すると、スイッチ操作でサステインのオン/オフができます。

### NOTE

- ・フットスイッチを使用するときは、FOOT SWITCH端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。
- ・フットスイッチを踏みながら電源を入れしないでください。踏みながら電源を入れると、オン/オフが逆になります。

## ■ MIDI端子について ●

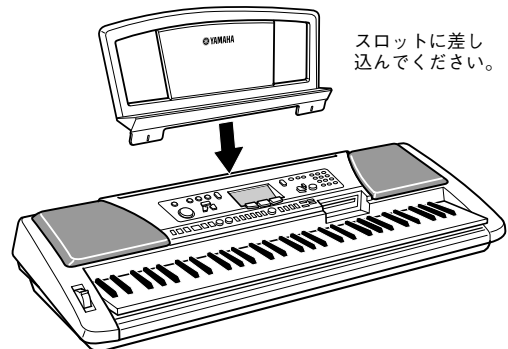
IN — MIDI — OUT



MIDI IN 端子は外部のMIDI機器からMIDI信号を受信します。MIDI OUT端子はPSR-450からMIDI信号(PSR-450で演奏した音符やキーをたたいた強さなど)を他の機器に送ります。

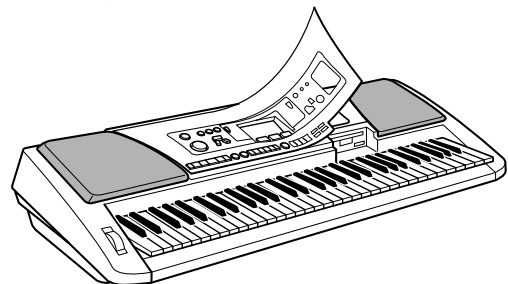
- ⚠ ・MIDIケーブルは楽器店などで買い求めください。
- ⚠ ・MIDIケーブルは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、誤動作などトラブルの原因になりますのでご注意ください。

### ● 譜面立ての取り付け方



### ● 和文シート

付属の和文シートをパネルにのせてご利用ください。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



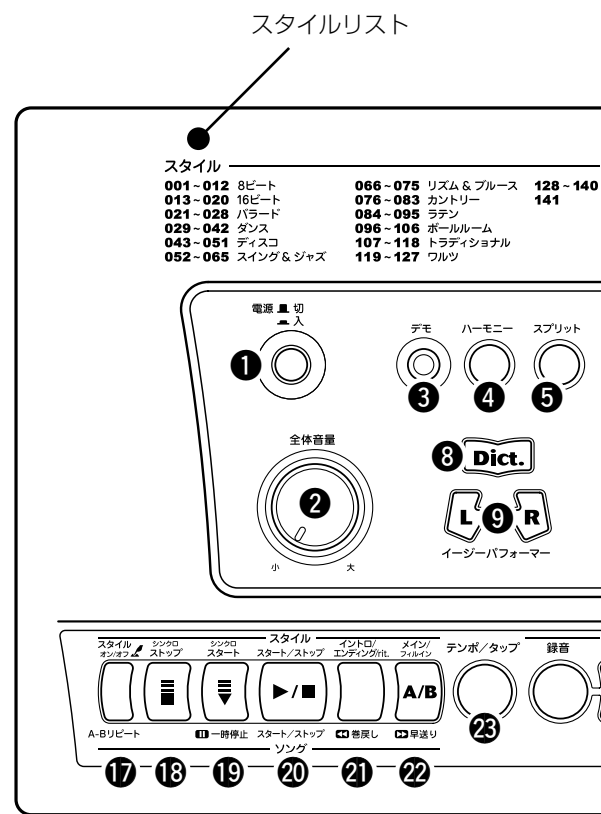
# 各部の名称

## ■ フロントパネル

- ① [電源 入/切](STANDBY/ON) スイッチ ..... 10ページ
- ② [全体音量](MASTER VOLUME) コントロール ..... 38ページ
- ③ [デモ](DEMO) ボタン ..... 14ページ
- ④ [ハーモニー](HARMONY) ボタン ..... 31ページ
- ⑤ [スプリット](SPLIT) ボタン ..... 28ページ
- ⑥ メニュー [L]、[R] ボタン ..... 38ページ
- ⑦ [デュアル](DUAL)、[設定 ▲/▼](SETTING ▲/▼) ボタン ... 29ページ
- ⑧ [Dict.](ディクショナリー) ボタン ..... 46ページ
- ⑨ [イーザーパーフォーマー](EASY PERFORMER) ボタン ..... 50ページ
- ⑩ [SONG](ソング) ボタン ..... 14ページ
- ⑪ [STYLE](スタイル) ボタン ..... 18ページ
- ⑫ [VOICE](ボイス) ボタン ..... 26ページ
- ⑬ [グランドピアノ](PORTABLE GRAND) ボタン ..... 24ページ
- ⑭ [メトロノーム](METRONOME) ボタン ..... 24ページ
- ⑮ [タッチレスポンス](TOUCH) ボタン ..... 42ページ
- ⑯ 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-] ..... 39ページ
- ⑰ [スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタン/  
[A-Bリピート](A-B REPEAT) ボタン ..... 19、49ページ
- ⑱ [シンクロストップ](SYNC STOP) ボタン ..... 22ページ
- ⑲ [シンクロスタート](SYNC START) ボタン/  
[一時停止](PAUSE) ボタン ..... 22、15ページ
- ⑳ [スタート/ストップ](START/STOP) ボタン/ ..... 15、18ページ
- ㉑ [イントロ/エンディング/rit.]  
(INTRO/ENDING/rit.) ボタン/  
[巻戻し](REW) ボタン ..... 15、21ページ
- ㉒ [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタン/  
[早送り](FF) ボタン ..... 15、20ページ
- ㉓ [テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタン ..... 22ページ
- ㉔ ソングメモリー (SONG MEMORY)  
[録音](REC)、[1]～[5]、[A] ボタン ..... 34ページ
- ㉕ [ミュージックデータベース](M.D.B.) ボタン ..... 16ページ
- ㉖ レジストレーションメモリー (REGIST. MEMORY)  
[メモリー](MEMORY)、[1]、[2]、  
[バンク](BANK) ボタン ..... 52ページ
- ㉗ [フロッピーディスクドライブ](FLOPPY DISK DRIVE) ..... 54ページ
- ㉘ [ピッチバンド](PITCH BEND) ホイール ..... 30ページ

## ■ リアパネル

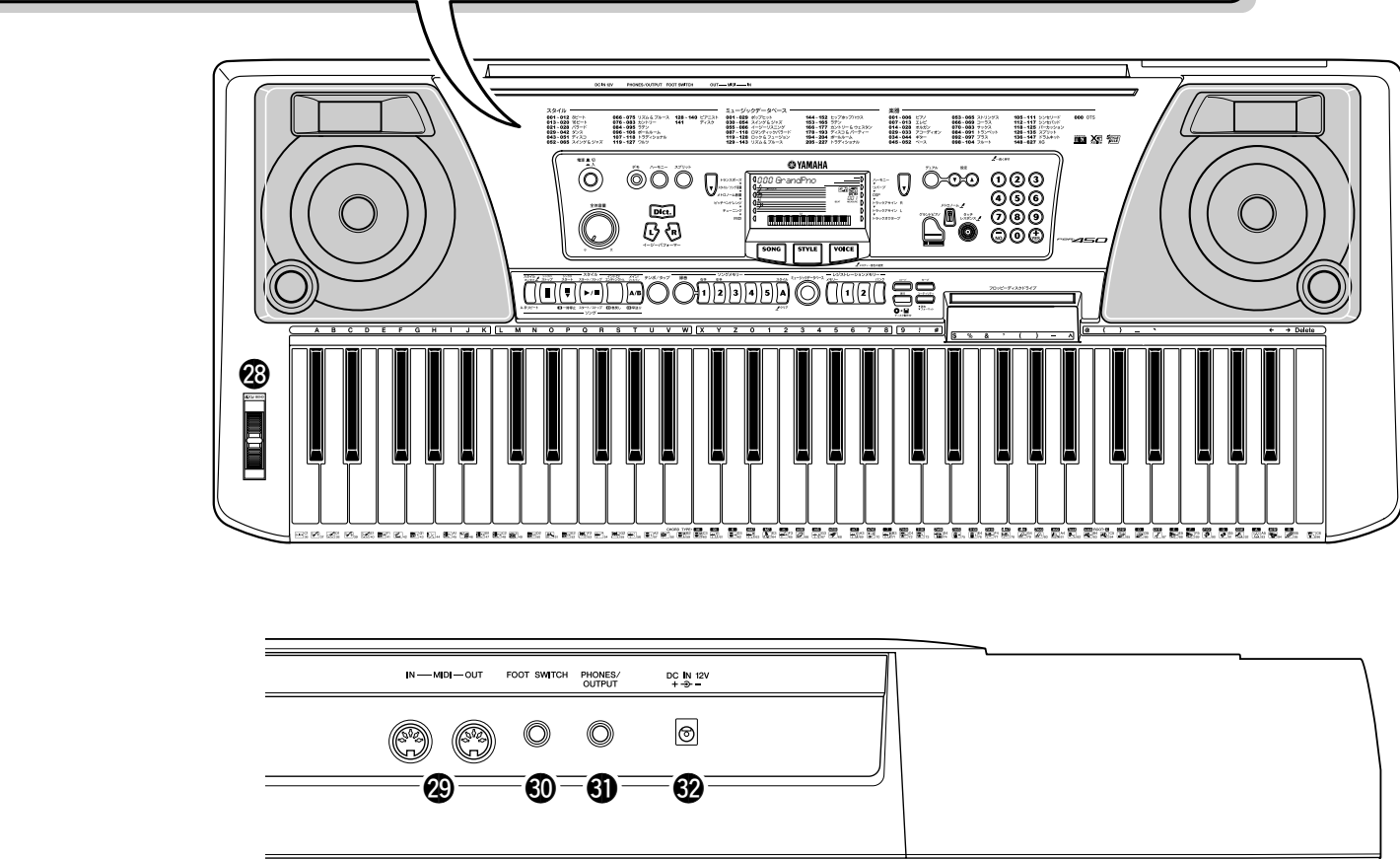
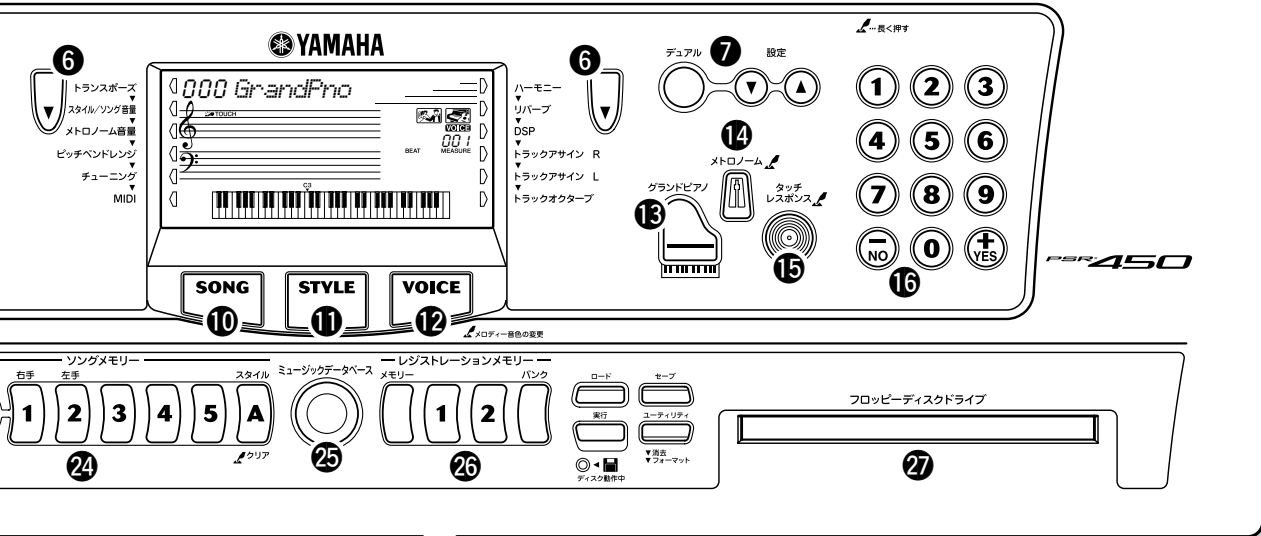
- ㉙ MIDI IN/OUT端子 ..... 11ページ
- ㉚ FOOT SWITCH(フットスイッチ)端子 ..... 11ページ
- ㉛ PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力)端子 ..... 11ページ
- ㉜ DC IN 12V(電源アダプター)端子 ..... 10ページ



ミュージックデータベースリスト

楽器リスト

ミュージックデータベース		楽器	
001 - 029	ポップヒット	001 - 006	ピアノ
030 - 054	スイング&ジャズ	007 - 013	エレピ
055 - 086	イージーリスニング	014 - 028	オルガン
087 - 118	ロマंटックバラード	029 - 033	アコーディオン
119 - 128	ロック&フュージョン	034 - 044	ギター
129 - 143	リズム&ブルース	045 - 052	ベース
144 - 152	ヒップホップハウス	053 - 065	ストリングス
153 - 165	ラテン	066 - 069	コーラス
166 - 177	カントリー&ウェスタン	070 - 083	サクソ
178 - 193	ディスコ&パーティー	084 - 091	トランペット
194 - 204	ボールルーム	092 - 097	ブラス
205 - 227	トラディショナル	098 - 104	フルート
		105 - 111	シンセリード
		112 - 117	シンセパッド
		118 - 125	パーカッション
		126 - 135	スプリット
		136 - 147	ドラムキット
		148 - 627	XG

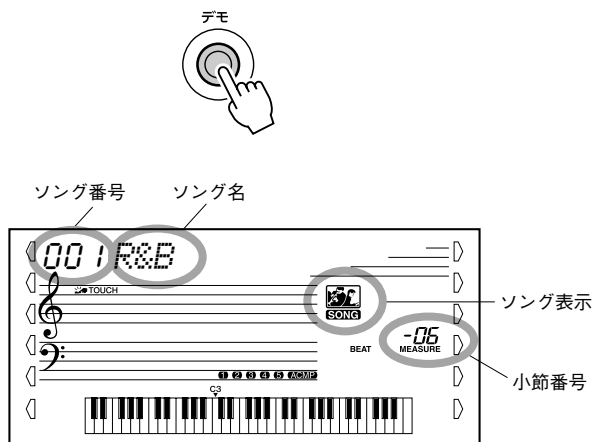


# ソング (SONG) を鳴らしましょう

PSR-450にはデモソングが5曲入っています。まずデモソングを鳴らしてみましょう。

## デモソングを聞く

[デモ] (DEMO) ボタンを押します。  
デモソングをソング番号順に、連続して再生します。



[ソングリスト]

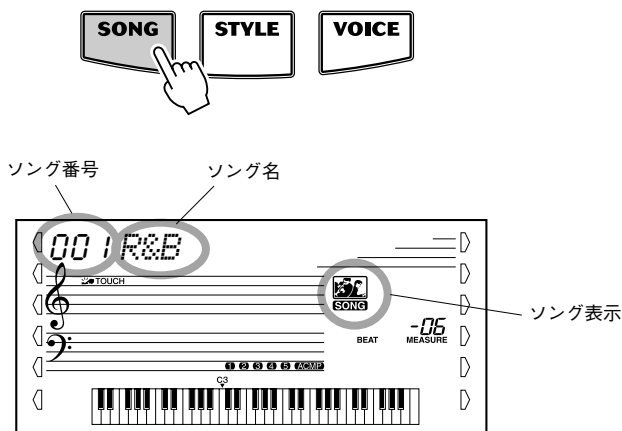
ソング番号	ソング名
001	リズム&ブルース
002	ポップバラード
003	ダンス
004	ボサノバ
005	スイング

[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンまたは [デモ] (DEMO) ボタンを押すと、デモソングがストップします。

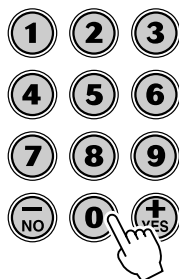


## 好きなソングを1曲選んで聞く

1 [SONG] (ソング) ボタンを押します。



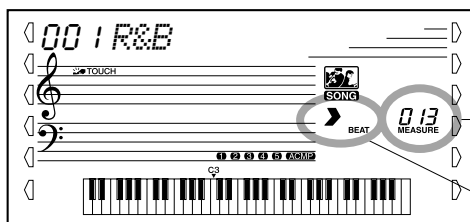
## 2 数字ボタン [0]～[9]、[+]、[-] でソング番号を選びます。



001～005	デモソング (ソングリストについては、14ページ参照。)
006～010	ユーザーソング (自分で録音したソング)
011～109	ディスクソング (ディスクにSMFで記録したソングデータがある場合、ディスクを差し込むとこの番号が表示されます。SMFについては、54ページ参照。)

## 3 ソングをスタート/ストップします。

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングがスタートします。ソングに合わせて鍵盤演奏もできます。もう一度[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングがストップします。



現在の小節番号を表示

現在の拍を表示

### ● その他の操作

- [一時停止](PAUSE) ボタン.....ソングを一時停止します。もう一度押すと一時停止した位置から再生がスタートします。
- [早送り](FF) ボタン.....再生中に押すとソングを早送りします。停止中に押すと小節番号が増加します。
- [巻戻し](REW) ボタン.....再生中に押すとソングを巻き戻します。停止中に押すと小節番号が減少します。巻戻し中は、ソングは再生されません。

## ミュージックデータベースを使って弾いてみましょう

自分の好きなジャンルの音楽を演奏したいけれども、楽器音色(ボイス)やスタイルなどのパネル設定をどのようにしたらよいかわからない。そんなときは、ミュージックデータベースの中から、あなたの好きな音楽ジャンルを選んでください。

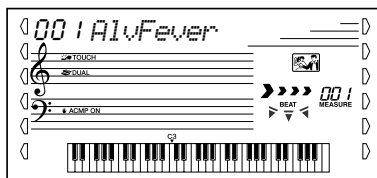
PSR-450は、ジャンルに合ったパネル設定になります！

## ミュージックデータベース

## 1 [ミュージックデータベース](M.D.B.)ボタンを押します。

画面にミュージックデータベース名が表示されます。

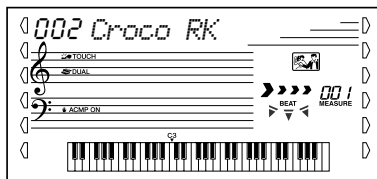
ミュージックデータベース



## 2 ミュージックデータを選びます。

パネル上のリストや巻末のリストを参考に数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押して好みのミュージックデータベースを選びます。

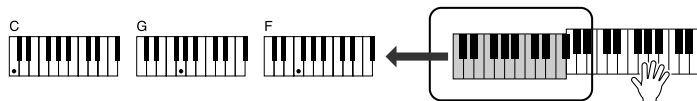
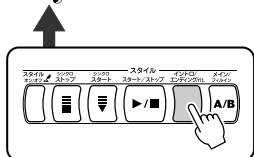
あなたが演奏したいと思う曲のイメージに合ったものを選んでみましょう。



ここでは「227」を選び、下記の楽譜「きよしこの夜」を弾いてみましょう。

♩ = 100

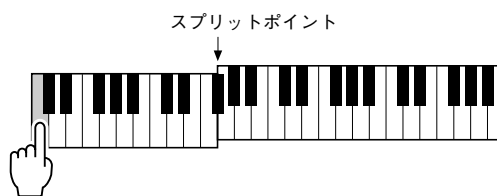
きよしこの夜





### 3 左手でコードを押すと、スタイルがスタートします。

たとえばCを押さえてみましょう。

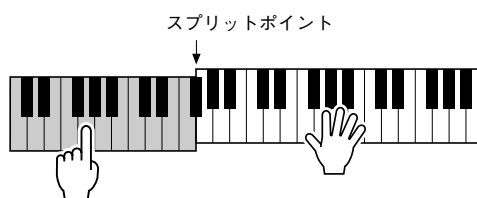


#### NOTE

・鍵盤の機能を左右で分割するポイントのことをスプリットポイントと言います。(28ページ参照)

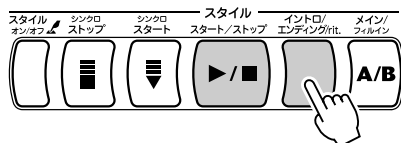
### 4 楽譜にしたがって、左手でコードを押し、右手でメロディを弾いてみましょう。

コードの押さえ方については44ページを参照してください。



### 5 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンまたは[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、再生がストップします。

エンディングについては20ページを参照してください。



## ミュージックデータベースの設定内容

#### ■ 楽器音色 (ボイス)に関する設定

・メイン：楽器音色、ボリューム、リバーブデプス、DSPデプス.....	29ページ
・デュアル：オン/オフ、楽器音色、オクターブ、ボリューム、リバーブデプス、DSPデプス.....	29ページ
・リバーブタイプ.....	32ページ
・DSPタイプ.....	33ページ
・ハーモニーオン/オフ.....	31ページ
・ハーモニータイプ.....	31ページ
・トランスポーズ.....	43ページ

#### ■ スタイルに関する設定

・シンクロスタート=オン*.....	22ページ
・スタイル番号.....	18ページ
・スプリットポイント.....	28ページ
・メインA/メインB.....	20ページ
・テンポ.....	24ページ
・スタイル音量.....	23ページ

\* スタイルが停止しているときだけ設定できます。

# スタイルを使って弾いてみましょう

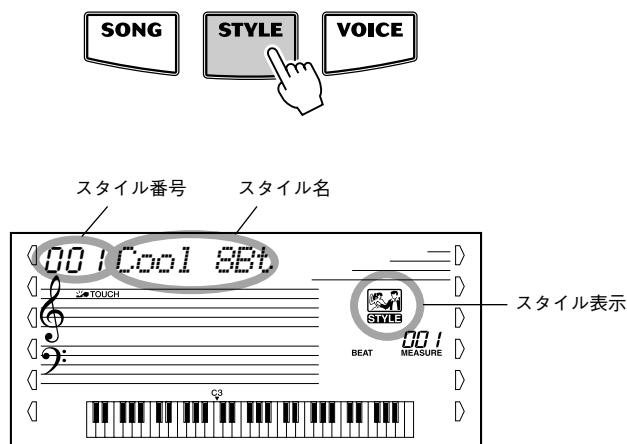
この楽器には、左手でコードを押さえるだけで、自動的にそのコードに合った伴奏(ベース+ドラム+ギターなど)を鳴らす、自動伴奏機能(スタイル)があります。

スタイルは140種類の中から選べます。

また付属のフロピーディスクにはスタイルファイルが入っています。このデータをロードする(読み込む)と、自動的に141番のスタイルとして、その他のスタイル同様に使用することができます。(データの読み込みは57ページ参照)

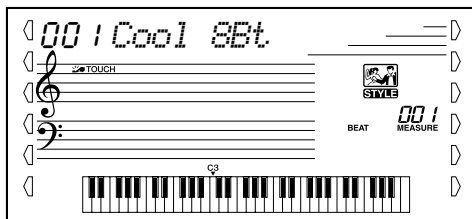
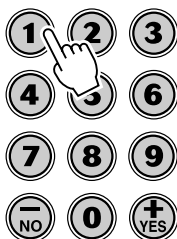
## リズムだけを再生する

1 [STYLE](スタイル) ボタンを押します。

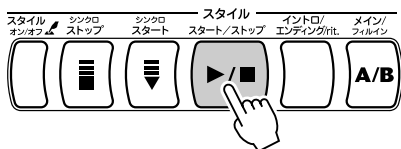


2 スタイルを選びます。

パネル上のリストや巻末のスタイルリスト(76ページ)を参考にして、数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押してスタイルを選びます。



3 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、スタイルのリズムだけがスタートします。もう一度[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ストップします。



### NOTE

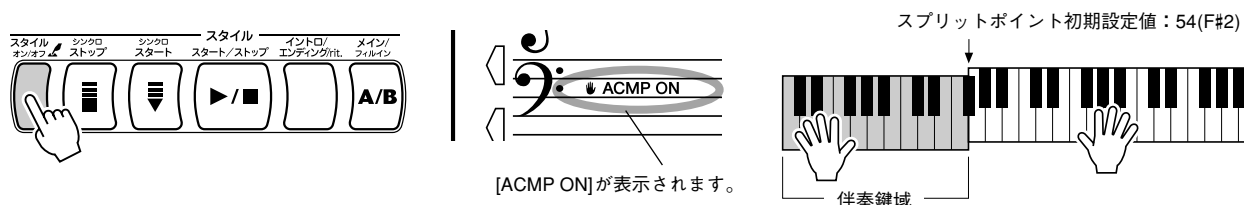
・128~140のピアニストスタイルや121のギターセレーナーは、ドラムパートのないスタイルのため、ドラム音は鳴りません。これらのスタイルをお使いのときは、スタイル オン/オフをオンにして演奏してください(ドラムパート以外の伴奏が鳴ります)。スタイル オン/オフについては19ページを参照してください。

## 左手でコードを押さえてスタイルを鳴らす

- 1 [STYLE](スタイル) ボタンを押します。
- 2 スタイルを選びます。
- 3 スタイルをオンにします。  
[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押します。  
鍵盤の左手側(伴奏鍵域)がスタイルのコードを押さえるための鍵域になります。

**NOTE**

・左手(伴奏鍵域)と右手(メロディ鍵域)の境をスプリットポイントといいます。  
スプリットポイントの変更は28ページを参照してください。

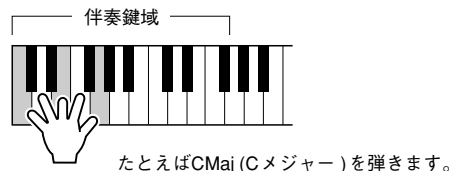


- 4 シンクロスタートをオンにします。  
[シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押します。

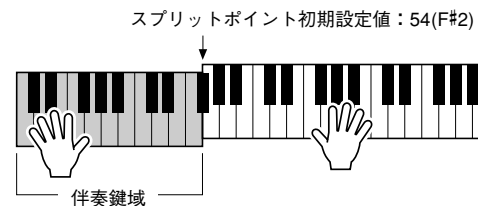


シンクロスタートをオンにすると、スタイルの待機状態になり、左手で演奏を始めると同時にスタイルが再生されます。

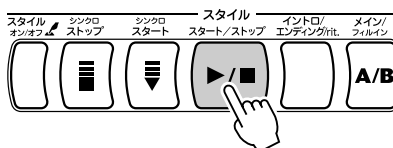
- 5 左手でコードを弾くとスタイルがスタートします。



- 6 左手でいろいろなコードを押してみましょう。  
コードの押さえ方については44ページを参照してください。

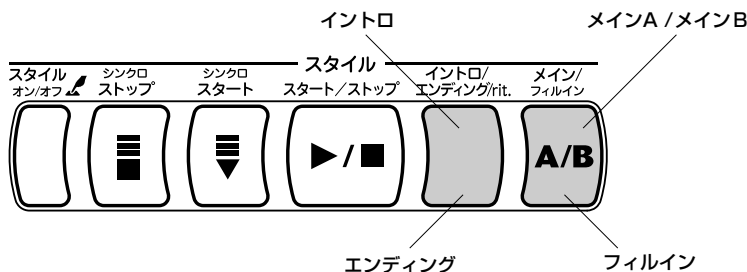


- 7 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、スタイルがストップします。



## スタイルのパターンに変化を付ける(セクション)

演奏を盛り上げるために、同じスタイルの中にも下記のバリエーションが用意されています。それが「セクション」です。



### ● イントロ (INTRO) セクション

曲の始まりに適したセクションです。イントロの演奏が終了するとメインに移ります。イントロの小節数はスタイルによって異なります。

### ● メイン (MAIN) セクション

曲のメイン部分の演奏で使います。他のセクションボタンを押すまで、数小節(2~4小節)のスタイルパターンをくり返し演奏します。A/Bのバリエーションがあり、左手で押さえたコードに基づいたスタイルが演奏されます。

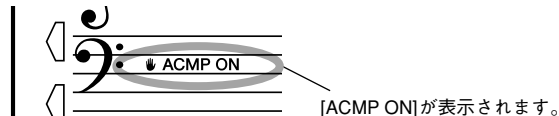
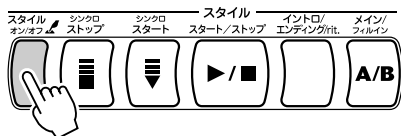
### ● フィルイン (FILL IN) セクション

フィルインは、曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中に[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを押すと、フィルインが自動的に演奏され(AUTO FILL: フィルイン)、スタイルにアクセントを付けることができます。フィルインの演奏が終了するとメイン(A/B)が変わります。

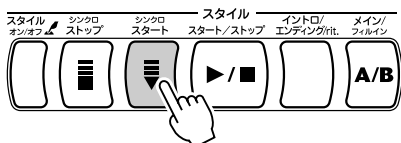
### ● エンディング (ENDING) セクション

曲の終わりに適したセクションです。エンディングセクションの演奏が終わると、スタイルはストップします。エンディングセクションの小節数はスタイルによって異なります。

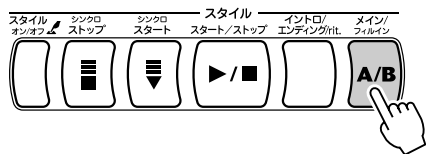
- 1 [STYLE](スタイル) ボタンを押します。
- 2 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]でスタイルを選びます。
- 3 スタイルをオンにします。  
[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押します。



- 4 シンクロスタートをオンにします。  
[シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押します。

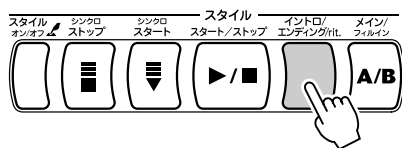


## 5 [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを押します。



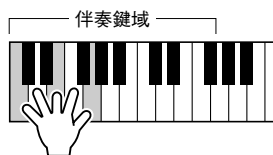
イントロに続くセクションA/Bを選びます。

## 6 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押します。



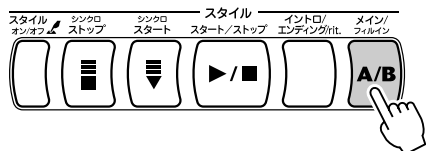
## 7 左手でコードを押すと、スタイルのイントロセクションがスタートします。

たとえばCMaj(Cメジャー)を押さえてみましょう。  
コードの押さえ方については44ページを参照してください。



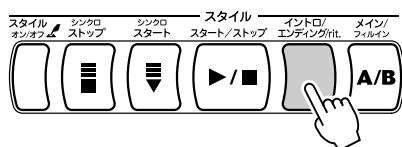
イントロに続いて手順5で選んだセクションが再生されます。

## 8 [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを自由に押します。



フィルインを演奏したあとメインセクションA/Bが変わります。

## 9 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押します。



エンディングセクションの演奏に切り替わります。エンディングセクションの演奏が終わるとスタイルはストップします。

エンディングセクションの再生中にもう1度[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、リタルダンドして(だんだん遅くなって)スタイルはストップします。

## スタイル再生に関する便利な機能

### ■ スタイルのスタート方法.....

スタイルのスタート方法には、次の3種類があります。

どのスタート方法でも、スタート前に[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押してイントロを指定しておく、イントロを再生してからメインパターンを再生します。

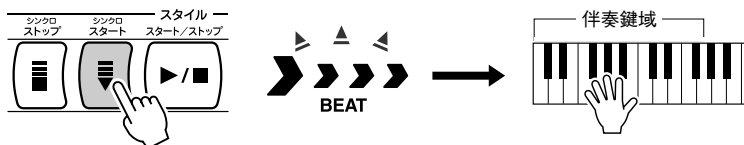
#### ● すぐにスタート

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すとすぐにスタイルがスタートし、選ばれているスタイルのリズムだけが鳴ります。

伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードが鳴ります。

#### ● 鍵盤を弾くとスタート

[シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押すとビート表示が点滅し、シンクロスタート待機状態になります。スタイル オン/オフがオンのときは、伴奏鍵域でコードを弾くとスタイルがスタートし、オフのときは、どの鍵盤を弾いてもリズムだけがスタートします。



#### ● 自分でカウントを出してスタート

4拍子なら4回、3拍子なら3回、弾きたいテンポで[テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押します。

ボタンを押したタイミングのテンポで、スタイルがスタートします。

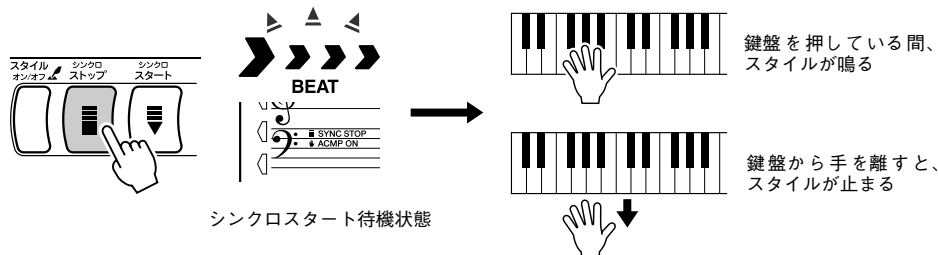


#### ● コードを弾くとスタート、手を離すとストップ

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押して、スタイルをオンにします。画面内のACMP ON が点灯します。

[シンクロストップ](SYNC STOP) ボタンを押します。シンクロスタート待機状態になり、ビート表示が点滅します。スタートの動作はシンクロスタートと同じです。

伴奏鍵域でコードを弾くとスタイルがスタートします。ただし、伴奏鍵域から手を離すとスタイルが止まり、シンクロスタート待機状態に戻ります。つまり、伴奏鍵域で弾いている間だけスタイルが鳴ります。

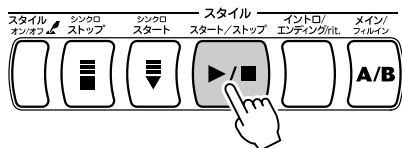


## ■ スタイルのストップ方法.....

スタイルのストップ方法には、次の3種類があります。

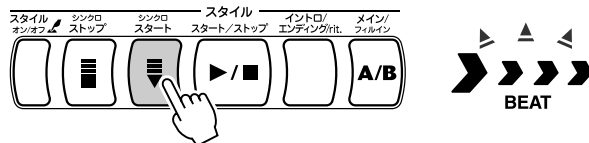
### ● すぐにストップ

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、すぐにスタイルがストップします。



### ● すぐにストップしてシンクロスタート待機

[シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押すとすぐにスタイルがストップし、シンクロスタート待機状態(ビート表示が点滅)になります。



### ● エンディングを鳴らしてストップ

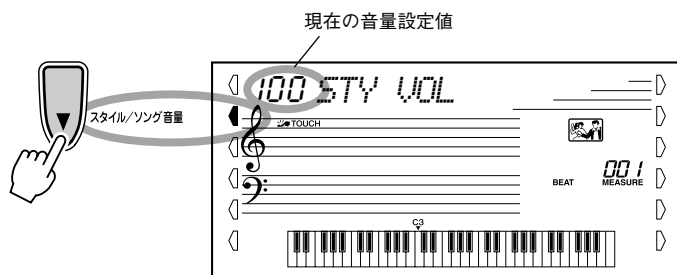
[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、エンディングを鳴らしたあとでストップします。

また、エンディング再生中にもう一度 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、エンディングにリタルダンド(だんだん遅くなる)がかり、ストップします。

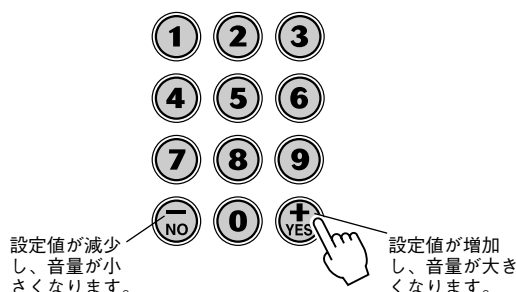
## ■ スタイル音量の設定.....

スタイル全体の音量を設定して、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。

### 1 メニュー [L] ボタンを押して、「スタイル/ソング音量」(STYLE/SONG VOLUME) を選びます。



### 2 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押して、スタイルの音量を000~127の範囲で変更します。



#### NOTE

- ・ 数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。
- ・ スタイル音量は、スタイルが選ばれているとき設定できません。

# いろいろな楽器音色(ボイス)で弾いてみましょう

## グランドピアノの音で弾いてみましょう

PSR-450はさまざまな機能を持っていますが、「とにかくピアノの音で弾きたい」というときには、[グランドピアノ](PORTABLE GRAND) ボタンを押します。

[グランドピアノ](PORTABLE GRAND) ボタンを押すと、PSR-450のすべての設定がピアノ演奏用にワンタッチで切り替わります。

● [グランドピアノ] ボタンを押して設定される内容

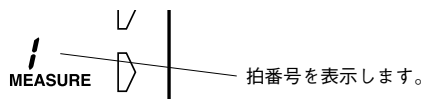
- ・楽器音色(ボイス) .....グランドピアノ
- ・タッチレスポンス .....オン
- ・メトロノーム .....オフ
- ・ハーモニー .....オフ
- ・スプリットポイント .....54(F#2)
- ・スタイル .....オフ
- ・デュアル .....オフ

## メトロノームを鳴らしながら弾いてみましょう

PSR-450には鍵盤練習に欠かせないメトロノーム機能があり、自由にテンポ設定、拍子設定ができます。

### ■ メトロノームを鳴らす/止める.....

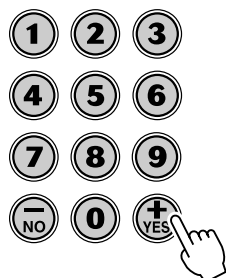
[メトロノーム](METRONOME) ボタンを押すとメトロノームの音がスタートします。メトロノームは、1拍目に「チーン」という音が鳴ります。



もう一度[メトロノーム](METRONOME) ボタンを押すとメトロノームの音がストップします。

### ■ テンポを設定する.....

テンポを変更するときは、[テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押し、数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を使って変更します。



NOTE

・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、初期設定値に戻ります。



## ■ 拍子を設定する.....

メトロノームの拍子は、ソングやスタイルを選択したとき自動的に設定されます。  
 選択されているソングやスタイルの拍子と違う拍子でメトロノームを鳴らしたい場合は、  
 下記手順で操作してください。

**1** [メトロノーム](METRONOME)ボタンを1秒以上押して、メトロノーム拍子設定画面を呼び出します。

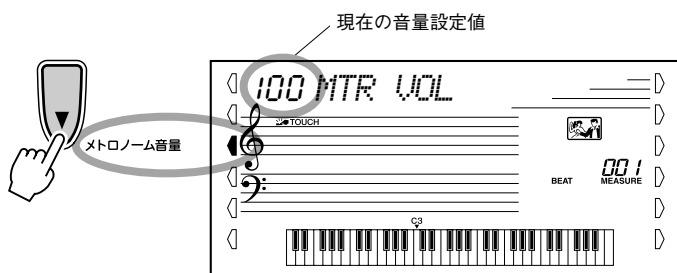
**2** 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押して、使いたい拍子を選択します。



数字ボタン	拍子
00	— (チーンという音が鳴らない状態)
01	1拍子 (すべての拍でチーンという音が鳴ります。)
02	2拍子
03	3拍子
04	4拍子
05	5拍子
06	6拍子
07	7拍子
・	・
15	15拍子

## ■ メトロノーム音量を設定する.....

**1** メニュー [L]ボタンを押して、「メトロノーム音量」(METRONOME VOLUME)を選びます。



**2** 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押して、メトロノームの音量を000~127の範囲で変更します。



**NOTE**  
 ・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

## いろいろな楽器音色(ボイス)を選んで弾いてみましょう

PSR-450では、先進のAWM(アドバンストウェーブメモリー)音源を使った高品位な楽器音色627種類を鳴らすことができます。

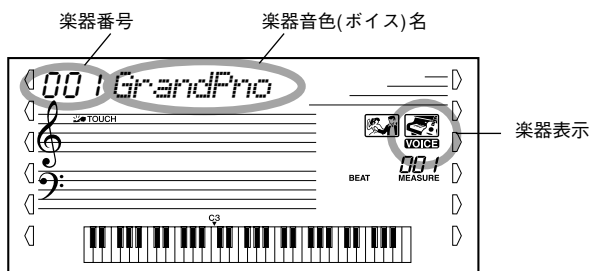
- 001～125..... PSR-450オリジナルの楽器音色です。
- 126～135..... 右手鍵域と左手鍵域で違う楽器音色が鳴ります(68ページ)。
- 136～147..... ドラムやパーカッションの音を各鍵盤に割り当てたドラムキット(27、74ページ)です。
- 148～627..... XG規格(69ページ)で決められた楽器音色です。

### 1 [VOICE](ボイス)ボタンを押します。



**NOTE**

・ボイスを選んだとき、選んだボイスに最適なオクターブが自動的に設定されます。したがって、同じ鍵盤を弾いても実際に鳴る音のオクターブは選んでいるボイスによって異なります。

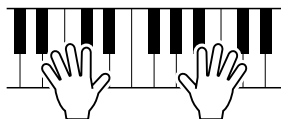


### 2 楽器音色(ボイス)を選びます。

パネル上のリストや巻末の楽器リストを参考に、数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押して選びます。

### 3 演奏してみましょう。

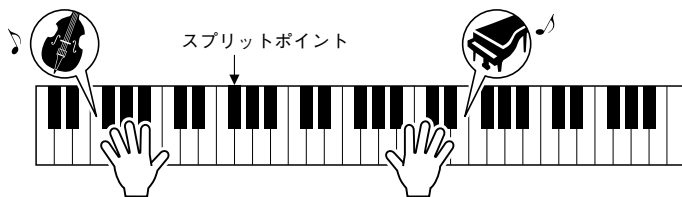
いろいろな楽器音色(ボイス)を選んで演奏してみましょう。





## 右手と左手で別々の楽器音色(ボイス)が演奏できる

楽器番号 126~135(スプリット)を選んだ場合、右手鍵域と左手鍵域で違う楽器音色が鳴ります。たとえば、楽器番号 126を選ぶと、左手鍵域ではアコースティックベースが、右手鍵域ではグランドピアノが鳴ります。



上図にもあるとおり、右手鍵域と左手鍵域の境をスプリットポイントといいます。初期設定では54(F#2)ですが、下記「スプリットポイントの変更」の説明に従って、演奏しやすい位置に変更することができます。

### ワンタッチで鍵盤をスプリット状態にする

上記で説明したように、楽器番号 126~135を選ぶことにより鍵盤の左右鍵域で違う音を鳴らすことができますが、パネル上の[スプリット](SPLIT)ボタンを押すだけでも、同じように鍵盤をスプリット状態にできます。このボタンを押すと、楽器番号 126~135の中で最後に使用した番号が自動的に呼び出されます。



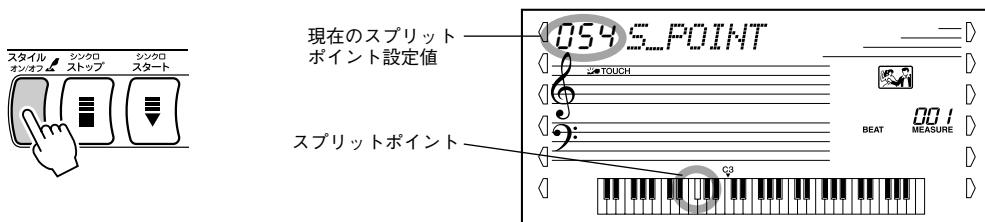
### スプリットポイントの変更

鍵盤の機能を左右で分割するポイントをスプリットポイントといいます。

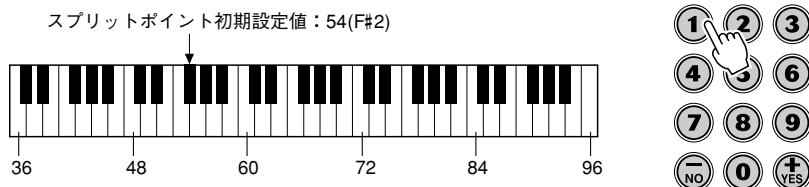
スタイル オン/オフがオンの場合、スプリットポイントより左側の鍵域はスタイル演奏時のコードを押さえる鍵域になります(19ページ)。オフの場合、スプリットポイントは楽器番号 126~135が選ばれているときだけ有効で、スプリットポイントの左側と右側で違う楽器音色が鳴ります。

スプリットポイントは初期設定では54(F#2)ですが、演奏しやすいよう自由に変更することができます。

- 1 [STYLE](スタイル)ボタンを押したあとで、[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを1秒以上押さえ、スプリットポイント設定画面を呼び出します。



- 2 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押して、スプリットポイントを設定します。



各鍵盤には設定のための数字が割り当てられています。設定するときには、上記イラストを参考にしてください。

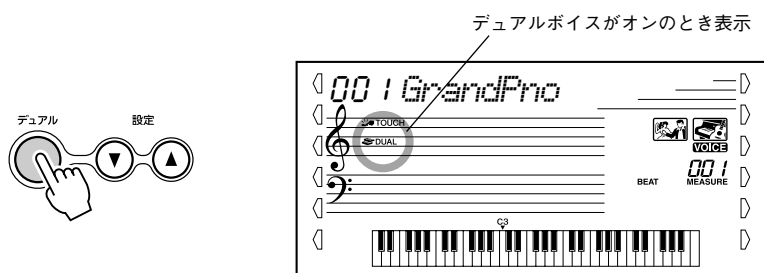
また、画面の鍵盤イラスト上では、スプリットポイントに設定された鍵盤が反転表示されます。

**NOTE**

・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、初期設定値の「54(F#2)」に戻ります。

## 2つの楽器音色(ボイス)を重ねて鳴らす(デュアルボイス)

[デュアル](DUAL) ボタンを押して、鍵盤演奏音にもう1種類の楽器音色(ボイス)を重ねて鳴らすことができます。この新しく重ねた楽器音色をデュアルボイスといい、従来鳴っていた方の楽器音色をメインボイスといいます。



## メインボイスとデュアルボイスの設定

下記の操作により、デュアルボイスとして使う楽器音色の設定や、メインボイスとデュアルボイスの音量バランス設定など、メインボイスとデュアルボイスに関するさまざまな設定ができます。

- 1 [設定 ▲/▼](SETTING ▲/▼) ボタンを押して、設定したい項目を選びます。

設定項目は以下のリストを参照してください。



- 2 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押して、値を設定します。

- 3 [デュアル](DUAL)ボタンを押して、デュアルボイスの設定から抜けます。

[メインボイスとデュアルボイスの設定項目]

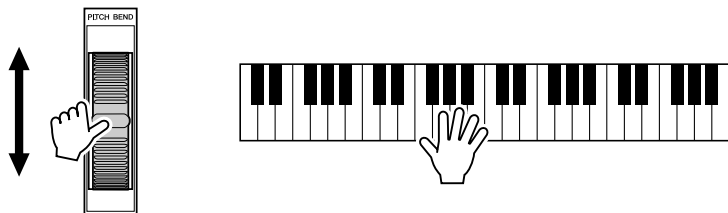
設定項目	LCD表示	設定値	
メインボイス ボリューム	M.Volume	0~127	メインボイスの音量を設定し、デュアルボイスとのバランスを調整します。
デュアルボイスDSP	D.DspLvl	0~127	デュアルボイスのDSPの深さを設定します。
メインボイスDSP	M.DspLvl	0~127	メインボイスのDSPの深さを設定します。
デュアルボイス リバーブ	D.RevLvl	0~127	デュアルボイスのリバーブの深さを設定します。
メインボイス リバーブ	M.RevLvl	0~127	メインボイスのリバーブの深さを設定します。
デュアルボイス オクターブ	D.Octave	-2~2	デュアルボイスのオクターブを設定します。
デュアルボイス	デュアル ボイス名	1~627	デュアルボイスを何の音色にするかを楽器番号で選びます。
デュアルボイス ボリューム	D.Volume	0~127	デュアルボイスの音量を設定し、メインボイスとのバランスを調整します。

## いろいろな効果を付けて演奏してみましょう

## ピッチをホイールで変えるピッチベンド

【ピッチベンド】(PITCH BEND) ホイールを動かすと、鍵盤で弾いている音のピッチを連続的に変化させることができます。

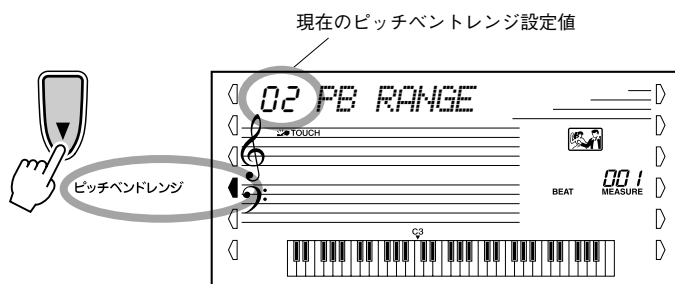
ホイールを上には動かすとピッチが上がり、下には動かすとピッチが下がります。ホイールを動かしている途中で指を離すと、ホイールは自動的に元の位置に戻り、鍵盤演奏音は元のピッチに戻ります。



## ■ ピッチの変化幅を設定する .....

ピッチベンドホイールを動かしたときのピッチの変化幅を半音単位で設定します。たとえば、ピッチベンドレンジを「2」に設定した場合、ピッチベンドを最大に動かしたときのピッチの変化幅は、上に半音2個(1音)、下に半音2個(1音)、変化します。ピッチベンドレンジを最大の「12」に設定した場合、ピッチの変化幅は、上下とも1オクターブ変化します。

## 1 メニュー [L] ボタンを押して「ピッチベンドレンジ」(PITCH BEND RANGE) を選びます。



## 2 数字ボタン [0] ~ [9]、[+]、[-] を押して、ピッチベンドレンジを選びます。



## NOTE

・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、初期設定値の「02」に戻ります。

## 右手のメロディーにハーモニーを付ける

[ハーモニー](HARMONY) ボタンを押してハーモニー機能をオンにすると、右手鍵域で押した音に対してハーモニー/トリル/トレモロ/エコー効果を、自動的に付けることができます。

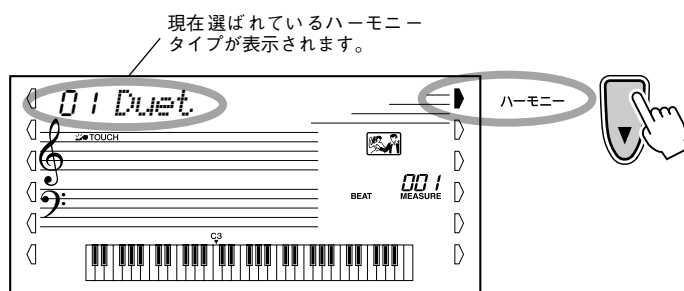
ハーモニー



### ■ ハーモニーのタイプを選ぶ .....

全部で26種類用意されているハーモニータイプは、楽器音色(ボイス)を選ぶことで自動的に最適なタイプが選ばれるよう設定されていますが、下記手順で自由に変更することができます。

#### 1 メニュー [R] ボタンを押してハーモニータイプの設定に入ります。



#### NOTE

- ・ディクショナリー機能を使用しているときは、ハーモニーは「オフ」になります。
- ・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、現在選択されている楽器音色(ボイス)に最適なハーモニータイプ(初期設定)に戻ります。

#### 2 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]でハーモニータイプを選びます。

ハーモニータイプリストは79ページ参照。

##### ●ハーモニータイプの場合(01~05)

スタイル オン/オフがオンの場合に有効なタイプです。

右手鍵域で1つの鍵盤を押しただけで、伴奏鍵域で押さえたコードに合ったハーモニー音が鳴ります。なお右手鍵域で和音演奏をすると、最後に弾いた1つの音だけにハーモニー効果がかかります。

##### ●トリルタイプの場合(06~12)

右手鍵域で最後に押した2つの鍵盤の音が、現在設定されているテンポで交互に繰り返し鳴ります。

##### ●トレモロタイプの場合(13~19)

右手鍵域で押したすべての音が、現在設定されているテンポで連打して鳴ります。

##### ●エコータイプの場合(20~26)

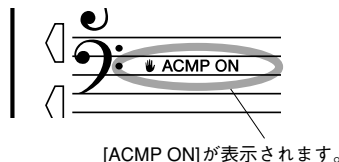
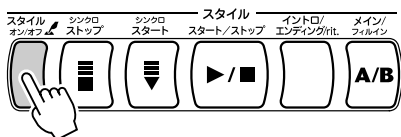
右手鍵域で押したすべての音に対して、現在設定されているテンポでエコーがかかります。

## ■ ハーモニーを付けて演奏する.....

1 [STYLE](スタイル) ボタンを押します。



2 [スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押してスタイルをオンにします。

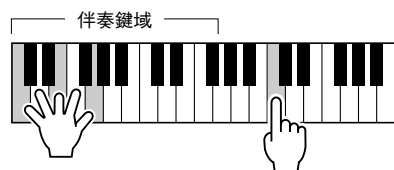


3 [ハーモニー](HARMONY) ボタンを押してハーモニーをオンにします。



4 左手でコードを押さえながら右手鍵域の鍵盤を押します。

たとえばCMaj(Cメジャー)を押さえてみましょう。

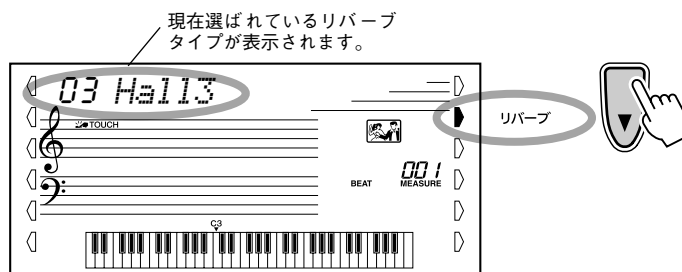


5 もう一度[ハーモニー](HARMONY) ボタンを押すと、ハーモニーがオフになります。

## 演奏した音にリバーブ(残響効果)を付ける

PSR-450の鍵盤で弾いた音やソング/スタイルの再生音には、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような残響効果(リバーブ)がかかっています。全部で9種類用意されているリバーブタイプは、ソングまたはスタイルを選ぶことで最適なタイプが自動的に選ばれるよう設定されていますが、下記手順で自由に変更することができます。

1 メニュー [R] ボタンを押してリバーブタイプの設定に入ります。

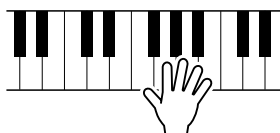




## 2 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押してリバーブタイプを選びます。

リバーブタイプリストは78ページ参照。

## 3 鍵盤を弾くと、リバーブ(残響効果)がかかります。



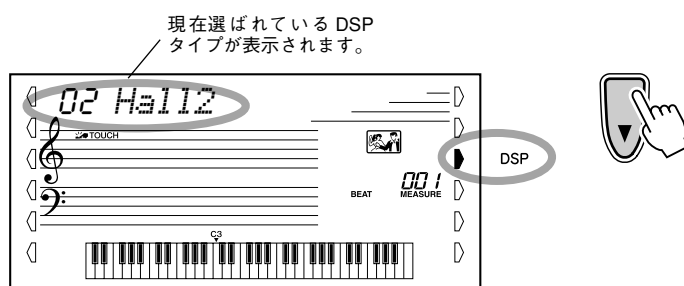
### NOTE

- ・リバーブをかけたくない場合は、リバーブタイプ番号10(Off)を選んでください。
- ・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、現在選択されているソングまたはスタイルに最適なリバーブタイプ(初期設定)に戻ります。
- ・リバーブのかかり具合を、メインボイスとデュアルボイスそれぞれに対して設定できます(29ページ)。

## 演奏した音にDSP効果を付ける

PSR-450の演奏音には、前ページで説明したリバーブとは別に、幅広い種類の効果を集めたDSP効果を加えることができます。このDSPタイプには、リバーブのような残響効果だけでなく、ギター音色にかけると効果的なディストーション(歪み)など、全部で39種類が用意されています。DSPタイプは、楽器音色を選ぶことで最適なタイプが自動的に設定されますが、下記手順を操作すれば自由に変更することができます。なお、DSPの効果をかけたくない場合は、DSPタイプ番号40(Off)を選んでください。

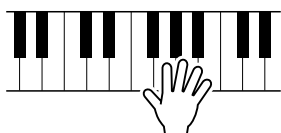
## 1 メニュー [R] ボタンを押してDSPタイプの設定に入ります。



## 2 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押してDSPタイプを選びます。

DSPタイプリストは78ページ参照。

## 3 鍵盤を弾くと、DSP効果がかかります。



### NOTE

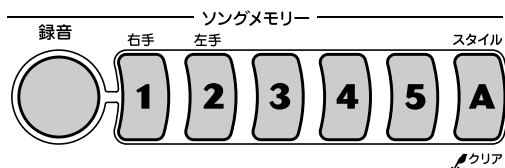
- ・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、現在選択されている楽器音色(ボイス)に最適なDSPタイプ(初期設定)に戻ります。
- ・DSPのかかり具合を、メインボイスとデュアルボイスそれぞれに対して設定できます(29ページ)。

# 演奏を録音してみよう

ソングメモリー機能により自分の演奏をユーザーソングとして5曲(ソング番号006~010: User1~5)録音することができます。

録音したソングは、プリセットソングと同じように再生できます。

ユーザーソング1曲につき6つのトラックを使って録音します。



- メロディトラック[1]~[5] .....メロディ演奏を録音します。
- スタイルトラック[A] .....スタイル演奏(左手のコードやセクションなど)を録音します。

## ● 録音できるデータ

### ◆ メロディトラック1~5に録音できるデータ

- ・ ノートオン/オフ(押鍵/離鍵)
- ・ ベロシティ(押鍵の強弱)
- ・ 楽器番号
- ・ リバーブタイプ\*
- ・ DSPタイプ\*
- ・ ハーモニータイプ オン/オフ
- ・ サステイン オン/オフ
- ・ テンポ\*\*/拍子\*(スタイルトラックが録音されていない場合のみ有効)
- ・ ピッチベンド
- ・ ピッチベンドレンジ

### ◆ スタイルトラックに録音できるデータ

- ・ コード変更、コード押鍵のタイミング
- ・ スタイルパターンの変更
- ・ スタイル番号\*
- ・ リバーブタイプ\*
- ・ DSPタイプ\*
- ・ テンポ
- ・ 拍子\*

### NOTE

- ・ 録音容量：  
メロディトラックだけに録音した場合、約10,000の音符数が録音できます。  
スタイルトラックだけに録音した場合、約5,500のコード数が録音できます。

\* 印のデータは録音開始時に設定内容を曲の先頭に録音します。録音中は変更できません。

\*\* 印のデータは録音開始時に設定内容を曲の先頭に録音します。録音中に変更できますが、録音はされません。

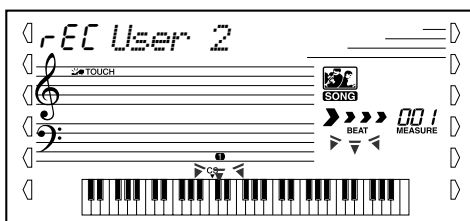
## 演奏を録音する

### 1 録音待機状態に入ります。

[STYLE](スタイル)ボタンを押したあとで以下の操作をすると、まだ録音していないユーザーソング(ソング番号006~010)の中から一番若い番号のユーザーソングを自動的に選んで録音待機状態になります。

### ● メロディトラック1つとスタイルトラックを同時に録音する場合

1-1. [録音](REC)ボタンを押しながら、メロディを録音したいトラックボタン(1~5)を押します。押したトラックが点滅します。

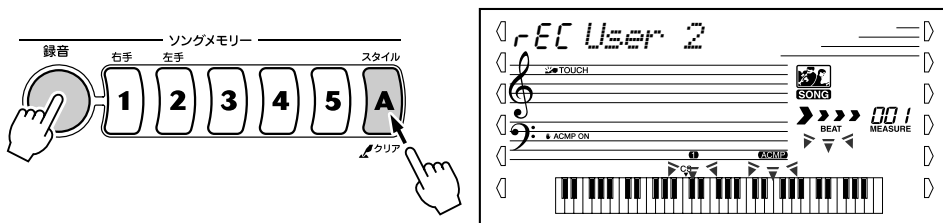


- ・ すべてのユーザーソング(ソング番号006~010)が録音済みの場合、ソング番号006が自動的に選ばれます。この場合の録音は上書き録音(すでに録音しているトラックのデータを消して新しく録音する)になりますので、大切なデータを消さないようご注意ください。

### NOTE

- ・ ユーザーソング(ソング番号006~010)を指定して録音する場合や、指定して修正したい場合は、手順1-1の前に[+]、[-]ボタンを押し、ソング番号を指定します。

1-2. [録音](REC) ボタンを押しながら、[A] ボタンを押します。[ACMP] が点滅表示します。



● メロディトラックだけを録音する場合

[録音](REC) ボタンを押しながら、録音したいトラックボタン(1~5)を押します。押したトラックが点滅します。

2 録音をスタートします。

鍵盤を弾くと録音がスタートします。また、[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押しても、録音がスタートします。録音中は、画面に現在の小節番号が表示されます。

3 録音をストップします。

[スタート/ストップ](START/STOP)または、[録音](REC) ボタンを押すと録音がストップします。



スタイルトラックを録音中に、[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、エンディングセクションを演奏したあと、自動的に録音が終了します。

録音を終了すると、画面の小節番号は「001」に戻り、録音したトラックの表示は点灯に変わります。

● 他のトラックを録音する場合

手順2~4をくり返し、他のトラックを録音しましょう。ソングメモリー (SONG MEMORY) [1]~[5]、[A] ボタンを押すことにより、録音済みのトラックを再生しながら(トラック番号点灯)、他のトラックを録音することもできます。また、録音済みのトラックをミュート(消音)して(トラック表示は消灯)、他のトラックを録音することもできます。

● トラックの録音をやり直すには…

やり直したいトラックを録音トラックとして選択します。録音をスタートすると、上書き録音(前のデータを消去して、新しいデータを録音)することができます。

4 必要に応じてフロッピーディスクにデータをセーブ(保存)します。(54ページ参照)

NOTE

- ・録音にスタイルトラックを選ぶと、自動的にスタイルは「オン」になります。
- ・録音スタート後に、スタイルオン/オフの切り替えはできません。
- ・スプリット音色を使って録音する場合、スプリットポイントよりも低い音は録音されません。

NOTE

- ・スタイルが「オン」で、スタイルトラックがまだ録音されていない場合は、メロディトラックを選ぶと、スタイルトラックも自動的に録音トラックとして選ばれます。メロディだけを録音したい場合は、スタイルトラックを消灯します。
- ・録音を中止する場合は、点滅しているトラックボタンを押して、表示を消します。



- ・録音中に電源を切った場合や、録音中に電源アダプターをコンセントから抜いた場合、電池が切れた場合はソングデータが失われますのでご注意ください。



- ・ユーザーソングのデータは、アダプターか、乾電池がセットされていない場合は消えてしまいます。大切なデータはフロッピーディスクにセーブ(保存)しておくことをお勧めします。

## ユーザーソングの消去(クリア)

ユーザーソング5曲(ソング番号006~010)は不要になった場合、クリアすることができます。

クリアの方法にはユーザーソング1曲のすべてをクリアするソングクリアと、1曲のソングの特定したトラックだけをクリアするトラッククリアがあります。

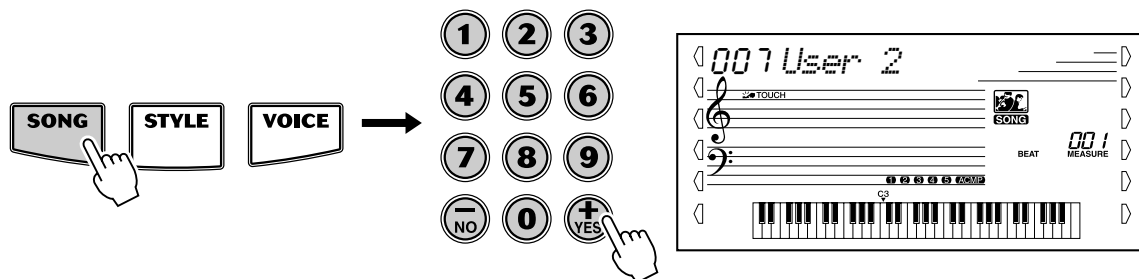
### ■ ソングクリア .....

録音したユーザーソング、1曲の全トラックをクリアします。

- 1 [SONG](ソング) ボタンを押したあと、数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を使ってクリアしたいソング(ソング番号006~010)を選びます。

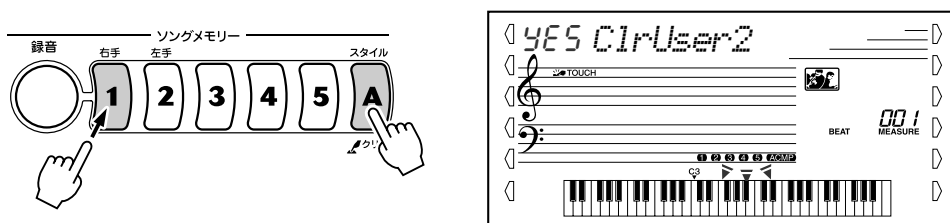
NOTE

・ソング番号001~005はクリアできません。



- 2 ソングメモリー (SONG MEMORY) [A] ボタンを押しながら、ソングメモリー (SONG MEMORY) [1] ボタンを1秒以上押します。

画面のすべてのトラック表示(1~5、ACMP)が点滅します。



- 3 数字ボタン[+/YES]を押します。

“Sure?” (クリアしてもいいですか?)と表示されます。

- 4 クリアするときは、もう1度、数字ボタン[+/YES]を押します。

“Clear”と表示され、ソングがクリアされます。

クリアしないときは、数字ボタン[-/NO]を押します。

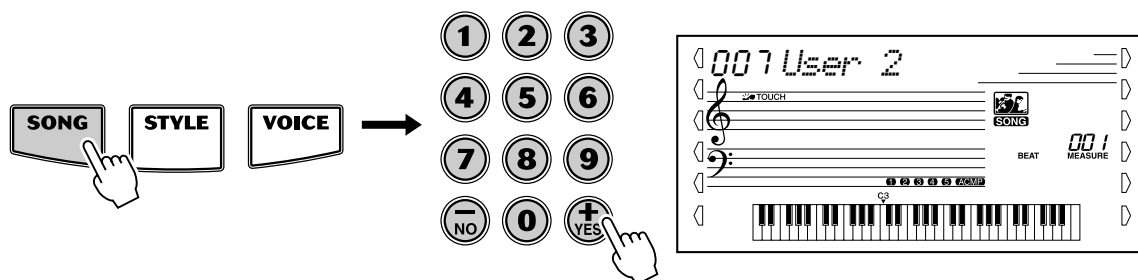
## ■トラッククリア.....

録音したユーザーソングの、1つのトラックのデータをクリアします。

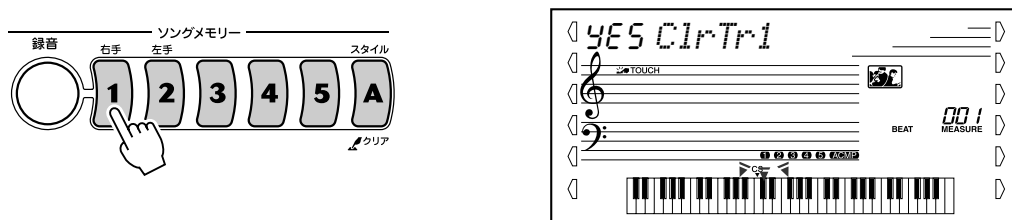
- 1 [SONG](ソング) ボタンを押したあと、数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を使ってクリアしたいソング(ソング番号006～010)を選びます。

NOTE

・ソング番号001～005はクリアできません。



- 2 クリアしたいトラックの番号のソングメモリー (SONG MEMORY)[1]～[5]、[A] ボタンを1秒以上押します。



- 3 トラック番号を確認して数字ボタン[+ / YES]を押します。  
"Sure?" (クリアしてもいいですか?)と表示されます。

- 4 クリアするときは、もう1度、数字ボタン[+ / YES]を押します。  
"Clear" と表示され、指定したトラックのデータがクリアされます。  
クリアしないときは、数字ボタン[- / NO]を押します。

# 基本操作と画面の見かた

## 長く押す

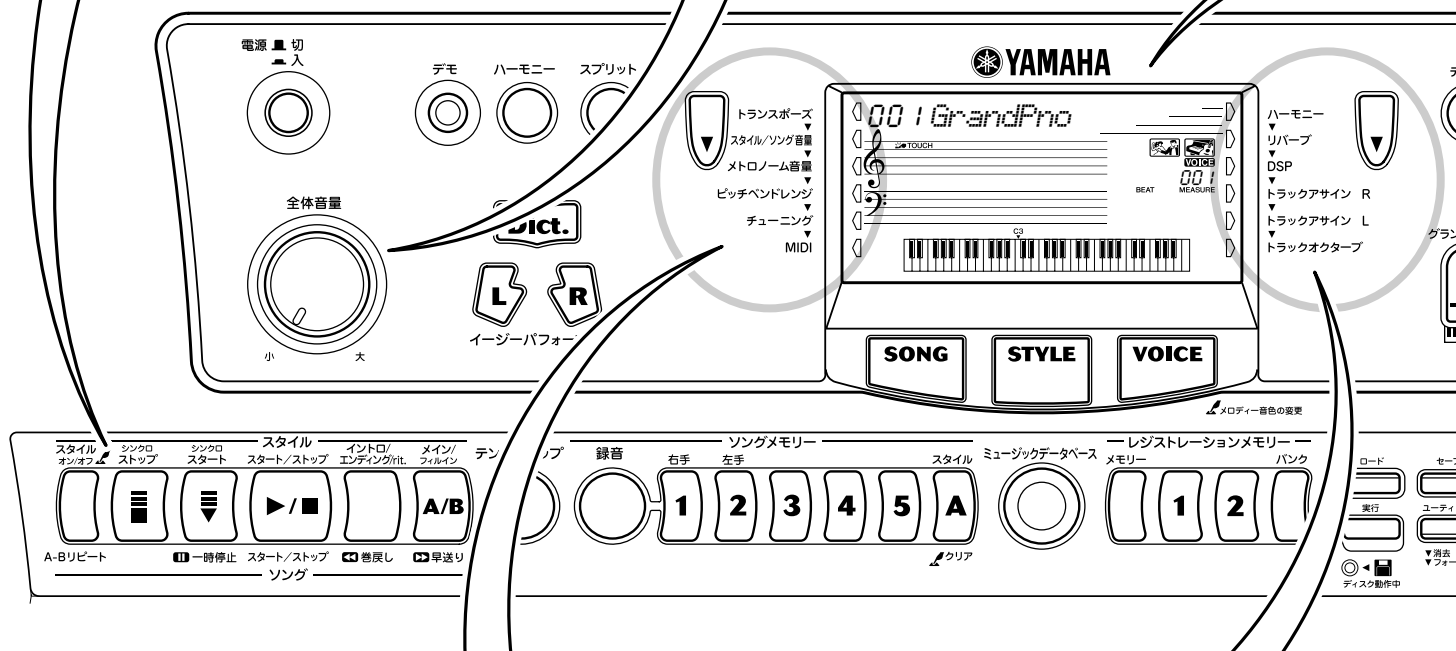
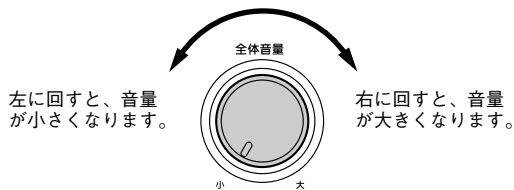


このマークのついたボタンを一秒以上押すと、次の設定機能になります。

- ・ [スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF) ボタン ..... スプリットポイント
- ・ [クリア] (CLEAR) ボタン ..... ソングクリア、トラッククリア
- ・ [メトロノーム] (METRONOME) ボタン ..... メトロノームの拍子
- ・ [タッチレスポンス] (TOUCH) ボタン ..... タッチ感度
- ・ [VOICE] (ボイス) ボタン ..... メロディボイスチェンジ

## 音量の設定

[全体音量] (MASTER VOLUME) コントロールを回します。



## メニュー [L]、[R]表示

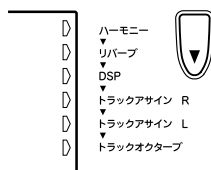
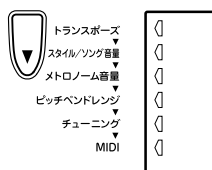
メニュー [L]、[R] では、PSR-450 のさまざまな設定が行なえます。

### メニュー L

- ・ トランスポーズ ..... 43 ページ
- ・ スタイル/ソング音量 ..... 23、48 ページ
- ・ メトロノーム音量 ..... 25 ページ
- ・ ピッチベンドレンジ ..... 30 ページ
- ・ チューニング ..... 43 ページ
- ・ MIDI ..... 62 ページ

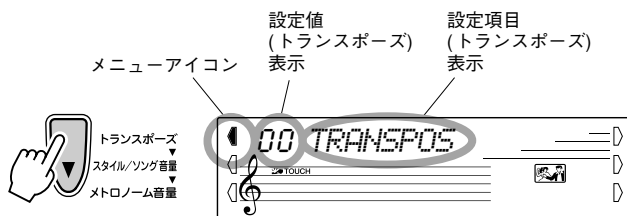
### メニュー R

- ・ ハーモニー ..... 31 ページ
- ・ リバーブ ..... 32 ページ
- ・ DSP ..... 33 ページ
- ・ トラックアサイン R ..... 51 ページ
- ・ トラックアサイン L ..... 51 ページ
- ・ トラックオクターブ ..... 55 ページ



メニュー [L] または [R] ボタン (画面の左右にある) を押すと、メニューアイコン (◀、▶) が移動し、画面上段には現在選ばれている「設定項目」と「設定値」が表示されます。

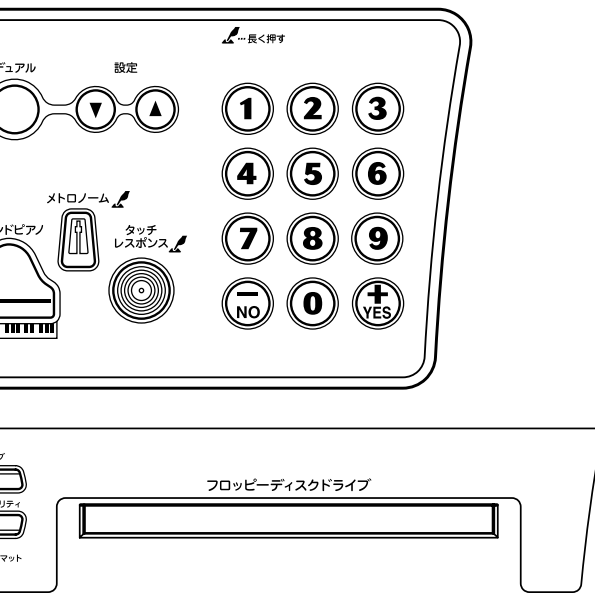
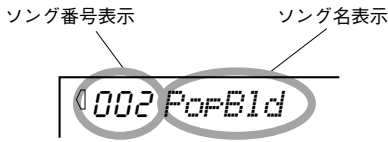
### 例) トランスポーズの場合



### 名前&番号表示(ソング/スタイル/楽器)

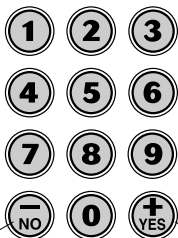
画面上段には、現在選ばれている機能の「名前と番号」が表示されます。

例)ソングの場合



### 設定値の変えかた

設定値の変更は、数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を使用します。



一度押すと、ひとつ小さな値に

一度押すと、ひとつ大きな値に

数字ボタン[+]、[-]を押し続けると、値が連続で変わります。マイナスの値を入力するときは、数字ボタン[-]を押しながら数字ボタン[0]~[9]を押します。

### 基本的な機能の選びかた

- [SONG](ソング)、[STYLE](スタイル)、[VOICE](ボイス) ボタンを押すと、PSR-450の基本的な機能を選ぶことができます。(選ばれている機能のアイコンが表示されます。)



#### [SONG](ソング)



数字ボタンでソングを選びます。

#### [STYLE](スタイル)



数字ボタンでスタイルを選びます。

#### [VOICE](ボイス)



数字ボタンで楽器音色を選びます。

- ソングやスタイルを選んだあとに[VOICE](ボイス)ボタンを押すと、次のような表示になります。

#### [SONG](ソング)→[VOICE](ボイス)



数字ボタンで楽器音色を選びます。  
[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンでソングがスタートします。

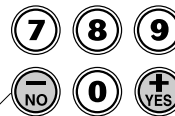
#### [STYLE](スタイル)→[VOICE](ボイス)



数字ボタンで楽器音色を選びます。  
[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンでスタイルがスタートします。

### 番号の選びかた

- 番号をひとつずつ変えるには、数字ボタン[+]、[-]を使用します。



一度押すと、ひとつ小さな番号に

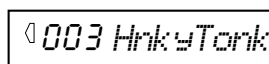
一度押すと、ひとつ大きな番号に

押し続けると、番号が連続で変わります。

- 直接番号で選ぶには、数字ボタン[0]~[9]を使用します。

例)「003 : HnkyTonk」を選ぶ場合

数字ボタンの[0]、[0]、[3]を押します。

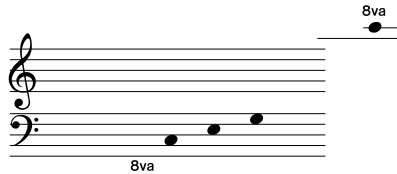


#### NOTE

・「100の位」が[0]の場合、0を省略できます。同様に「100の位」と「10の位」が[0]の場合も[00]を省略して入力できます。

### 音符表示

イージーパーフォーマー機能のときは、ソングのメロディ符やコード符を、ディクショナリー機能のときは、コードの構成音を表示します。通常は押した鍵盤を表示します。



**NOTE**

- ・1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。
- ・表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。

### 小節 (MEASURE) 表示

ソングの小節番号、スタイルの小節番号やメトロノームの拍を表示します。フリーテンポのソングが選ばれると「F t」と表示します。



### コード表示

現在鳴っているコード名や、鍵盤で押さえたコード名などを表示します。



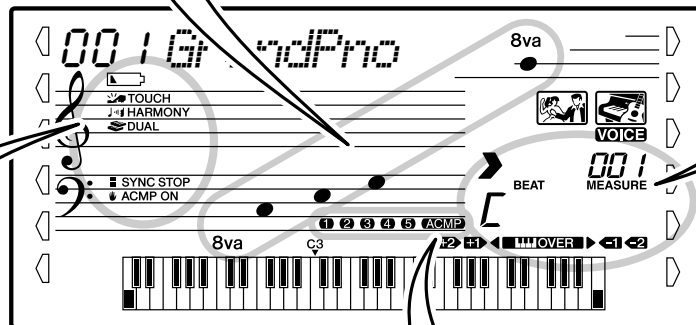
### ビート表示

スタイルやソングの拍を、矢印で点滅表示します。



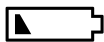
### オクターブ表示

ディスクソングを再生しているとき、再生されている音の鍵域が本体鍵域より高い(または低い)とき「OVER」が点滅し矢印が表示されます。オクターブを上げて(下げて)再生しているとき、設定している「+2、+1、-1、-2」が表示されます。



### 電池交換の表示

電池が消耗すると表示します。



### タッチレスポンス オン/オフ (TOUCH) 表示

タッチレスポンスのオン/オフを表示します。



### ハーモニー オン/オフ (HARMONY) 表示

ハーモニーのオン/オフを表示します。



### デュアル オン/オフ (DUAL) 表示

デュアルのオン/オフを表示します。



### シンクロストップ (SYNC STOP) 表示

シンクロストップのオン/オフを表示します。



### ソングトラック表示

ソングトラックに関する情報を表示します。



- ・ソングメモリー [1] ~ [5]、[A] ボタンを押すと、再生するトラックをオン/オフ(鳴らしたり消したり)することができます。
- ・**1** ~ **5**、**ACMP** が点灯しているときは、点灯しているトラックにデータがあります。
- ・**1** ~ **5**、**ACMP** が表示されないときは、そのトラックにデータがないかそのトラックがオフになっている場合です。
- ・**1** ~ **5**、**ACMP** が点滅しているときは、録音トラックとして選ばれているときです。

### スタイル「オン」 (ACMP ON) 表示

自動伴奏機能のオン/オフを表示します。





# バックアップデータと初期化(イニシャライズ)の方法

## ■ バックアップデータ .....

下記の設定データは[電源 入/切](STANDBY/ON)スイッチを「切」にしても、電源アダプターが接続されているか、乾電池がセットされていればバックアップされています。

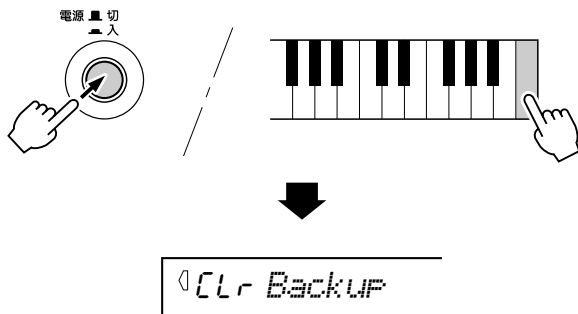
下記以外の設定データは、電源を入れ直すとそれぞれの初期設定値に戻ります。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ ユーザーソングのデータ</li><li>・ ソング音量</li><li>・ レジストレーションメモリーのデータ</li><li>・ レジストレーションメモリーバンク番号</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ メトロノーム音量</li><li>・ タッチレスポンス オン/オフ</li><li>・ チューニング</li></ul>
--	--

## ■ 初期化(イニシャライズ)の方法 .....

PSR-450のすべての設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行なってください。

- 1 [電源 入/切](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を切ります。
- 2 鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら、[電源 入/切](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れると、初期化が実行されます。初期化が完了すると画面に「CLr Backup」が表示されます。



・ 初期化をすると、バックアップされていた設定は、初期設定値に戻りますので、ご注意ください。



・ PSR-450が、何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、一旦電源を切り、初期化の操作を行なってください。

# 演奏するときの機能

## 鍵盤を弾く強弱で音量を変える(タッチレスポンス)

### タッチレスポンスのオン/オフ

[タッチレスポンス](TOUCH) ボタンを押してタッチレスポンスをオンにすると、鍵盤を弾く強さで音量を変えることができます。



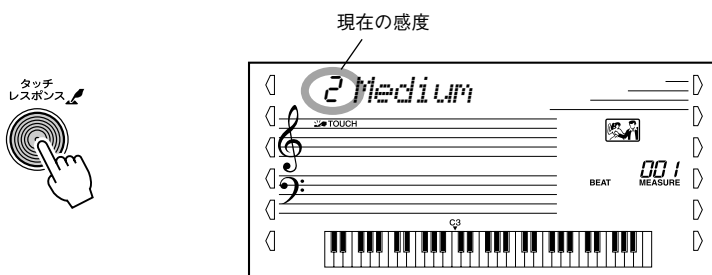
[タッチレスポンス](TOUCH) ボタンをもう一度押すとオフになります。タッチをオフにすると鍵盤を弾く強さに関係なく同じ音量で鳴ります。

### タッチ感度を設定する

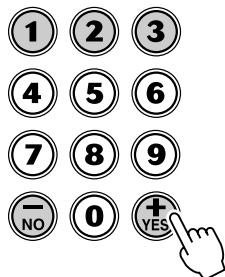
タッチレスポンスが「オン」の場合のタッチ感度(鍵盤を押さえる強さによって音量が変化する割合)を設定することができます。

タッチレスポンスの感度(鍵盤を押さえる強さによって音量が変化する)を、3段階(1~3)から選ぶことができます。設定値が大きくなるほど、弾く強さに比例して音量変化が大きくなります。

[タッチレスポンス](TOUCH) ボタンを1秒以上押すと、タッチ感度の設定画面になります。



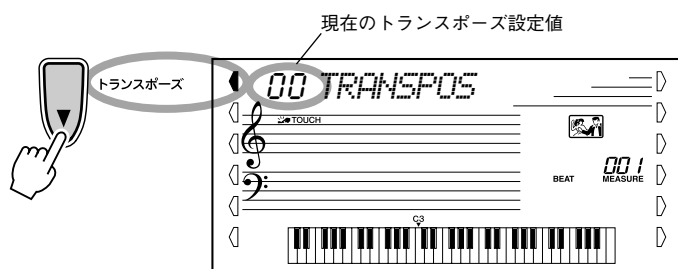
数字ボタン[1]~[3]、[+]、[-]で感度を設定します。



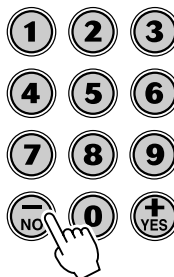
## ピッチを半音単位で変えるトランスポーズ

楽器全体のピッチを半音単位で変えます。

- 1 メニュー [L] ボタンを押して、「トランスポーズ」(TRANSPOSE)を選びます。



- 2 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押して、トランスポーズの値を-12～12(単位：半音、±1オクターブ)の範囲で変更します。



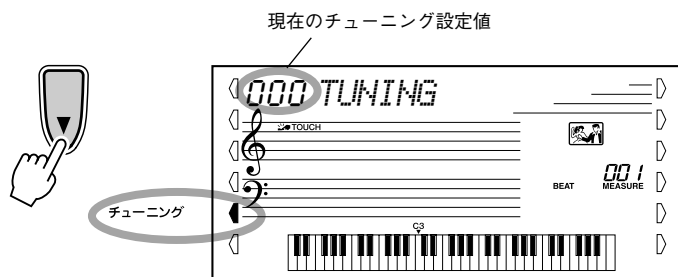
### NOTE

- ・マイナスの値を設定するときは、数字ボタン[-]を押しながら数字ボタン[0]～[9]で設定します。
- ・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。
- ・ドラムキット(136～147)を選んでいるときは、トランスポーズは機能しません。

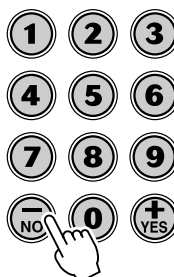
## ピッチを微調整するチューニング

楽器全体のピッチを微調整します。

- 1 メニュー [L] ボタンを押して、「チューニング」(TUNING)を選びます。



- 2 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押して、チューニングの値を-100～100(単位：セント)の範囲で変更します。



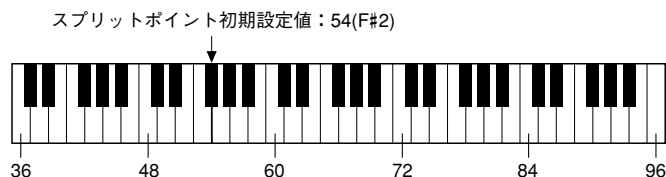
### NOTE

- ・チューニングの単位：100セント＝半音
- ・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、初期設定値の「000」に戻ります。
- ・マイナスの値を設定するときは、数字ボタン[-]を押しながら数字ボタン[0]～[9]で設定します。
- ・ドラムキット(136～147)を選んでいるときは、チューニングは機能しません。

# スタイルコードの押さえ方

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンをオンにしてスタイルを再生する場合、左手鍵域(スプリットポイントより左側の鍵域)のコードの押さえ方には下記2種類の方法があります。

- 指1～3本で簡単にコードを指定する方法
- 構成音を正確に押さえてコードを指定する方法



## NOTE

- ・ここでのコードの指定方法は、ルートが「C」の場合に限って説明しています。
- ・スプリットポイントの設定は28ページ参照。

## 指1～3本で簡単にコードを指定する方法

下図の方法で、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを指定します。

<p><b>C</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メジャー (M) コード ルートキー (根音) を押さえてください。</li> </ul>	<p><b>C7</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セブンス (7) コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。</li> </ul>
<p><b>Cm</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナー (m) コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。</li> </ul>	<p><b>Cm7</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナーセブンス (m7) コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。</li> </ul>

## NOTE

- ・ルートキー (根音) と押さえる鍵盤



## 構成音を正確に押さえてコードを指定する方法

下図の方法でコードを指定します。

<b>C</b>	<b>C(9)</b>	<b>C6</b>	<b>C6(9)</b>	<b>CM7</b>	<b>CM7(9)</b>	<b>CM7(#11)</b>	<b>C(♭5)</b>	<b>CM7♭5</b>
<b>Csus4</b>	<b>Caug</b>	<b>CM7aug</b>	<b>Cm</b>	<b>Cm(9)</b>	<b>Cm6</b>	<b>Cm7</b>	<b>Cm7(9)</b>	<b>Cm7(11)</b>
<b>CmM7</b>	<b>CmM7(9)</b>	<b>Cm7♭5</b>	<b>CmM7♭5</b>	<b>Cdim</b>	<b>Cdim7</b>	<b>C7</b>	<b>C7(♭9)</b>	<b>C7(♭13)</b>
<b>C7(9)</b>	<b>C7(#11)</b>	<b>C7(13)</b>	<b>C7(#9)</b>	<b>C7♭5</b>	<b>C7aug</b>	<b>C7sus4</b>	<b>C1+2+5</b>	

カッコ ( ) で表示される鍵盤は、省略してもかまいません。

■ 認識されるコード一覧

コード	押 鍵	コード(C)	画面表示
メジャー [M]	1 - 3 - 5	C	C
アッドナインス [(9)]	1 - 2 - 3 - 5	C(9)	C(9)
シックス [6]	1 - (3) - 5 - 6	C6	C6
シックスナインス [6(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 6	C6(9)	C6(9)
メジャーセブンス [M7]	1 - 3 - (5) - 7 または 1 - (3) - 5 - 7	CM7	CM7
メジャーセブンスナインス [M7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 7	CM7(9)	CM7(9)
メジャーセブンスアッドシャープイレブンス [M7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - 7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - 7	CM7(#11)	CM7(#11)
フラットファイブ [(b5)]	1 - 3 - b5	C(b5)	Cb5
メジャーセブンスフラットファイブ [M7b5]	1 - 3 - b5 - 7	CM7b5	CM7b5
サスフォー [sus4]	1 - 4 - 5	Csus4	Csus4
オーギュメント [aug]	1 - 3 - #5	Caug	Caug
メジャーセブンスオーギュメント [M7aug]	1 - (3) - #5 - 7	CM7aug	CM7aug
マイナー [m]	1 - b3 - 5	Cm	Cm
マイナーアッドナインス [m(9)]	1 - 2 - b3 - 5	Cm(9)	Cm(9)
マイナーシックス [m6]	1 - b3 - 5 - 6	Cm6	Cm6
マイナーセブンス [m7]	1 - b3 - (5) - b7	Cm7	Cm7
マイナーセブンスナインス [m7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - b7	Cm7(9)	Cm7(9)
マイナーセブンスアッドイレブンス [m7(11)]	1 - (2) - b3 - 4 - 5 - (b7)	Cm7(11)	Cm7(11)
マイナーメジャーセブンス [mM7]	1 - b3 - (5) - 7	CmM7	CmM7
マイナーメジャーセブンスナインス [mM7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - 7	CmM7(9)	CmM7(9)
マイナーセブンスフラットファイブ [m7b5]	1 - b3 - b5 - b7	Cm7b5	Cm7b5
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ [mM7b5]	1 - b3 - b5 - 7	CmM7b5	CmM7b5
ディミニッシュ [dim]	1 - b3 - b5	Cdim	Cdim
ディミニッシュセブンス [dim7]	1 - b3 - b5 - 6	Cdim7	Cdim7
セブンス [7]	1 - 3 - (5) - b7 または 1 - (3) - 5 - b7	C7	C7
セブンスフラットナインス [7(b9)]	1 - b2 - 3 - (5) - b7	C7(b9)	C7(b9)
セブンスアッドフラットサードティーンズ [7(b13)]	1 - 3 - 5 - b6 - b7	C7(b13)	C7(b13)
セブンスナインス [7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - b7	C7(9)	C7(9)
セブンスアッドシャープイレブンス [7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - b7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - b7	C7(#11)	C7(#11)
セブンスアッドサードティーンズ [7(13)]	1 - 3 - (5) - 6 - b7	C7(13)	C7(13)
セブンスシャープナインス [7(#9)]	1 - #2 - 3 - (5) - b7	C7(#9)	C7(#9)
セブンスフラットファイブ [7b5]	1 - 3 - b5 - b7	C7b5	C7b5
セブンスオーギュメント [7aug]	1 - 3 - #5 - b7	C7aug	C7aug
セブンスサスフォー [7sus4]	1 - 4 - (5) - b7	C7sus4	C7sus4
ワンプラスツープラスファイブ [1+2+5]	1 - 2 - 5	C1+2+5	C

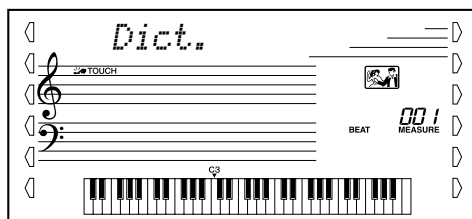
NOTE

- ・カッコ( )内の音符は省略しても構いません。
- ・完全5度の押鍵ではルート音と5度の音による伴奏が演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。
- ・オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによる伴奏が演奏されます。
- ・コード押鍵はすべて基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。  
m7、m7b5、6、m6、sus4、aug、dim7、7b5、6(9)、1+2+5
- ・7sus4とm7(11)は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- ・同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードが続いた場合など)、スタイルが変化しないことがあります。
- ・鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。

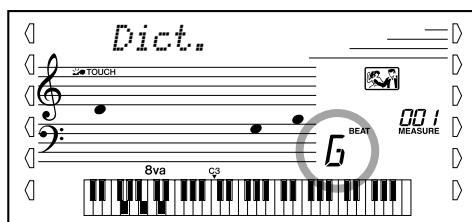
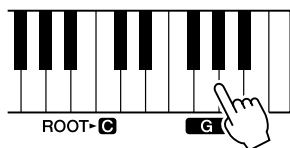
## ディクショナリーでコードを調べる

コード名がわかっていて、鍵盤の押さえ方がわからない場合、ディクショナリー機能で調べることができます。

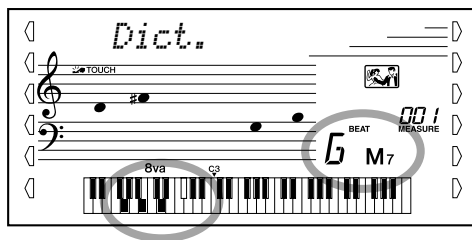
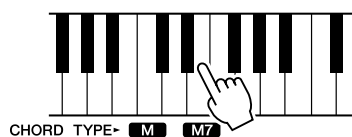
- 1 [Dict.](ディクショナリー)ボタンを押します。



- 2 たとえば「GM7」の押さえ方を調べましょう。鍵盤の下に書かれた「ROOT-」から「G」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。ルート音「G」が画面に表示されます。



- 3 鍵盤の上にかかれた「CHORD TYPE-」から「M7(メジャーセブンス)」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、画面に楽譜表示と鍵盤イラストで表示されます。



画面にしたがってコードを押さえてみましょう。コードを正しく押さえると、コード名が点滅します。

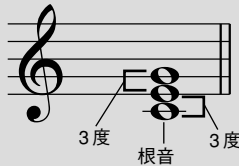
### NOTE

- メジャーコードについて  
通常メジャーのコード名は、ルート音だけで表記します。  
例：Cの表記はCメジャーを意味します。  
メジャーコードを調べる場合、ルート音を押して、次に「M」を押してください。

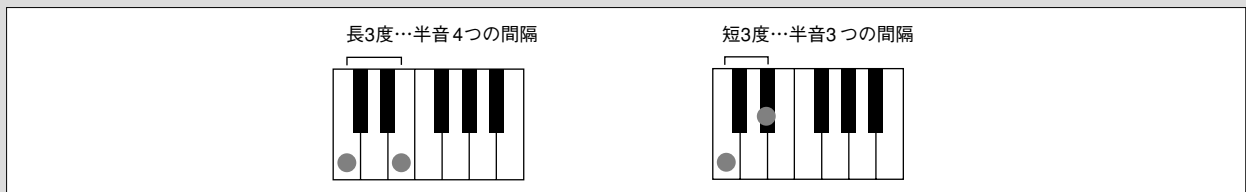
## ■ コード(和音)について

音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

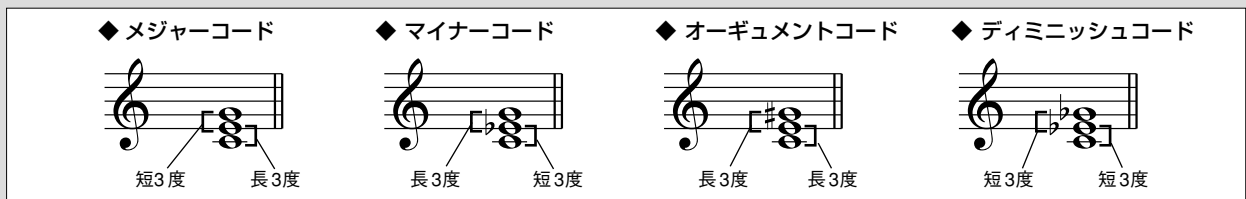
「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがします。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、確実によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。



上の例で三和音の一番下の音を「根音(ルート)」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音(ルート)の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。



その組み合わせは次の4種類になります。

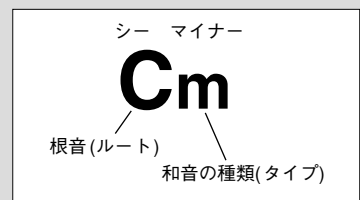


和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。

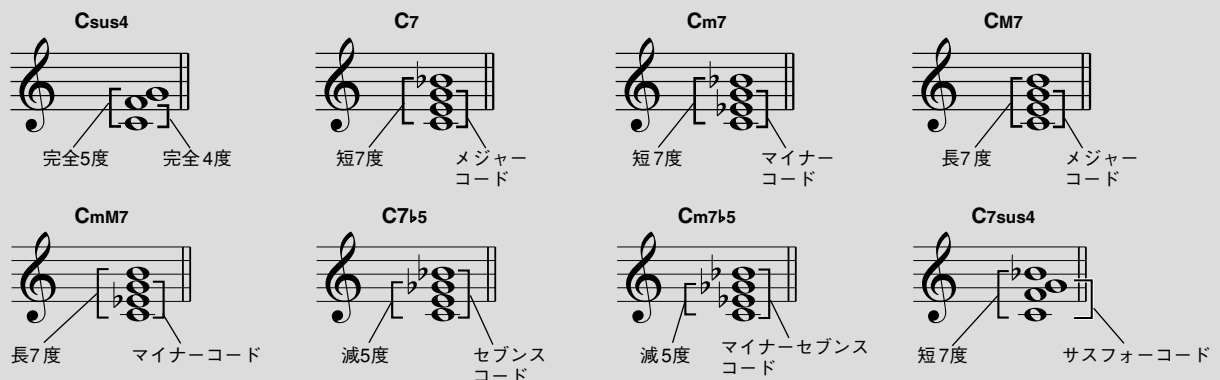
種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

### ● 和音の表記について

和音の構成音や、その種類を一目でわかるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみがわかると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。



### ● 和音の種類(コードとして認識されるものの一部)

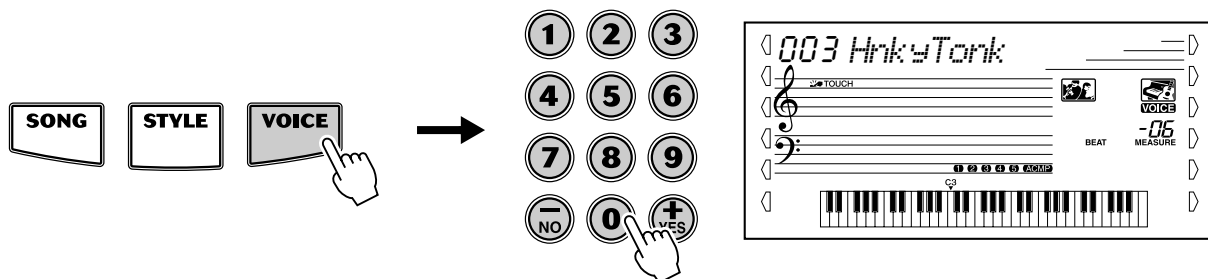


# ソングを鳴らすときの機能

## ソングのメロディ音色を変更する

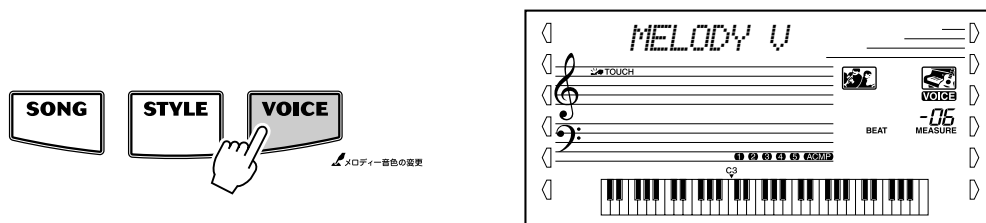
ソングで鳴っているメロディ音色を、好みの楽器音色(ボイス)に変えることができます。

- 1 [SONG](ソング)ボタンを押したあとで、メロディ音色を変更したいソングを選びます。
- 2 [VOICE](ボイス)ボタンを押し、数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]で好みの楽器音色(ボイス)を選びます。



鍵盤を弾くと選ばれた楽器音色(ボイス)で鳴ります。

- 3 [VOICE](ボイス)ボタンを1秒以上押し続けます。「MELODY VOICE CHANGE」と画面に表示されたあと、ソングのメロディ音色が手順2で選んだ楽器音色(ボイス)に変わります。



## ソング音量

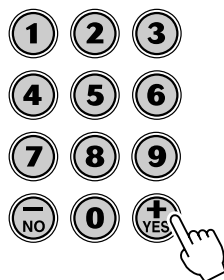
ソングの音量を変更して、鍵盤演奏との音量バランスをとります。

- 1 メニュー[L]ボタンを押して、「スタイル/ソング音量」(STYLE/SONG VOLUME)を選びます。





- 2 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押して、ソングの音量を000～127の範囲で変更します。



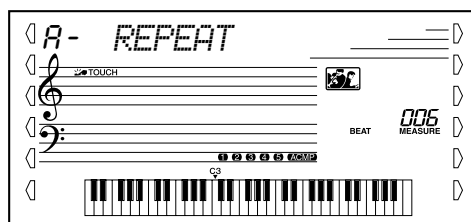
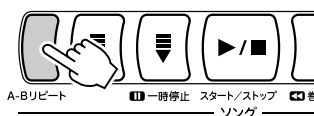
NOTE

- ・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。
- ・ソング音量は、ソングが選ばれているとき、設定できます。

## くり返し演奏

ソングの一部「A(くり返しの始まり)」、「B(くり返しの終わり)」を設定して、その間の演奏をくり返し再生させることができます。

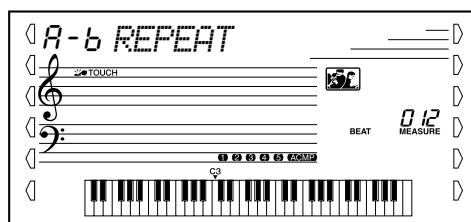
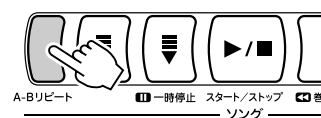
- 1 ソングを再生し、くり返しをしたい始まりの位置で、[A-Bリピート](A-B REPEAT) ボタンを押します。



NOTE

- ・くり返しの設定は、小節単位で行ないます。
- ・くり返しの始まり位置(A)を曲の先頭に指定したい場合は、ソングをスタートする前に[A-Bリピート](A-B REPEAT)ボタンを押して設定します。

- 2 くり返しをしたい終わりの位置で、もう一度[A-Bリピート](A-B REPEAT) ボタンを押します。ソングは、A-B間でくり返し再生されます。



くり返しをやめるときは「A-b REPEAT」表示中に[A-Bリピート](A-B REPEAT) ボタンを押します。

# イージーパーフォーマー

## イージーパーフォーマーでソングを弾いてみる

ソングを聞いていて、「自分でもこのように演奏してみたいけど弾けない」と思ったら、イージーパーフォーマーを使ってみましょう。

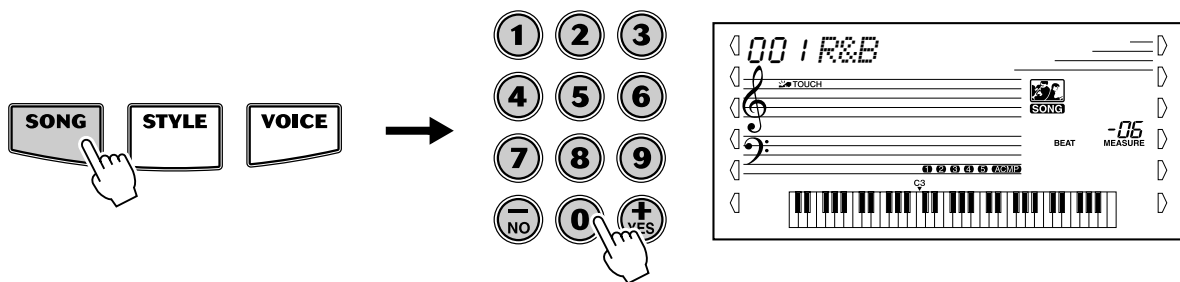
イージーパーフォーマーをオンにすると、メロディまたは伴奏が消えますので、その部分を自分で演奏します。このとき弾く鍵盤が間違っている場合、弾くタイミングがあてれば正しい音で鳴ります。

### NOTE

・ディスクソングのとき、イージーパーフォーマーで演奏するトラックを選択することができます(51ページ参照)。

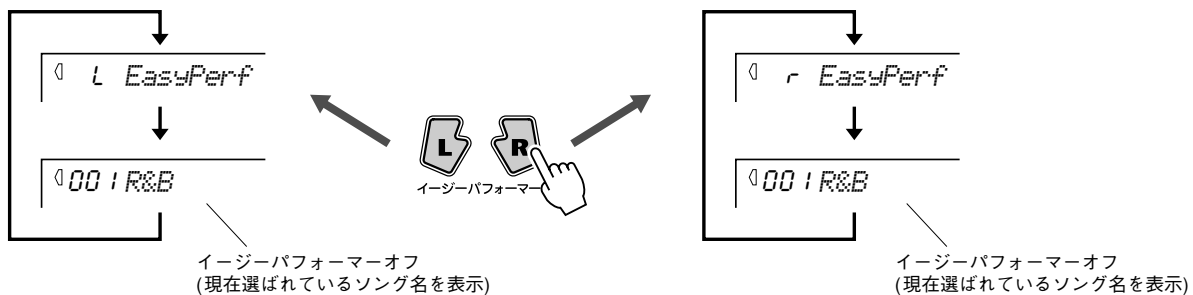
### 1 弾きたいソングを選びます。

[SONG](ソング)ボタンを押し、数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]で、弾きたい曲を選びます。



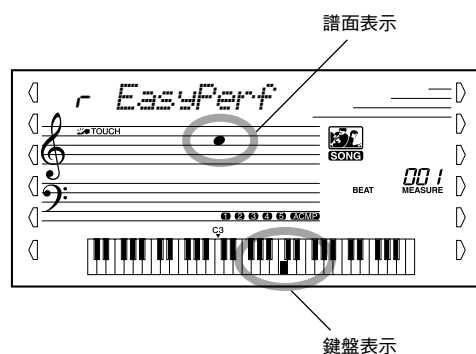
### 2 演奏したい手(右手/左手)を選びます。

右手パートを弾きたいときは[R]ボタンを押します。左手パートを弾きたいときは[L]ボタンを押します。パートを選ぶとソングが自動的にスタートします。



### 3 タイミングを合わせて演奏します。

上記手順2で選んだパートの演奏が消えます。画面に表示される譜面表示や鍵盤表示を見て、タイミングを合わせて弾いてください。このとき、弾く鍵盤を間違えてもタイミングが合っていれば正しく鳴ります。



## 4 演奏を終わります。

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します。



### ● トラックの選択

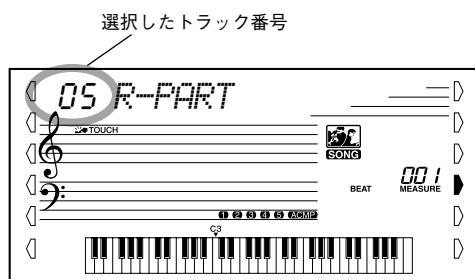
ディスクソングのとき、イージーパフォーマーで演奏するトラックを選択することができます。50ページの手順1「弾きたいソングを選びます。」に続いて以下の操作をします。

1 右手のトラックを設定したいときは、メニュー [R] ボタンを押して「トラックアサイン R」(TRACK ASSIGN R)、同様に左手のトラックを設定したいときは「トラックアサイン L」(TRACK ASSIGN L)を選びます。

2 数字ボタン [0]～[9]、[+]、[-]を押してトラックを選択します。

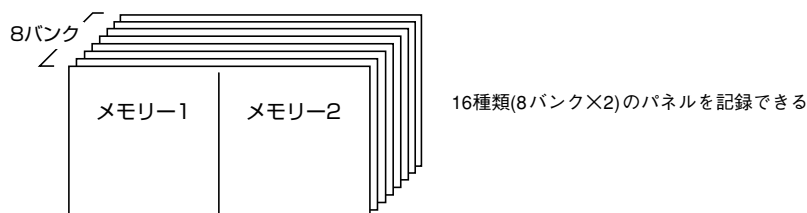
#### NOTE

- ・この機能はSMF Format 0のソングだけに有効です。(SMFについては57ページ参照)
- ・トラックの選択はソングが止まっている状態で選択してください。



# パネルの設定を保存する(レジストレーションメモリー)

現在のパネルの状態(楽器音色、スタイルなど本体パネル上で設定した内容)を保存でき、いつでも呼び出すことができます。パネルの状態は16個(8バンク×2)のメモリーに保存できます。



## 現在のパネルの設定状態を保存する

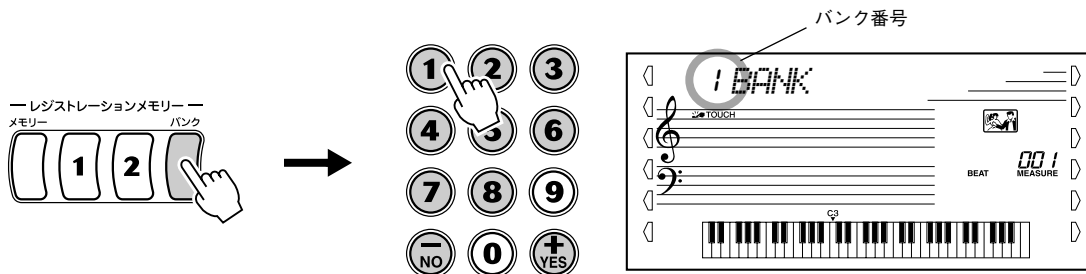
### ● レジストレーションメモリーに記録/呼び出しできる設定内容

- ・楽器番号
- ・メインボイスボリューム
- ・メインボイスリバーブレベル
- ・メインボイスDSPレベル
- ・デュアルボイスオン/オフ
- ・デュアルボイス楽器番号
- ・デュアルボイスオクターブ
- ・デュアルボイスボリューム
- ・デュアルボイスリバーブレベル
- ・デュアルボイスDSPレベル
- ・スプリットポイント
- ・リバーブタイプ
- ・DSPタイプ
- ・ハーモニー オン/オフ、およびハーモニータイプ
- ・スタイル番号 \*
- ・スタイル オン/オフ \*
- ・メインA/メインB 設定 \*
- ・スタイル音量 \*
- ・テンポ \*
- ・トランスポーズ
- ・ピッチベンドレンジ

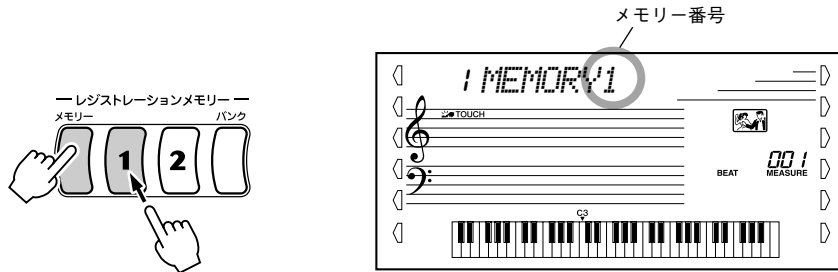
\* ソングを演奏する状態(ソングアイコンが表示されている)のときは保存できません。  
[VOICE](ボイス)ボタンまたは[STYLE](スタイル)ボタンを押すと保存できるようになります。

**1** パネル(楽器音色、スタイルなど本体パネル上で設定した内容)を保存させたい状態にします。

**2** [バンク](BANK) ボタンを押して、数字ボタン[1]~[8]、[+]、[-]で保存したいバンク(1~8)を選択します。



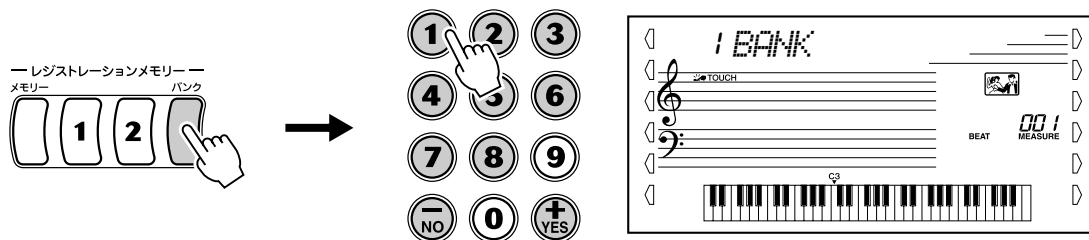
- 3** [メモリー](MEMORY) ボタンを押しながら、保存したいレジストレーションメモリー (REGIST. MEMORY)[1]または[2]ボタンを押します。  
これで現在のパネル設定が記録されました。



•すでにデータが保存されているレジストレーションメモリー (REGIST. MEMORY) を選択すると、データが上書きされ、以前のデータは消去されます。

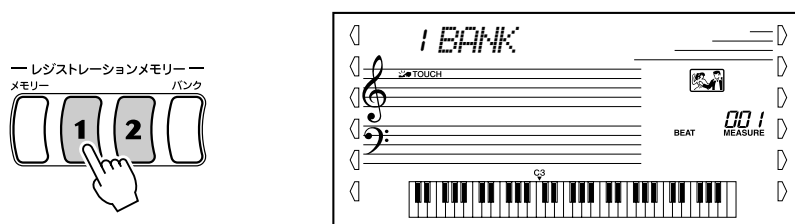
## 保存したパネルの設定を呼び出す

- 1** [バンク](BANK) ボタンを押してバンク番号を表示させます。  
数字ボタン[1]～[8]、[+]、[-]を押して、呼び出したいバンク(1～8)を選択します。



• パネルの設定を呼び出すと、現在のパネル設定は失われます。大切な設定データは、他のレジストレーションメモリーに記録しておきましょう。

- 2** 呼び出したいレジストレーションメモリー (REGIST. MEMORY)[1]または[2]ボタンを押します。  
パネルに設定内容が呼び出されます。



# フロッピーディスクにセーブ/ロードする

## PSR-450でセーブ/ロードできるデータ

拡張子	データの種類	セーブ	ロード
.USR	ユーザーソング ユーザースタイル レジストレーションメモリー	○	○
.STY	スタイルファイル	—	○

### NOTE

・ユーザーソング、レジストレーションメモリーとスタイルデータ(スタイル番号141)は1つのファイルとしてセーブ/ロードされます。

## ディスクソングを鳴らす

別売のGMソング、ピアノプレーヤ用ソングやSMF(スタンダードMIDIファイル)で録音したソングの入ったフロッピーディスクは、データを本体内部メモリーに読み込む(ロード)ことなく、フロッピーディスクドライブにディスクを入れるだけですぐに再生ができます。

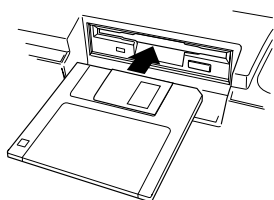
### NOTE

・ソングデータによってはPSR-450の61鍵盤の範囲を超えて演奏されるものもあります。

### 1 フロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。

フロッピーディスクのラベル面を上側にして、シャッター側からディスク挿入口に入れ、カチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込みます。

ソングが入ったディスクがセットされると、PSR-450は自動的にソングになります。

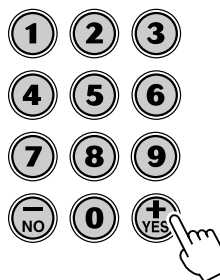


### NOTE

・市販のディスクソングの中には、曲の実際のテンポとは関係なく、データ上でテンポ一定となっているものがあります。このように設定されたソングをフリーテンポのソフトと呼びます。フリーテンポのディスクソングをPSR-450で再生した場合、小節表示が「F」となり、ビートランプは点滅しません。

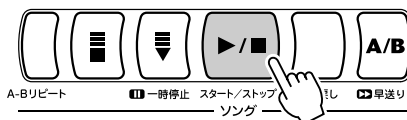
### 2 聞きたいソングの番号を選びます。

数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押して番号を選びます。



### 3 ソングをスタートします。

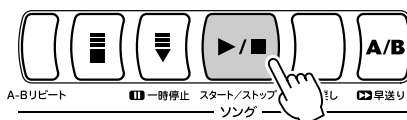
[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、選ばれているソングがスタートします。



### 4 他のソングを聞く場合は、上記手順2に戻ります。

### 5 ソングをストップします。

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングがストップします。



## トラックのオクターブを変更する

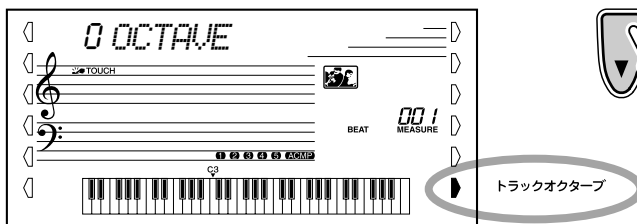
ディスクソングを再生していると、再生している音がPSR-450の鍵域(C1～C6)を超えて鳴る場合があります。このとき画面に超えた音の譜面と鍵盤は表示されず、鍵域を超えたことを知らせる「**OVER**」と「**◀▶**」が点灯します。鍵域を超えた音を画面に表示させたいときは、以下の操作でトラックのオクターブを変更します。変更後、再生音はオクターブ移動して鳴ります。変更できる値は、上下2オクターブまでです。

**NOTE**

- ・トラックのオクターブ変更は、51ページ「トラックの選択」で選択されているトラックに対して機能します。



1 再生を止めて、メニュー[R]をボタンを押し、「トラックオクターブ」(TRACK OCTAVE)を選びます。



2 オクターブ変更する値を設定します。

数字ボタン[0]、[1]、[2]を押してオクターブを設定します。オクターブを上げると「**OVER**」の左側に「+2 +1」が点灯し、オクターブを下げると「**OVER**」の右側に「-1 -2」が点灯します。

**NOTE**

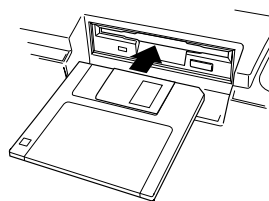
- ・オクターブ設定は再生が止まっているときに設定します。
- ・マイナスの値を設定するときは、数字ボタン[-]を押しながら数字ボタン[1]、[2]で設定します。

## データをセーブ

ユーザーソング(ソング番号006～010)とユーザースタイル(スタイル番号141)を一括でフロッピーディスクにセーブ(保存)します。

1 フォーマット済みのフロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。

フォーマットについては「フォーマット(フロッピーディスクの初期化)」(59ページ)を参照してください。

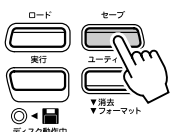


2 [セーブ](SAVE) ボタンを押します。

セーブされる新規のファイルネーム(「UF\_00nnn」など)が画面に表示されます。このファイルネームはPSR-450により自動的に付けられます。セーブを中止するときには、[セーブ](SAVE) ボタンをもう2回押してセーブ画面から抜けます。

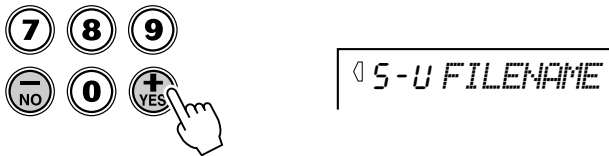
**NOTE**

- ・フロッピーディスクがディスク挿入口に入っていない状態で[セーブ](SAVE)ボタンを押すと、画面に「No disk」と表示されます。
- ・ライトプロテクトタブがオン(6ページ)にセットされている、またはコピープロテクトが設定されているフロッピーディスクが挿入された場合は、画面に「Protect」と表示され、セーブ操作はできません。



0 5 -- UF\_00nnn

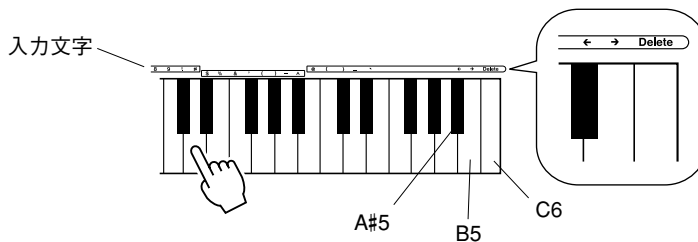
●すでにセーブされているファイルを消してセーブする(書き替える)には数字ボタン[+]、[-]を使って、書き替えるファイルを選びます。



### 3 必要に応じて、ファイル名称を変更します。

画面に表示されているファイル名称を、鍵盤を押して変更します。ファイル名称の文字数は最大8文字です。

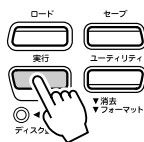
- ・ 鍵盤を押すと、鍵盤の上部にある文字が、カーソルのある位置に入力されます。
- ・ A#5鍵盤を押すとカーソルを左へ、B5鍵盤を押すとカーソルを右へ移動できます。
- ・ C6鍵盤を押すと、カーソル位置の文字を消す(空白)ことができます。



**NOTE**

・ファイル名称を変更すると、新しいファイルとしてセーブされます。

### 4 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。



**NOTE**

・すでにセーブされているファイルを選んでいる場合は、画面に「YES Over Wr?(書き替えてもいいですか?)」と表示されます。

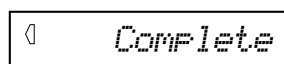
### 5 セーブを実行します。

数字ボタン[+/YES]を押すと、セーブがスタートします。セーブ中は画面に「Saving」と表示されます。



セーブを中止するときは、数字ボタン[-/NO]を押します。  
セーブから抜けるときは、[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。

セーブが終了すると、画面に「Complete」と表示されます。



・セーブの実行中(「Saving」表示中)は、フロッピーディスクを取り出したり電源を切るのは絶対にしないでください。

**NOTE**

・フロッピーディスクの空き容量が足りない場合は、画面に「DiskFull」と表示され、セーブ操作はできません。そのフロッピーディスクにセーブされている不要なファイルを消去する(58ページ参照)か、新しいフロッピーディスクと交換して、もう一度セーブをしてください。

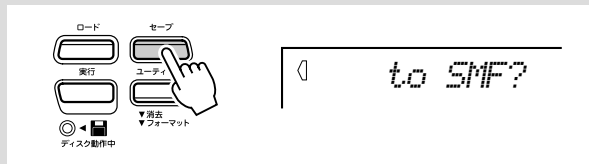
・セーブ中に書き込みエラーが発生した場合、画面に「Error」と表示されます。もう一度操作をやり直してください。やり直してもエラーが起こった場合は、フロッピーディスクに問題がある可能性があります。フロッピーディスクを交換してもう一度操作をやり直してください。



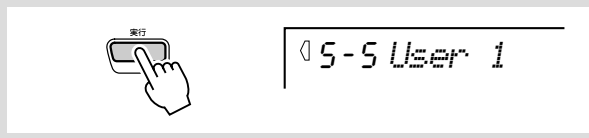
## ■ SMF(スタンダードMIDIファイル) Format 0でセーブする

SMF(スタンダードMIDIファイル)とは、MIDIの音楽データを扱うときの標準的なファイル形式です。  
PSR-450のソングデータをSMF Format 0でセーブする場合は、55ページ手順2の操作のあと以下の操作を行います。

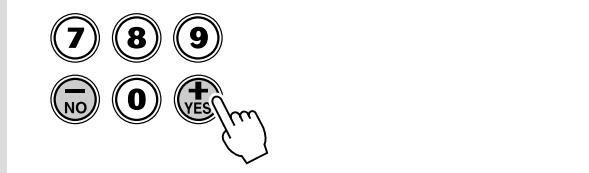
- 2-1** 55ページ手順2で[セーブ](SAVE)ボタンを押したあと、もう一度[セーブ](SAVE)ボタンを押してSMF Format 0でセーブする設定にします。



- 2-2** [実行](EXECUTE)ボタンを押します。



- 2-3** 数字ボタン[+]、[-]を使用して、セーブするソング番号を選びます。



- 2-4** [実行](EXECUTE)ボタンを押してセーブを実行します。



以下の操作は56ページ手順3に続きます。

## ロード

フロッピーディスクにセーブしたユーザーソングや付属のディスク内のスタイルデータを、PSR-450本体にロード(読み込み)します。

- 1** フロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。  
ロードしたいデータのあったフロッピーディスクを差し込みます。

- 2** [ロード](LOAD)ボタンを押します。

画面にファイル名が表示されます。

ロードを中止するときには、[ロード](LOAD)ボタンをもう1度押してロード画面から抜けます。



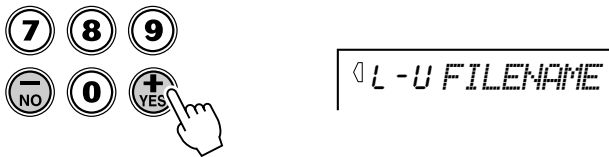
ユーザーファイルのときはこの表示になります。  
スタイルファイルのときは“L-5”になります。

### NOTE

- ・フロッピーディスクがドライブに入っていない状態で[ロード](LOAD)ボタンを押すと、画面に「No disk」と表示されます。

### 3 ロード(読み込み)するファイルを選びます。

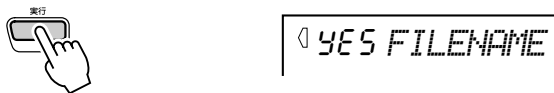
数字ボタン[+]、[-]を使って、ロードしたいファイルのファイルネームを画面に表示させます。



**NOTE**

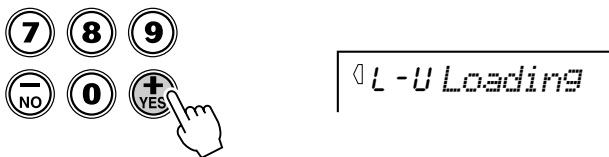
・フロッピーディスクにファイルが入っていない場合は、画面に「No file」と表示されません。

### 4 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。



### 5 ロードを実行します。

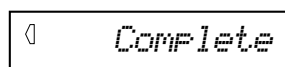
数字ボタン[+ / YES]を押すと、ロードがスタートします。  
ロード中は画面に「Loading」と表示されます。



・ロードの実行中(「Loading」表示中)は、フロッピーディスクを取り出したり電源を切ることは絶対にしないでください。

ロードを中止するときは、数字ボタン[- / NO]を押します。  
ロードから抜けるときは、[ロード](LOAD)ボタンを押します。

ロードが終了すると、画面に「Complete」と表示されます。



**NOTE**

・フロッピーディスクのデータをPSR-450本体にロードすると、本体に記録されていたデータはフロッピーディスクのデータに書き換えられます。大切なデータはロードする前にフロッピーディスクにセーブしておきましょう。

## 消去

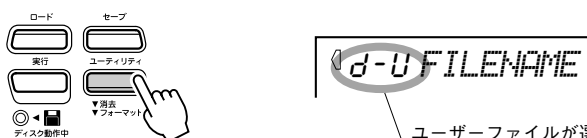
フロッピーディスクのデータを消去します。

### 1 フロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。

消去したいデータのあったフロッピーディスクを差し込みます。

### 2 [ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。

画面にファイルネームが表示されます。



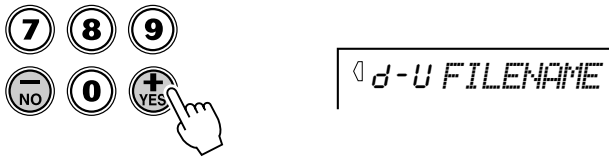
ユーザーファイルが選ばれている場合。  
SMFファイルのときは「d-5」になります。

**NOTE**

・フロッピーディスクがドライブに入っていない状態で[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押すと、画面に「No disk」と表示されます。  
・ライトプロテクトタブがオン(6ページ)にセットされているフロッピー、またはコピープロテクトが設定されているフロッピーを挿入すると、画面に「Protect」と表示され、消去操作はできません。  
・PSR-450で消去できるファイルは、PSR-450でセーブ(保存)したファイルだけです。ディスクにPSR-450で消去できるファイルがない場合は、画面にファイルネームが表示されず、フォーマット(59ページ)の画面になります。

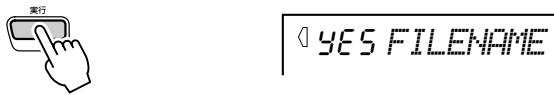
### 3 消去するファイルを選びます。

数字ボタン[+]、[-]を使って、消去したいファイルのファイルネームを画面に表示させます。



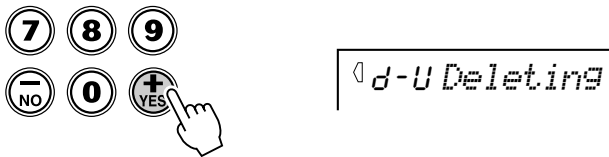
消去を中止するときは、[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを2回押します。

### 4 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。



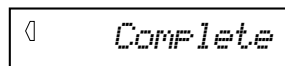
### 5 消去を実行します。

数字ボタン[+ / YES]を押すと、消去します。  
消去中は画面に「Deleting」と表示されます。



消去を中止するときは、数字ボタン[- / NO]を押します。  
消去から抜けるときは、[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを2回押します。

消去が終了すると、画面に「Complete」と表示されます。



**NOTE**

・フロッピーディスクにファイルが入っていない場合は、画面に「No file」と表示されません。



・消去の実行中(「Deleting」表示中)は、フロッピーディスクを取り出したり電源を切るとは絶対にしないでください。

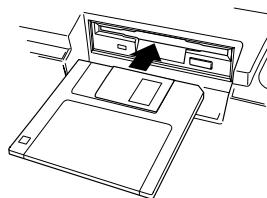
## フォーマット(フロッピーディスクの初期化)

市販のフロッピーディスク(3.5インチ、2HD/2DDタイプ)をPSR-450で使用できる状態にすることをフォーマット(初期化)と呼びます。

### ■ 未フォーマットのフロッピーディスクのフォーマット

① 市販の3.5インチフロッピーディスク(未フォーマットのもの)をディスク挿入口に差し込みます。

未フォーマットのフロッピーディスクを入れると、PSR-450は自動的にフォーマットの設定になります。



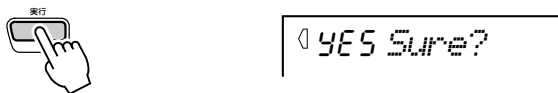
**NOTE**

・ライトプロテクトタブがオン(6ページ)にセットされているフロッピー、またはコピープロテクトが設定されているフロッピーを挿入すると、画面に「Protect」と表示され、フォーマット操作はできません。



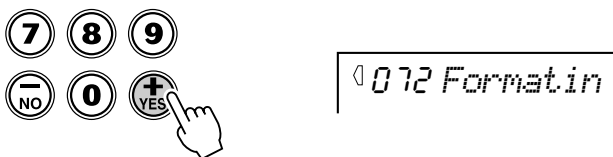
・PSR-450で読めないフォーマットタイプのディスクを挿入した場合、未フォーマットディスクが挿入された時と同じ状態になります。大切なデータをフォーマットで消してしまわないように注意してください。

- ② [実行](EXECUTE) ボタンを押します。  
画面には「yES Sure?(フォーマットしてもいいですか?)」と表示されます。

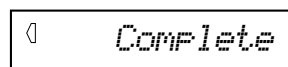


フォーマットを中止するときは、数字ボタン[-/NO]を押します。  
フォーマットから抜けるときは、[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。

- ③ 数字ボタン[+/YES]を押すと、フォーマットがスタートします。  
フォーマット中は画面に「Formatin」と表示されます。



フォーマットが終了すると、画面に「Complete」と表示されます。

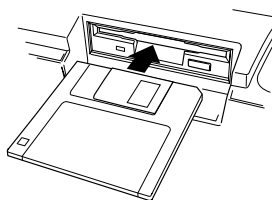


・フォーマットの実行中  
([Formatin]表示中)は、フ  
ロッピーディスクを取り出し  
たり電源を切ることは絶対に  
しないでください。

## ■ フォーマット済みのフロッピーディスクのフォーマット

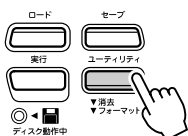
すでにフォーマット済みのフロッピーディスクで、ファイルをまとめて消去したい場合な  
どに便利な方法です。

- ① フロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。



・データが入っているフロ  
ッピーディスクをフォーマッ  
トすると、記録されているデ  
ータはすべて消えてしまいま  
す。大切なデータを消してしま  
わないように注意してください。

- ② [ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。

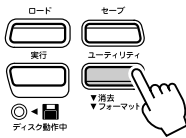


### NOTE

・フロッピーディスクがドライ  
ブに入っていない状態で[ユー  
ティリティ](UTILITY)ボタ  
ンを押すと、画面に「No Disk」  
と表示されます。

ディスクにファイルがない場合は自動的に次の手順(手順③)に移ります。

- ③ もう一度[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。  
 フォーマットを中止する場合は、さらにもう一度[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。



◁ CUE Format?

NOTE

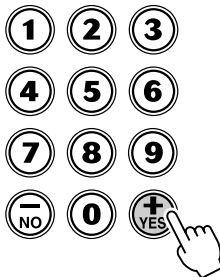
・ライトプロテクトタブがオン(6ページ)にセットされているフロッピー、またはコピープロテクトが設定されているフロッピーを挿入すると、画面に「Protect」と表示され、フォーマット操作はできません。

- ④ [実行](EXECUTE)ボタンを押します。  
 画面には「yES Sure?(フォーマットしてもいいですか?)」と表示されます。



◁ yES Sure?

- ⑤ 数字ボタン[+/YES]を押すと、フォーマットがスタートします。  
 フォーマット中は画面に「Formatin」と表示されます。



◁ 072 Formatin



・フォーマットの実行中(「Formatin」表示中)は、フロッピーディスクを取り出したり電源を切るとは絶対にしないでください。

フォーマットを中止するときは、数字ボタン[-/NO]を押します。  
 フォーマットから抜けるときは、[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。

フォーマットが終了すると、画面に「Complete」と表示されます。

◁ Complete

# MIDI機器の接続

PSR-450はリアパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)がついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。ここではMIDIとは何か、MIDIでできること、PSR-450のMIDI関連の操作方法などについて説明します。

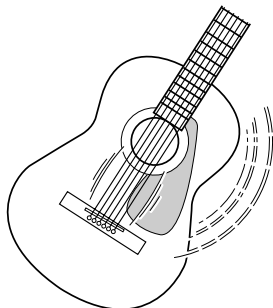
## MIDIって何?

「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉聞いたことがあるでしょうか?今、世の中には大別してこの2種類の楽器があります。

アコースティック楽器の代表的なものにはアコースティックピアノやガットギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。

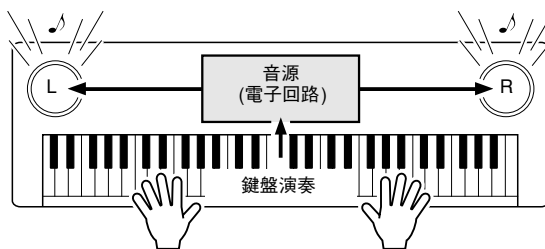
それではデジタル楽器と呼ばれるものは、どのようなしくみで音を鳴らしているのでしょうか?

### ● アコースティック楽器の発音



弦を弾くとボディが共鳴して鳴る

### ● 電子楽器(デジタル楽器)の発音



鍵盤からの演奏情報をもとに、音源に記録されているサンプリング音がスピーカーを通して発音

上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとになる演奏情報とはいったい何なのでしょう?

たとえば、PSR-450をグランドピアノの音色で、「ド」の鍵盤を4分音符の長さで、強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どの楽器で」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押さえたか」「いつ離れたか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えられて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音を鳴らすのです。

### [ 演奏情報の例 ]

楽器番号(どの楽器で)	001(グランドピアノ)
ノート番号(どの鍵盤を)	60(ド: C3)
ノート「オン」(いつ押さえたか)& ノート「オフ」(いつ離れたか)	タイミングを数値化(4分音符)
ベロシティ(どのくらいの強さで)	120(強く)

MIDI(ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなどと)で演奏情報のやりとりを行なうために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDIで扱うメッセージ(データ)には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。

#### ● チャンネルメッセージ

PSR-450は16チャンネル扱える電子楽器です。これは「16種類の楽器音色を同時に鳴らせる」ということを表します。チャンネルメッセージには、ノート オン/オフ、プログラムチェンジなど、16チャンネルのそれぞれに演奏情報があります。

メッセージ名	PSR-450の操作/パネル設定
ノート オン/オフ	鍵盤の演奏情報(ノートナンバーとベロシティで構成)
プログラムチェンジ	楽器音色の設定(コントロールチェンジのバンクセレクトMSB/LSBと合わせて設定)
コントロールチェンジ	楽器音色に関する設定(ボリューム、パンポットなど)など

#### ● システムメッセージ

MIDIシステム全体に共通して使用するデータです。システムメッセージには、メーカー固有のデータを送受信するエクスクルーシブメッセージ、MIDI機器をコントロールするリアルタイムメッセージなどがあります。

メッセージ名	PSR-450の操作/パネル設定
エクスクルーシブメッセージ	リバーブ/DSPタイプ設定など
リアルタイムメッセージ	クロックスタート/ストップなど

MIDIインプリメンテーションチャート(80ページ参照)にPSR-450で送信/受信できるメッセージが掲載されています。チャートを見ながらメッセージの内容を理解しましょう。

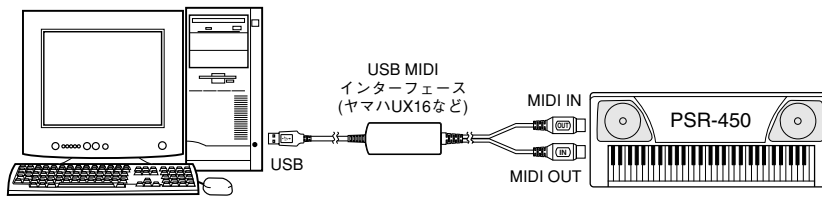
## MIDIでできること

- 他の楽器とMIDIケーブルで接続して演奏情報を送受信する。
- コンピューターとMIDIケーブルで接続して演奏情報を送受信する。
- ローカルオン/オフの設定：  
PSR-450で弾いた音をPSR-450本体で鳴らすか鳴らさないかの設定をする。
- イニシャルセンド：  
PSR-450の演奏を外部のシーケンサーなどに録音するとき、PSR-450の現在のパネルの情報を演奏前に録音することにより、あとでシーケンサーからデータをロードして演奏するとき、録音したときと同じパネルの状態で再生されます。
- クロックの設定：  
MIDI接続している他の機器と同期を取って演奏するとき、クロックを設定します。

## パーソナルコンピュータと接続する

コンピュータとPSR-450を接続することにより、PSR-450の演奏情報をコンピュータで活用したり、コンピュータから演奏情報を受信してPSR-450で鳴らすことができます。

- コンピューターのUSB端子とPSR-450のMIDI端子をUSBインターフェースを使用して接続します。



### NOTE

- ・MIDIの接続には専用のMIDIケーブル(別売)やUSBケーブル(別売)が必要です。楽器店などで買い求めください。
- ・MIDIケーブルは15m以内のものをご使用ください。あまり長いケーブルを使用すると、送信エラーを生じる場合があります。

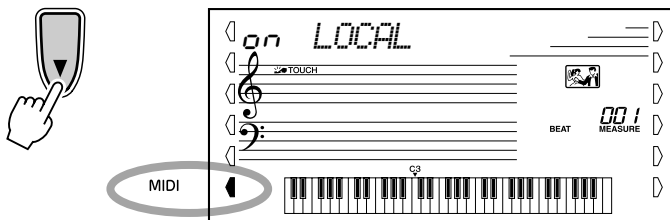
この接続でコンピュータを使用する場合、USB MIDIドライバーが必要になります。

## ローカルオン/オフを設定する

ローカルコントロールの設定を行いません。ローカルコントロールとは、PSR-450の演奏を、PSR-450の内部音源で鳴らす(オン)か鳴らさない(オフ)かの設定です。

- on (ローカルオン) .....本体の演奏は通常どおりPSR-450で発音します。また、MIDI INから受信した情報もPSR-450で発音します。
- off (ローカルオフ) .....本体の演奏はPSR-450で発音しません。ただし、演奏データはMIDI OUTから送信されます。また、MIDI INから受信した情報はPSR-450で発音します。

### 1 メニュー [L] ボタンを押してMIDIを選びます。

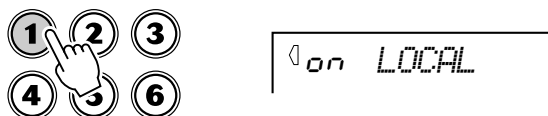


すでに「LOCAL」が表示されている場合は、手順**3**に行きます。



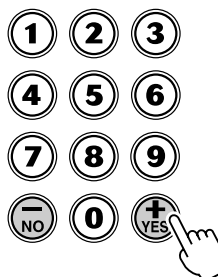
## 2 ローカルコントロールの設定を選びます。

数字ボタン[1]を押してローカルコントロールの設定に入ります。



## 3 ローカルオン/オフを設定します。

ローカルオンにするときは数字ボタン[+/YES]を、ローカルオフにするときは数字ボタン[-/NO]を押します。

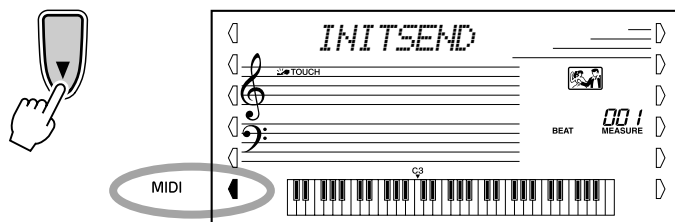


# PSR-450のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)

PSR-450のパネル設定を外部機器に送信します。

PSR-450の演奏をシーケンサーなどに録音するとき、演奏の前にイニシャルセンドを行なうことにより、再生時に、録音したときと同じパネル設定で再生することができます。

## 1 メニュー [L] ボタンを押してMIDIを選びます。



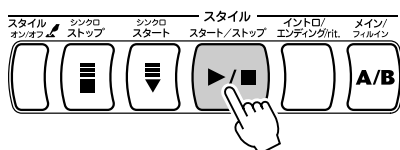
すでに「INITSEND」が表示されている場合は、手順3に行きます。

## 2 イニシャルセンドの設定を選びます。

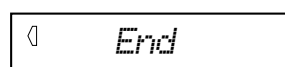
数字ボタン[2]を押してイニシャルセンドの設定に入ります。



## 3 送信します。



送信が終了すると「End」が表示されます。



## クロックを設定する

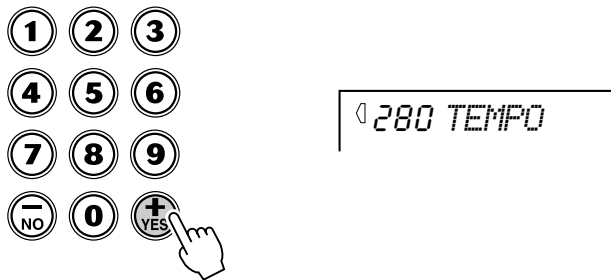
PSR-450のソング/スタイル再生やメトロノームなどを、MIDIケーブルで接続した他のMIDI機器のクロックに同期させる場合、この設定を行ないます。

- 内部クロックに同期させる ..... PSR-450の通常の設定です。  
(インターナルクロック)
- 外部クロックに同期させる ..... 接続したほかのMIDI機器のクロックで動作します。  
(エクスターナルクロック) (外部からクロック信号が入力されない場合、ソング、スタイル、メトロノームは鳴りません。)

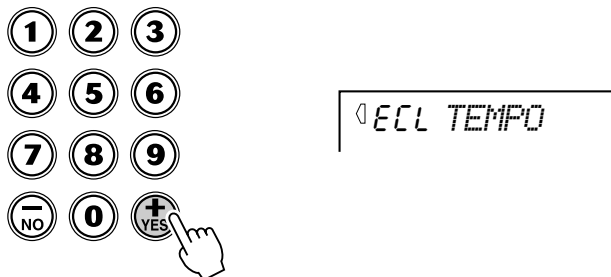
1 [テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押します。



2 数字ボタン[+]を数値が280になるまで押し続けます。



3 数字ボタン[+]をもう一度押します。



画面には「ECL」が表示され外部クロックに同期する設定になりました。  
インターナルクロックに戻す場合は、上記の手順で数字ボタン[-]を押し「ECL」から抜け、テンポ値を設定します。

# 楽器リスト

## ■ 最大同時発音数について .....

PSR-450の最大同時発音数は32音ですが、スプリット音色やスタイル、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先で発音します。

### NOTE

- ・MIDIを使ってPSR-450の楽器を鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo.を使用してください。
- ・プログラムチェンジを0~127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた数で指定します。たとえば、No.128のプログラムを指定する場合は、127の値になります。
- ・フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

### [ 楽器リスト ]

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
ピアノ				
001	000	112	001	グランドピアノ
002	000	112	002	ブライトピアノ
003	000	112	004	ホンキートンクピアノ
004	000	112	003	ミディグランドピアノ
005	000	113	003	CP 80
006	000	112	007	ハーブシコード
エレクトリックピアノ				
007	000	114	005	クール! ギャラクシーエレクトリックピアノ
008	000	119	005	クール! エレクトリックピアノ
009	000	112	005	ファンキーエレクトリックピアノ
010	000	112	006	DXモダンエレクトリックピアノ
011	000	113	006	ハイパータインズ
012	000	114	006	ビーナスエレクトリックピアノ
013	000	112	008	クラビ
オルガン				
014	000	118	019	クール! オルガン
015	000	117	017	クール! ジャズオルガン
016	000	117	019	クール! ローターオルガン
017	000	112	017	ジャズオルガン 1
018	000	113	017	ジャズオルガン 2
019	000	112	018	クリックオルガン
020	000	116	017	ブライトオルガン
021	000	112	019	ロックオルガン
022	000	114	019	パープルオルガン
023	000	118	017	16'+2'オルガン
024	000	119	017	16'+4'オルガン
025	000	114	017	シアターオルガン
026	000	112	020	チャーチオルガン
027	000	113	020	チャペルオルガン
028	000	112	021	リードオルガン
アコーディオン				
029	000	112	022	ミュゼットアコーディオン
030	000	113	022	トラディショナルアコーディオン
031	000	113	024	バンドネオン
032	000	113	023	モダンハーブ
033	000	112	023	ハーモニカ

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
ギター				
034	000	112	025	クラシックギター
035	000	114	029	クール! エレクトリックギター
036	000	112	026	フォークギター
037	000	113	026	12弦ギター
038	000	112	027	ジャズギター
039	000	113	027	オクターブギター
040	000	117	028	60年代風クリーンギター
041	000	112	028	クリーンギター
042	000	112	029	ミュートギター
043	000	112	030	オーバードライブギター
044	000	112	031	ディストーションギター
ベース				
045	000	112	033	アコースティックベース
046	000	112	034	フィンガーベース
047	000	112	035	ピックベース
048	000	112	036	フレットレスベース
049	000	112	037	スラップベース
050	000	112	039	シンセベース
051	000	113	039	ハイQベース
052	000	113	040	ダンスベース
ストリングス				
053	000	116	050	ライブ! オーケストラ
054	000	112	049	ストリングス
055	000	112	050	チェンバーストリングス
056	000	112	051	シンセストリングス
057	000	113	050	スローストリングス
058	000	112	045	トレモロストリングス
059	000	112	046	ピチカートストリングス
060	000	112	041	バイオリン
061	000	112	043	チェロ
062	000	112	044	コントラバス
063	000	112	106	バンジョー
064	000	112	047	ハーブ
065	000	112	056	オーケストラヒット
コーラス				
066	000	112	053	コーラス
067	000	113	053	ボーカルアンサンブル

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
068	000	112	054	ボックス フマーナ
069	000	112	055	エア コーラス
<b>サクセス</b>				
070	000	117	067	スイート! テナー サックス
071	000	114	066	スイート! アルト サックス
072	000	113	065	スイート! ソプラノ サックス
073	000	114	072	スイート! クラリネット
074	000	118	067	グロール サックス
075	000	112	068	バリトン サックス
076	000	112	067	テナー サックス
077	000	112	066	アルト サックス
078	000	112	065	ソプラノ サックス
079	000	114	067	プレッシー テナー サックス
080	000	112	069	オーボエ
081	000	112	072	クラリネット
082	000	112	070	イングリッシュホルン
083	000	112	071	バスーン
<b>トランペット</b>				
084	000	115	057	スイート! トランペット
085	000	117	058	スイート! トロンボーン
086	000	112	060	ミュート トランペット
087	000	112	057	トランペット
088	000	112	058	トロンボーン
089	000	113	058	トロンボーン セクション
090	000	112	061	フレンチホルン
091	000	112	059	チューバ
<b>ブラス</b>				
092	000	112	062	ブラス セクション
093	000	113	062	ビッグバンドブラス
094	000	119	062	メロー ホーン
095	000	112	063	シンセ ブラス
096	000	113	063	80年代風 ブラス
097	000	114	063	テクノ ブラス
<b>フルート</b>				
098	000	114	074	スイート! フルード
099	000	113	076	スイート! パンフルード
100	000	112	074	フルード
101	000	112	073	ピッコロ
102	000	112	076	パンフルード
103	000	112	075	リコーダー
104	000	112	080	オカリナ
<b>シンセリード</b>				
105	000	112	081	矩形波 リード
106	000	112	082	ノコギリ波 リード
107	000	112	086	ボイス リード
108	000	112	099	スター ダスト
109	000	112	101	ブライイトネス
110	000	115	082	アナログン
111	000	119	082	ファーゴ

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
<b>シンセパッド</b>				
112	000	118	089	スイートヘブン
113	000	112	089	ファンタジア
114	000	113	101	ベルパッド
115	000	112	092	ゼノンパッド
116	000	112	095	イクイノックス
117	000	113	090	ダークムーン
<b>パーカッション</b>				
118	000	112	012	ビブラフォン
119	000	112	013	マリimba
120	000	112	014	シロフォン
121	000	112	115	スチールドラム
122	000	112	009	チェレスタ
123	000	112	011	ミュージックボックス
124	000	112	015	チューブラーベル
125	000	112	048	ティンパニ
<b>スプリット</b>				
126	—	—	—	アコースティックベース/ グランドピアノ
127	—	—	—	フィンガーベース/ブライイトピアノ
128	—	—	—	フレットレスベース/ DX モダンエレクトリックピアノ
129	—	—	—	アコースティックベース/ ビブラフォン
130	—	—	—	フレットレスベース/ プラスセクション
131	—	—	—	アナログン/ノコギリ波リード
132	—	—	—	スラップベース/クラビ
133	—	—	—	クラシックギター/ スイート!フルート
134	—	—	—	ストリングスアンサンブル/ グランドピアノ
135	—	—	—	ボックスフマーナ/コーラス
<b>ドラムキット</b>				
136	127	000	001	スタンダードキット1
137	127	000	002	スタンダードキット2
138	127	000	009	ルームキット
139	127	000	017	ロックキット
140	127	000	025	エレクトロニックキット
141	127	000	026	アナログキット
142	127	000	028	ダンスキット
143	127	000	033	ジャズキット
144	127	000	041	ブラッシュキット
145	127	000	049	シンフォニーキット
146	126	000	001	SFXキット1
147	126	000	002	SFXキット2

## [ XG楽器リスト ]

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
<b>ピアノ</b>				
148	000	000	001	グランドピアノ
149	000	001	001	グランドピアノ KSP
150	000	018	001	メログランドピアノ
151	000	040	001	ピアノストリングス
152	000	041	001	ドリーム
153	000	000	002	ブライトピアノ
154	000	001	002	ブライトピアノ KSP
155	000	000	003	エレクトリックグランドピアノ
156	000	001	003	エレクトリックグランドピアノ KSP
157	000	032	003	デチューンド CP 80
158	000	040	003	レイヤード CP 1
159	000	041	003	レイヤード CP 2
160	000	000	004	ホンキートンク ピアノ
161	000	001	004	ホンキートンク ピアノ KSP
162	000	000	005	エレクトリック ピアノ 1
163	000	001	005	エレクトリック ピアノ 1 KSP
164	000	018	005	メロ エレクトリック ピアノ 1
165	000	032	005	コーラス エレクトリック ピアノ 1
166	000	040	005	ハード エレクトリック ピアノ
167	000	045	005	ベロシティ クロスフェード エレクトリック ピアノ 1
168	000	064	005	60's エレクトリック ピアノ 1
169	000	000	006	エレクトリック ピアノ 2
170	000	001	006	エレクトリック ピアノ 2 KSP
171	000	032	006	コーラス エレクトリック ピアノ 2
172	000	033	006	DX エレクトリック ピアノ ハード
173	000	034	006	DX レジェンド
174	000	040	006	DX フェイズ エレクトリック ピアノ
175	000	041	006	DX+アナログ エレクトリック ピアノ
176	000	042	006	DXコト エレクトリック ピアノ
177	000	045	006	ベロシティ クロスフェード エレクトリック ピアノ 2
178	000	000	007	ハーブシコード
179	000	001	007	ハーブシコード KSP
180	000	025	007	ハーブシコード 2
181	000	035	007	ハーブシコード 3
182	000	000	008	クラビ
183	000	001	008	クラビ KSP
184	000	027	008	クラビ ワウ
185	000	064	008	パルス クラビ
186	000	065	008	ピアス クラビ
<b>クロマティック</b>				
187	000	000	009	チェレスタ
188	000	000	010	グロッケンシュピール
189	000	000	011	ミュージック ボックス
190	000	064	011	オルゴール
191	000	000	012	ビブラフォン
192	000	001	012	ビブラフォン KSP
193	000	045	012	ハード ビブラフォン

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
194	000	000	013	マリンバ
195	000	001	013	マリンバ KSP
196	000	064	013	サイン マリンバ
197	000	097	013	バリンバ
198	000	098	013	ログ ドラム
199	000	000	014	シロフォン
200	000	000	015	チューブラー ベル
201	000	096	015	チャーチ ベル
202	000	097	015	カリヨン
203	000	000	016	ダルシマー
204	000	035	016	ダルシマー 2
205	000	096	016	ツィンパロン
206	000	097	016	サントウール
<b>オルガン</b>				
207	000	000	017	ドローパー オルガン
208	000	032	017	デチューンド ドローパー オルガン
209	000	033	017	60's ドローパー オルガン 1
210	000	034	017	60's ドローパー オルガン 2
211	000	035	017	70's ドローパー オルガン 1
212	000	036	017	ドローパー オルガン 2
213	000	037	017	60's ドローパー オルガン 3
214	000	038	017	イーブン バー
215	000	040	017	16'+2'2/3
216	000	064	017	オルガンベース
217	000	065	017	70's ドローパー オルガン 2
218	000	066	017	チージー オルガン
219	000	067	017	ドローパー オルガン 3
220	000	000	018	パーカッシブ オルガン
221	000	024	018	70's パーカッシブ オルガン
222	000	032	018	デチューンド パーカッシブ オルガン
223	000	033	018	ライト オルガン
224	000	037	018	パーカッシブ オルガン 2
225	000	000	019	ロック オルガン
226	000	064	019	ロータリー オルガン
227	000	065	019	スロー ロータリー
228	000	066	019	ファスト ロータリー
229	000	000	020	チャーチ オルガン
230	000	032	020	チャーチ オルガン 3
231	000	035	020	チャーチ オルガン 2
232	000	040	020	ノートル ダム
233	000	064	020	オルガン フルート
234	000	065	020	トレモロ オルガン フルート
235	000	000	021	リード オルガン
236	000	040	021	パフ オルガン
237	000	000	022	アコーディオン F
238	000	032	022	アコーディオン I
239	000	000	023	ハーモニカ
240	000	032	023	ハーモニカ 2
241	000	000	024	タンゴ アコーディオン
242	000	064	024	タンゴ アコーディオン 2

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
<b>ギター</b>				
243	000	000	025	ナイロン弦 ギター
244	000	016	025	ナイロン弦 ギター 2
245	000	025	025	ナイロン弦 ギター 3
246	000	043	025	ペロシティ ギター ハーモニクス
247	000	096	025	ウクレレ
248	000	000	026	スチール弦 ギター
249	000	016	026	スチール弦 ギター 2
250	000	035	026	12弦 ギター
251	000	040	026	ナイロン&スチール弦 ギター
252	000	041	026	スチール弦 ギター&ボディ サウンド
253	000	096	026	マンドリン
254	000	000	027	ジャズ ギター
255	000	018	027	メロー ギター
256	000	032	027	ジャズ アンプ
257	000	000	028	クリーン ギター
258	000	032	028	コーラス ギター
259	000	000	029	ミュート ギター
260	000	040	029	ファンク ギター 1
261	000	041	029	ミュート スチール弦 ギター
262	000	043	029	ファンク ギター 2
263	000	045	029	ジャズ マン
264	000	000	030	オーバードライブ ギター
265	000	043	030	ギター ピンチ
266	000	000	031	ディストーション ギター
267	000	040	031	フィードバック ギター
268	000	041	031	フィードバック ギター 2
269	000	000	032	ギター ハーモニクス
270	000	065	032	ギター フィードバック
271	000	066	032	ギター ハーモニクス 2
<b>ベース</b>				
272	000	000	033	アコースティック ベース
273	000	040	033	ジャズ リズム
274	000	045	033	ペロシティ クロスフェード アップライト ベース
275	000	000	034	フィンガー ベース
276	000	018	034	フィンガー ダーク
277	000	027	034	フランジ ベース
278	000	040	034	ベース & ディストーション ギター
279	000	043	034	フィンガー スラップ ベース
280	000	045	034	フィンガー ベース 2
281	000	065	034	モジュレーテッド ベース
282	000	000	035	ピック ベース
283	000	028	035	ミュートピック ベース
284	000	000	036	フレットレス ベース
285	000	032	036	フレットレス ベース 2
286	000	033	036	フレットレス ベース 3
287	000	034	036	フレットレス ベース 4
288	000	096	036	シンセ フレットレス
289	000	097	036	スムーズ フレットレス
290	000	000	037	スラップ ベース 1

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
291	000	027	037	レゾナント スラップ
292	000	032	037	パンチサム ベース
293	000	000	038	スラップ ベース 2
294	000	043	038	ペロシティ スイッチ スラップ
295	000	000	039	シンセ ベース 1
296	000	018	039	シンセ ベース 1 ダーク
297	000	020	039	ファストレゾナント ベース
298	000	024	039	アシッド ベース
299	000	035	039	クラブ ベース
300	000	040	039	テクノ シンセ ベース
301	000	064	039	オービター
302	000	065	039	スクエア ベース
303	000	066	039	ラバー ベース
304	000	096	039	ハマー
305	000	000	040	シンセ ベース 2
306	000	006	040	メロー シンセ ベース
307	000	012	040	シーケンスド ベース
308	000	018	040	クリック シンセ ベース
309	000	019	040	シンセ ベース 2 ダーク
310	000	032	040	スムーズ シンセ ベース
311	000	040	040	モジュラー シンセ ベース
312	000	041	040	DX ベース
313	000	064	040	エックス ワイヤ ベース
<b>ストリングス</b>				
314	000	000	041	バイオリン
315	000	008	041	スロー バイオリン
316	000	000	042	ビオラ
317	000	000	043	チェロ
318	000	000	044	コントラバス
319	000	000	045	トレモロ ストリングス
320	000	008	045	スロー トレモロ ストリングス
321	000	040	045	サスペンス ストリングス
322	000	000	046	ピチカート ストリングス
323	000	000	047	ハーブ
324	000	040	047	ヤンチン
325	000	000	048	ティンパニ
<b>アンサンブル</b>				
326	000	000	049	ストリングス 1
327	000	003	049	ステレオ ストリングス
328	000	008	049	スロー ストリングス
329	000	024	049	アルコ ストリングス
330	000	035	049	60's ストリングス
331	000	040	049	オーケストラ
332	000	041	049	オーケストラ 2
333	000	042	049	トレモロ オーケストラ
334	000	045	049	ペロシティ ストリングス
335	000	000	050	ストリングス 2
336	000	003	050	ステレオ スロー ストリングス
337	000	008	050	レガート ストリングス
338	000	040	050	ウォーム ストリングス
339	000	041	050	キングダム

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
340	000	064	050	70's ストリングス
341	000	065	050	ストリングス3
342	000	000	051	シンセ ストリングス 1
343	000	027	051	レゾナント ストリングス
344	000	064	051	シンセ ストリングス 4
345	000	065	051	シンセ ストリングス 5
346	000	000	052	シンセ ストリングス 2
347	000	000	053	クワイア アー
348	000	003	053	ステレオ クワイア
349	000	016	053	クワイア アー 2
350	000	032	053	メロー クワイア
351	000	040	053	クワイア ストリングス
352	000	000	054	ボイス ウー
353	000	000	055	シンセ ボイス
354	000	040	055	シンセ ボイス 2
355	000	041	055	コラルール
356	000	064	055	アナログ ボイス
357	000	000	056	オーケストラ ヒット
358	000	035	056	オーケストラ ヒット 2
359	000	064	056	インパクト
<b>ブラス</b>				
360	000	000	057	トランペット
361	000	016	057	トランペット 2
362	000	017	057	ブライト トランペット
363	000	032	057	ウォーム トランペット
364	000	000	058	トロンボーン
365	000	018	058	トロンボーン 2
366	000	000	059	チューバ
367	000	016	059	チューバ 2
368	000	000	060	ミュート トランペット
369	000	000	061	フレンチホルン
370	000	006	061	フレンチホルン ソロ
371	000	032	061	フレンチホルン 2
372	000	037	061	ホルン オーケストラ
373	000	000	062	ブラス セクション
374	000	035	062	トランペット&トロンボーン セクション
375	000	040	062	ブラス セクション 2
376	000	041	062	ハイ ブラス
377	000	042	062	メロー ブラス
378	000	000	063	シンセ ブラス 1
379	000	012	063	クアック ブラス
380	000	020	063	レゾナント シンセ ブラス
381	000	024	063	ポリ ブラス
382	000	027	063	シンセ ブラス 3
383	000	032	063	ジャンプ ブラス
384	000	045	063	アナログ ベロシティ ブラス 1
385	000	064	063	アナログ ブラス 1
386	000	000	064	シンセ ブラス 2
387	000	018	064	ソフト ブラス
388	000	040	064	シンセ ブラス 4

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
389	000	041	064	クワイア ブラス
390	000	045	064	アナログ ベロシティ ブラス 2
391	000	064	064	アナログ ブラス 2
<b>リード</b>				
392	000	000	065	ソプラノ サックス
393	000	000	066	アルト サックス
394	000	040	066	サックス セクション
395	000	043	066	ハイパー アルト サックス
396	000	000	067	テナー サックス
397	000	040	067	ブレッシー テナー サックス
398	000	041	067	ソフト テナー サックス
399	000	064	067	テナー サックス 2
400	000	000	068	バリトン サックス
401	000	000	069	オーボエ
402	000	000	070	イングリッシュホルン
403	000	000	071	バスーン
404	000	000	072	クラリネット
<b>パイプ</b>				
405	000	000	073	ピッコロ
406	000	000	074	フルート
407	000	000	075	リコーダー
408	000	000	076	パンフルート
409	000	000	077	ボトル
410	000	000	078	尺八
411	000	000	079	口笛
412	000	000	080	オカリナ
<b>シンセリード</b>				
413	000	000	081	スクエア リード
414	000	006	081	スクエア リード 2
415	000	008	081	LM スクエア
416	000	018	081	ハロー
417	000	019	081	シュラウド
418	000	064	081	メロー
419	000	065	081	ソロ サイン
420	000	066	081	サイン リード
421	000	000	082	ソートゥース リード
422	000	006	082	ソートゥース リード 2
423	000	008	082	シック ソートゥース
424	000	018	082	ダイナミック ソートゥース
425	000	019	082	デジタル ソートゥース
426	000	020	082	ビッグ リード
427	000	024	082	ヘビー シンセ
428	000	025	082	ワスピー シンセ
429	000	040	082	パルス ソートゥース
430	000	041	082	ドクター リード
431	000	045	082	ベロシティ リード
432	000	096	082	シーケンスド アナログ
433	000	000	083	カリオベリード
434	000	065	083	ピュアパッド
435	000	000	084	チフ リード
436	000	064	084	ルビー

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
437	000	000	085	チャランリード
438	000	064	085	ディストーションリード
439	000	065	085	ワイヤーリード
440	000	000	086	ボイスリード
441	000	024	086	シンセアー
442	000	064	086	ボックスリード
443	000	000	087	5度リード
444	000	035	087	ビッグファイブ
445	000	000	088	ベース & リード
446	000	016	088	ビッグ & ロー
447	000	064	088	ファット & パーキー
448	000	065	088	ソフトホワール
シンセパッド				
449	000	000	089	ニューエイジパッド
450	000	064	089	ファンタジー
451	000	000	090	ウォームパッド
452	000	016	090	シックパッド
453	000	017	090	ソフトパッド
454	000	018	090	サインパッド
455	000	064	090	ホルンパッド
456	000	065	090	ロータリースtringス
457	000	000	091	ポリシンセパッド
458	000	064	091	ポリパッド80
459	000	065	091	クリックパッド
460	000	066	091	アナログパッド
461	000	067	091	スクエアパッド
462	000	000	092	クワイアパッド
463	000	064	092	ヘブン
464	000	066	092	アイトピア
465	000	067	092	CCパッド
466	000	000	093	ボウドパッド
467	000	064	093	グレーシャー
468	000	065	093	グラスパッド
469	000	000	094	メタリックパッド
470	000	064	094	タインパッド
471	000	065	094	パンパッド
472	000	000	095	ハローパッド
473	000	000	096	スリーブパッド
474	000	020	096	シュイマー
475	000	027	096	コンバージ
476	000	064	096	ポーラーパッド
477	000	066	096	シレスティアル
シンセエフェクト				
478	000	000	097	レイン
479	000	045	097	クラビパッド
480	000	064	097	ハーモレイン
481	000	065	097	アフリカンウィンド
482	000	066	097	カリブ
483	000	000	098	サウンドトラック
484	000	027	098	プロローグ
485	000	064	098	アンセストラル

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
486	000	000	099	クリスタル
487	000	012	099	シンセドラムコンプ
488	000	014	099	ポップコーン
489	000	018	099	タイニーベル
490	000	035	099	ラウンドグロックンシュピール
491	000	040	099	グロックンシュピールチャイム
492	000	041	099	クリアベル
493	000	042	099	コーラスベル
494	000	064	099	シンセマレット
495	000	065	099	ソフトクリスタル
496	000	066	099	ラウドグロックンシュピール
497	000	067	099	クリスマスベル
498	000	068	099	ビブラフォンベル
499	000	069	099	デジタルベル
500	000	070	099	エアベル
501	000	071	099	ベルハーブ
502	000	072	099	ガムリンバ
503	000	000	100	アトモスフィア
504	000	018	100	ウォームアトモスフィア
505	000	019	100	ハローリリース
506	000	040	100	ナイロンエレクトリックピアノ
507	000	064	100	ナイロンハーブ
508	000	065	100	ハーブボックス
509	000	066	100	アトモスフィアパッド
510	000	067	100	ブラネット
511	000	000	101	ブライトネス
512	000	064	101	ファンタジーベル
513	000	096	101	スモーキー
514	000	000	102	ゴブリン
515	000	064	102	ゴブリンシンセ
516	000	065	102	クリーパー
517	000	066	102	リングパッド
518	000	067	102	リチュアル
519	000	068	102	トゥーヘブン
520	000	070	102	ナイト
521	000	071	102	グリソン
522	000	096	102	ベルクワイア
523	000	000	103	エコー
524	000	008	103	エコー2
525	000	014	103	エコーパン
526	000	064	103	エコーベル
527	000	065	103	ビッグパン
528	000	066	103	シンセピアノ
529	000	067	103	クリエーション
530	000	068	103	スターダスト
531	000	069	103	レゾナント & パンニング
532	000	000	104	サイエンスフィクション
533	000	064	104	スターズ
ワールド				
534	000	000	105	シタール
535	000	032	105	デチューンドシタール



楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
536	000	035	105	シタール 2
537	000	096	105	タンブラ
538	000	097	105	タンブーラ
539	000	000	106	バンジヨー
540	000	028	106	ミュートバンジヨー
541	000	096	106	ラバーブ
542	000	097	106	ゴビチャント
543	000	098	106	ウード
544	000	000	107	三味線
545	000	000	108	琴
546	000	096	108	大正琴
547	000	097	108	カヌーン
548	000	000	109	カリンバ
549	000	000	110	バグパイプ
550	000	000	111	フィドル
551	000	000	112	シャナイ
552	000	064	112	シャナイ 2
553	000	096	112	ブーンギ
554	000	097	112	箏
パーカッション				
555	000	000	113	ティンクル ベル
556	000	096	113	ボナン
557	000	097	113	アルタイル
558	000	098	113	ガムラン
559	000	099	113	ステレオ ガムラン
560	000	100	113	ラマ シンバル
561	000	101	113	アジアン ベル
562	000	000	114	アゴゴ
563	000	000	115	スチール ドラム
564	000	097	115	グラス パーカッション
565	000	098	115	タイ ベル
566	000	000	116	ウッドブロック
567	000	096	116	カスタネット
568	000	000	117	和太鼓
569	000	096	117	グラン カッサ
570	000	000	118	メロディック タム
571	000	064	118	メロディック タム 2
572	000	065	118	リアル タム
573	000	066	118	ロック タム
574	000	000	119	シンセ ドラム
575	000	064	119	アナログ タム
576	000	065	119	エレクトロニック パーカッション
577	000	000	120	リバース シンバル
サウンドエフェクト				
578	000	000	121	フレット ノイズ
579	000	000	122	ブレス ノイズ
580	000	000	123	海辺
581	000	000	124	鳥のさえずり 1
582	000	000	125	電話 1
583	000	000	126	ヘリコプター
584	000	000	127	拍手

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
585	000	000	128	銃声
586	064	000	001	カッティング ノイズ 1
587	064	000	002	カッティング ノイズ 2
588	064	000	004	ベース スtringス スラップ
589	064	000	017	フルート キー クリック
590	064	000	033	雨
591	064	000	034	雷
592	064	000	035	風
593	064	000	036	せせらぎ
594	064	000	037	泡
595	064	000	038	フィード
596	064	000	049	犬
597	064	000	050	馬
598	064	000	051	鳥のさえずり 2
599	064	000	055	ゴースト
600	064	000	056	マオウ
601	064	000	065	フーン コール
602	064	000	066	ドアのきしみ
603	064	000	067	ドアを開める
604	064	000	068	スクラッチ カット
605	064	000	069	スクラッチ スプリット
606	064	000	070	ウィンド チャイム
607	064	000	071	電話 2
608	064	000	081	イグニッション
609	064	000	082	タイヤ
610	064	000	083	レーシング カー
611	064	000	084	衝突
612	064	000	085	サイレン
613	064	000	086	列車
614	064	000	087	ジェット機
615	064	000	088	スターシップ
616	064	000	089	バースト
617	064	000	090	ローラー コースター
618	064	000	091	サブマリン
619	064	000	097	笑い声
620	064	000	098	悲鳴
621	064	000	099	パンチ
622	064	000	100	心音
623	064	000	101	足音
624	064	000	113	マシン ガン
625	064	000	114	レーザー ガン
626	064	000	115	爆発
627	064	000	116	火花

# ドラムキットリスト

- ※ “ ” は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。
- ※ 各パーカッション音の使用発音数は1です。
- ※ PSR-450の鍵盤 (Keyboard) の Note No. と Note は、MIDI の Note No. と Note よりも1 オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の「シーククリックH (MIDI Note No.24/Note C0)」をPSR-450の鍵盤で鳴らす場合は、Note No.36/Note C1 を押さえます。
- ※ 「Alternate assign」欄のオルタネート番号 (1～4) が同じものは、同時に鳴らすことはできません。
- ※ 「Key off」の欄に○印が付いている楽器は、鍵盤を離すとすぐに音が止まります (キーオフされます)。

		楽器No.				136	137	138	139	140	141
		MSB/LSB/PC				127/000/001	127/000/002	127/000/009	127/000/017	127/000/025	127/000/026
		Keyboard		MIDI		Key Off	Alternate assign	ルームキット	ロックキット	エレكتروニックキット	アナログキット
		Note No.	Note	Note No.	Note						
		25	C# 0	13	C# -1		3				
		26	D 0	14	D -1		3				
		27	D# 0	15	D# -1						
		28	E 0	16	E -1						
		29	F 0	17	F -1		4				
		30	F# 0	18	F# -1		4				
		31	G 0	19	G -1						
		32	G# 0	20	G# -1						
		33	A 0	21	A -1						
		34	A# 0	22	A# -1						
		35	B 0	23	B -1						
		36	C 1	24	C 0						
C1	C#1	37	C# 1	25	C# 0						
D1	D#1	38	D 1	26	D 0	○					
E1		39	D# 1	27	D# 0						
F1	F#1	40	E 1	28	E 0	○				リバースシンバル	リバースシンバル
		41	F 1	29	F 0	○					
G1	G#1	42	F# 1	30	F# 0					ハイキュー2	ハイキュー2
		43	G 1	31	G 0				スネアロックH	スネアL	スネアロックH
A1	A#1	44	G# 1	32	G# 0						
B1		45	A 1	33	A 0					バスドラムH	バスドラムH
		46	A# 1	34	A# 0						
C2	C#2	47	B 1	35	B 0					バスドラムH	バスドラムロック
		48	C 2	36	C 1					バスドラムロック	バスドラムゲート
D2	D#2	49	C# 2	37	C# 1					バスドラムゲート	バスドラムアナログH
E2		50	D 2	38	D 1						アナログサイドスティック
F2	F#2	51	D# 2	39	D# 1						アナログスネア1
G2	G#2	52	E 2	40	E 1						
		53	F 2	41	F 1						
A2	A#2	54	F# 2	42	F# 1	1					アナログハイハットクローズ1
B2		55	G 2	43	G 1						アナログタム1
C3	C#3	56	G# 2	44	G# 1	1					アナログハイハットクローズ2
D3	D#3	57	A 2	45	A 1						アナログタム2
E3		58	A# 2	46	A# 1	1					アナログハイハットオープン
F3	F#3	59	B 2	47	B 1						アナログタム3
G3	G#3	60	C 3	48	C 2						アナログタム4
A3	A#3	61	C# 3	49	C# 2						アナログタム5
B3		62	D 3	50	D 2						アナログシンバル
C4	C#4	63	D# 3	51	D# 2						アナログタム6
D4	D#4	64	E 3	52	E 2						
E4		65	F 3	53	F 2						
F4	F#4	66	F# 3	54	F# 2						
G4	G#4	67	G 3	55	G 2						
A4	A#4	68	G# 3	56	G# 2						アナログカウベル
B4		69	A 3	57	A 2						
C5	C#5	70	A# 3	58	A# 2						
D5	D#5	71	B 3	59	B 2						
E5		72	C 4	60	C 3						
F5	F#5	73	C# 4	61	C# 3						
G5	G#5	74	D 4	62	D 3						アナログコンガH
A5	A#5	75	D# 4	63	D# 3						アナログコンガM
B5		76	E 4	64	E 3						アナログコンガL
C6		77	F 4	65	F 3						
		78	F# 4	66	F# 3						
		79	G 4	67	G 3						
		80	G# 4	68	G# 3						
		81	A 4	69	A 3						
		82	A# 4	70	A# 3						アナログマラカス
		83	B 4	71	B 3	○					
		84	C 5	72	C 4	○					
		85	C# 5	73	C# 4						
		86	D 5	74	D 4	○					
		87	D# 5	75	D# 4						アナログクラベス
		88	E 5	76	E 4						
		89	F 5	77	F 4						
		90	F# 5	78	F# 4						
		91	G 5	79	G 4						スクラッチブッシュ
		92	G# 5	80	G# 4						スクラッチブル
		93	A 5	81	A 4						
		94	A# 5	82	A# 4						
		95	B 5	83	B 4						
		96	C 6	84	C 5						
		97	C# 6	85	C# 5						
		98	D 6	86	D 5						
		99	D# 6	87	D# 5						
		100	E 6	88	E 5						
		101	F 6	89	F 5						
		102	F# 6	90	F# 5						
		103	G 6	91	G 5						



# スタイルリスト

スタイル No.	スタイル名
<b>8ビート</b>	
001	クール8ビート
002	8ビートモダン
003	8ビートアドリア
004	60'sギターポップ
005	バブルガムポップ
006	60's8ビート
007	8ビート
008	オフビート
009	60'sロック
010	ハードロック
011	ロックシャッフル
012	8ビートロック
<b>16ビート</b>	
013	16ビート
014	ポップシャッフル1
015	ポップシャッフル2
016	ギターポップ
017	16ビートアップテンポ
018	クールシャッフル
019	ジャズロック
020	ヒップホップライト
<b>バラード</b>	
021	ピアノバラード
022	ラブソング
023	6/8モダンエレビ
024	6/8スローロック
025	オルガンバラード
026	ポップバラード
027	16ビートバラード1
028	16ビートバラード2
<b>ダンス</b>	
029	ユーロトランス
030	イビサ
031	ハウスミュージック
032	スイングハウス
033	テクノボリス
034	クラブダンス
035	クラブラテン
036	ガラージ1
037	ガラージ2
038	テクノパーティー
039	UKポップ
040	ヒップホップグループ
041	ヒップシャッフル
042	ヒップホップポップ
<b>ディスコ</b>	
043	70'sディスコ1
044	70'sディスコ2
045	ディスコフィリー
046	サタデーナイト

スタイル No.	スタイル名
047	ラテンディスコ
048	ディスコチョコレート
049	ディスコハンズ
050	ディスコフォックス
051	シュラッガーポップ
<b>スウィング&amp;ジャズ</b>	
052	BigBand ファスト
053	BigBand ミディアム
054	オーケストラスイング
055	BigBand バラード
056	BigBand シャッフル
057	ジャズクラブ
058	スイング1
059	スイング2
060	5ビート
061	ジャズバラード
062	ディキシランド
063	ラグタイム
064	アフロキューバン
065	チャールストン
<b>リズム &amp; ブルース</b>	
066	ソウル
067	デトロイトポップ1
068	60'sロックンロール
069	6/8ソウル
070	クロコツイスト
071	ロックンロール
072	デトロイトポップ2
073	ブギーウギー
074	コンボブギー
075	6/8ブルース
<b>カントリー</b>	
076	カントリー 8ビート
077	カントリーポップ
078	カントリースイング
079	カントリー 2/4
080	カウボーイブギー
081	カントリーシャッフル
082	ブルーグラス
083	ワイルドウェスト
<b>ラテン</b>	
084	ブラジリアンサンバ
085	ボサノバ
086	ポップボサ
087	ティファナ
088	ディスコラテン
089	マンボ
090	サルサ
091	ピギン
092	ギタールンバ
093	ルンバフラメンカ

スタイル No.	スタイル名
094	ルンバアイランド
095	レゲエ
<b>ボールルーム</b>	
096	ウィンナーワルツ
097	イングリッシュワルツ
098	スローフォックス
099	フォックストロット
100	クイックステップ
101	タンゴ
102	パソドブレ
103	サンバ
104	チャチャチャ
105	ルンバ
106	ジャイブ
<b>トラディショナル</b>	
107	USマーチ
108	6/8マーチ
109	ジャーマンマーチ
110	ボルカポップ
111	ボルカオーバークライナー
112	アイリッシュダンス
113	タランテラ
114	スコティッシュリール
115	ハワイアン
116	ショーチューン
117	クリスマススイング
118	クリスマスワルツ
<b>ワルツ</b>	
119	イタリアンワルツ
120	マリアッチワルツ
121	ギターセレナーデ
122	スイングワルツ
123	ジャズワルツ1
124	ジャズワルツ2
125	カントリーワルツ
126	ワルツオーバークライナー
127	ミュゼット
<b>ピアニスト</b>	
128	ストライド
129	ピアノスイング
130	ピアノブギ
131	ピアノラグ
132	アルペジオ
133	ミュージカル
134	ハバネラ
135	スローロック
136	8ビートピアノバラード
137	ピアノマーチ
138	6/8ピアノマーチ
139	ピアノワルツ
140	ピアノピギン

# ミュージックデータベースリスト

M.D.B. No.	M.D.B.名	M.D.B. No.	M.D.B.名	M.D.B. No.	M.D.B.名	M.D.B. No.	M.D.B.名
ポップヒット		059	Close2U	ロック&フュージョン		175	MagSeven
001	AlvFever	060	DAmorStr	119	DavAgain	176	TopWorld
002	Croco Rk	061	DolanesM	120	JumpRock	177	YlwRose
003	DayPdise	062	ElCondor	121	OyComCha	ディスコ&パーティー	
004	EasySday	063	Entrtain	122	PickUpPc	178	AlhHwaih
005	GoMyWay	064	Frippers	123	RdRiverR	179	Babylon
006	HowDeep!	065	LoveLove	124	SatsfyGt	180	Barbado1
007	HurryLuv	066	LuckySax	125	Sheriff	181	Barbado2
008	I breath	067	LuvStory	126	SmokeWtr	182	BirdySyn
009	I'm Torn	068	MyPrince	127	TwistAgn	183	FestaMex
010	Imagine	069	OSoleMio	128	VenusPop	184	HandsPty
011	ISurvive	070	PalomaGt	リズム&ブルース		185	LuvTheme
012	JustCall	071	PuppetBr	129	AmazingG	186	ModrnTlk
013	JustWay	072	Raindrop	130	BoogiePf	187	MovStar
014	LoveMeT	073	RedMouln	131	Clock Rk	188	NxtAlice
015	My Baby	074	R'ticGtr	132	CU later	189	Obaladi
016	NikitTrp	075	Schiwago	133	GreenDor	190	PalomaFl
017	NoMatter	076	ShadowGt	134	HappyDay	191	PubPiano
018	ProudGtr	077	SingRain	135	JohnnyB	192	Tijuana
019	SailingSx	078	SmallWld	136	MercyBrs	193	Why MCA?
020	Sept.Pop	079	SpkSoft	137	OldHouse	ボールルーム	
021	SultanSw	080	SpnishEy	138	RisingSn	194	BrazilBr
022	SweetLrd	081	StrangeN	139	S Preems	195	CherryBr
023	ThnkMsc	082	TieRibbn	140	ShookUp	196	CherryOr
024	TitanicH	083	TimeGoes	141	SuperStv	197	DanubeWv
025	WantToBe	084	WhteXmas	142	TeddyBer	198	MantoStr
026	WatchGrl	085	WishStar	143	Yeh Orgn	199	SandmnFx
027	WhatALoo	086	WondrWld	ヒップホップハウス		200	SundyNvr
028	WhitePle	ロマンティックバラード		144	2 of US	201	TangoPiz
029	YestDGtr	087	AdelineB	145	B Leave	202	Tea4Two
スイング&ジャズ		088	ArgenCry	146	Back St	203	TulipWtz
030	Alex Rag	089	BeautBdy	147	FunkyTwn	204	YesSirQk
031	Blue Set	090	BI Bayou	148	KillSoft	トラディショナル	
032	DayOfW&R	091	CatMemry	149	MiamiTrn	205	AlpenTri
033	HighMoon	092	CavaSolo	150	Nine PM	206	Balalaik
034	MistySax	093	E Weiss	151	SingBack	207	Ceilidh
035	MoonLit	094	ElvGhett	152	StrandD	208	CielPari
036	New York	095	Feeling	ラテン		209	CI Polka
037	PanthrSw	096	Fly Away	153	BambaBrs	210	Comrades
038	PatrolBr	097	Fnl Date	154	BambaFlt	211	DnceLord
039	PatrolSx	098	GreenSlv	155	BeHappy!	212	Funiculi
040	PetiteCl	099	GtCncert	156	CopaLola	213	HappyPlk
041	RedRoses	100	HrdToSay	157	DayNight	214	Herzlin
042	SaintMch	101	LonlyPan	158	Ipanema	215	HornPipe
043	SatinWd	102	MBoxDnce	159	MarinaAc	216	JinglBel
044	SaxMood	103	Mn Rivr	160	MuchoTrb	217	Kufstein
045	SF Heart	104	Norw.Flt	161	SmoothLt	218	LindoMex
046	ShearJz	105	OnMyMnd	162	SunOfLif	219	MexiHat
047	Showbiz	106	OverRbow	163	Sunshine	220	MickyFit
048	SplinkyTb	107	Red Lady	164	Tico Org	221	NavyAway
049	SunnySde	108	ReleseMe	165	TrbWave	222	RlBarrel
050	TstHoney	109	SavingLv	カントリー & ウェスタン		223	SnowWtz
051	TwoFoot5	110	Shore Cl	166	BCountry	224	StarMrch
052	WhatsNew	111	SierraMd	167	BlownWnd	225	WashPost
053	Wild Cat	112	SilverMn	168	Bonanza	226	WdCuttrs
054	WondrLnd	113	SmokyEye	169	BoxerGtr	227	XmasWalz
イージーリスニング		114	SndOfSil	170	CntryRds		
055	BlackFst	115	TblWater	171	GreenGrs		
056	ByeBlues	116	WhereLov	172	Jambala		
057	CaliBlue	117	WhisprSx	173	LondonSt		
058	CiaoCpri	118	WomanLov	174	LooseEL		

# エフェクトタイプリスト






















## [ リバーブタイプリスト ]

No.	タイプ	解説
01~03	Hall 1~3 (ホール1~3)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
04~05	Room 1~2 (ルーム1~2)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
06~07	Stage 1~2 (ステージ1~2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
08~09	Plate 1~2 (プレート1~2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
10	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

## [ DSPタイプリスト ]

No.	タイプ	解説
01~03	Hall 1~3 (ホール1~3)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
04~05	Room 1~2 (ルーム1~2)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
06~07	Stage 1~2 (ステージ1~2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
08~09	Plate 1~2 (プレート1~2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
10~11	Early Reflection 1~2 (アーリーリフレクション1~2)	リバーブの初期反射音のみ取り出したエフェクトです。
12	Gate Reverb (ゲートリバーブ)	ゲートリバーブをシミュレートしたものです。
13	Reverse Gate (リバースゲート)	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたものです。
14~15	Chorus 1~2 (コーラス1~2)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
16~17	Flanger 1~2 (フランジャー 1~2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
18	Symphonic (シンフォニック)	音にうねりと広がりを与える効果です。
19	Phaser (フェーザー)	位相(フェイズ)を周期的に変化させ、音にうねりを持たせます。
20~21	Rotary Speaker 1~2 (ロータリースピーカー 1~2)	回転スピーカーをシミュレートした効果です。
22~23	Tremolo 1~2 (トレモロ1~2)	音量を周期的に変化させて音の揺れを作り出す効果です。
24	Guitar Tremolo (ギタートレモロ)	エレクトリックギターのトレモロをシミュレートしたものです。
25	Auto Pan (オートパン)	音の定位を左右、前後に周期的に移動させるプログラムです。
26	Auto Wah (オートワウ)	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。
27	Delay Left - Center - Right (ディレイ Left - Center - Right)	Left, Center, Rightの3本のディレイ音を発生するプログラムです。
28	Delay Left - Right (ディレイ Left - Right)	Left, Rightの2本のディレイ音を発生するプログラムです。2本のフィードバックディレイを持っています。
29	Echo (エコー)	Left, Rightの2本のディレイと、Left, Right独立のフィードバックディレイを持っています。
30	Cross Delay (クロスディレイ)	2本のディレイのフィードバックディレイをクロスさせたプログラムです。
31	Karaoke (カラオケ)	カラオケ用のエコーです。
32	Distortion Hard (ディストーションハード)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ハード)
33	Distortion Soft (ディストーションソフト)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ソフト)
34	Overdrive (オーバードライブ)	音にマイルドな歪みを与えます。NOISE GATEが入っていますので、A/D入力にも向いています。
35	Amp Simulation (ギターアンプシミュレーション)	ギターアンプをシミュレートしたものです。NOISE GATEが入っていますので、A/D入力にも向いています。
36	EQ Disco (イコライザーディスコ)	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスコ風のエフェクト効果が得られます。
37	EQ Telephone (イコライザーテレフォン)	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られます。
38	3Band EQ (3バンドイコライザー)	低域、高域の2つの帯域が強調され、中域が抑えられるように調整されたモノラルタイプのイコライザーです。
39	2Band EQ (2バンドイコライザー)	低域、高域の2つの帯域が強調されるように調整されたステレオタイプのイコライザーです。
40	No Effect (ノーエフェクト)	DSPエフェクトはかかりません。

## [ハーモニータイプリスト]

No.	タイプ	解 説		
01	Duet (デュエット)	メロディに音が重なり、二声になります。		
02	Trio (トリオ)	メロディに、メロディより下の二つの付加音が重なり三声になります。		
03	Block (ブロック)	メロディ音に近い音域の三つのハーモニー音が加わることで、四声のコード音になります。		
04	Country (カントリー)	デュエットのように、メロディに音が重なりますが、この付加音はメロディ音よりも上の音程になります。		
05	Octave (オクターブ)	メロディに1オクターブ下の音が付加されます。		
06	Trill 1/4 (トリル1/4)		2つの音を押しえると、それぞれの音が交互に、選ばれたスピードで繰り返し発音します。	
07	Trill 1/6 (トリル1/6)			
08	Trill 1/8 (トリル1/8)			
09	Trill 1/12 (トリル1/12)			
10	Trill 1/16 (トリル1/16)			
11	Trill 1/24 (トリル1/24)			
12	Trill 1/32 (トリル1/32)			
13	Tremolo 1/4 (トレモロ1/4)			メロディに、選ばれたスピードのトレモロ効果がかかります。
14	Tremolo 1/6 (トレモロ1/6)			
15	Tremolo 1/8 (トレモロ1/8)			
16	Tremolo 1/12 (トレモロ1/12)			
17	Tremolo 1/16 (トレモロ1/16)			
18	Tremolo 1/24 (トレモロ1/24)			
19	Tremolo 1/32 (トレモロ1/32)			
20	Echo 1/4 (エコー 1/4)		メロディに、選ばれたスピードのエコー (こだま) 効果がかかります。	
21	Echo 1/6 (エコー 1/6)			
22	Echo 1/8 (エコー 1/8)			
23	Echo 1/12 (エコー 1/12)			
24	Echo 1/16 (エコー 1/16)			
25	Echo 1/24 (エコー 1/24)			
26	Echo 1/32 (エコー 1/32)			

※ 音色によってエフェクトの効果がわかりにくい場合があります。

# MIDIインプリメンテーションチャート

YAMAHA [ポータブルキーボード]  
Model PSR-450

MIDIインプリメンテーションチャート

Date : 12-DEC-2003  
Version : 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1~16チャンネル ×	1~16チャンネル ×	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 × *****	3 × ×	
ノート番号	音域	0~127 *****	0~127 0~127	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	○ 9nH, v=1~127 × 9nH, v=0	○ 9nH, v=1~127 × 9nH, v=0 または 8nH	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチベンダー		○	○	
コントロールチェンジ	0, 32 1 5 7, 10 11 6, 38 64 66, 67 71~74 84 96~97 98~99 100~101	○ × *1 × ○ *1 ○ ○ × *1 × *1 × × ○ × ○	○ ○ × ○ ○ ○ × ○ ○ ○ × ○	バンクセレクト モジュレーションホイール ポルタメントタイム ボリューム/パン エクスプレッション データエントリー サステイン ソステヌート/ソフト サウンドコントローラー ポルタメントコントロール RPNデータインクリメント、デクリメント NRPN LSB、MSB RPN LSB、MSB
プログラムチェンジ	設定可能	○ 0~127 *****	○ 0~127	
エクスクルーシブ		○ *2	○ *2	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	○ ○	○ ○	
その他	オールサウンドオフ リセットオールコントロール ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	○ × × × ○ ×	○ (120, 126, 127) ○ (121) ○ (122) ○ (123~125) ○ ×	

\*1 : 81ページの2参照

モード1 : オムニ・オン、ポリ  
モード3 : オムニ・オフ、ポリ

\*2 : 81ページの3参照

モード2 : オムニ・オン、モノ  
モード4 : オムニ・オフ、モノ

○ : あり  
× : なし



# MIDIデータフォーマット

- MIDI入力は16チャンネルのマルチティンバー音源として機能し、パネル音色やパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、スタイル、およびソングに影響します。
  - MIDIマスターチューン
  - リバーブ、コーラス、DSPの各タイプを変更するシステムエクスクルーシブメッセージ
- これらのコントロールチェンジは、パネル操作によっては送信されないが、ソング、スタイルまたはハーモニー演奏中に送信されることがあります。
- エクスクルーシブ
  - <GMシステムオン>  
F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
    - MIDIマスターチューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。
  - <MIDIマスターボリューム>  
F0H, 7FH, 7FH, 04H, 01H, II, mm, F7H
    - 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
    - mmの値をMIDIマスターボリューム値として使用します。(IIは無視)
  - <MIDIマスターチューニング>  
F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, mm, II, cc, F7H
    - 全チャンネルの音程を一度に変えるメッセージです。
    - mm, IIの値をMIDIマスターチューニング値として使用します。
    - mm, IIのデフォルトは08H, 00Hです。また、nおよびccの値は任意です。
  - <リバーブタイプ>  
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 00H, IIH, mmH, F7H
    - II: リバーブタイプMSB
    - mm: リバーブタイプLSB詳細はエフェクトマップ(82ページ)を参照してください。
  - <コーラスタイプ>  
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 20H, IIH, mmH, F7H
    - II: コーラスタイプMSB
    - mm: コーラスタイプLSB詳細はエフェクトマップ(82ページ)を参照してください。
  - <DSPタイプ>  
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 40H, IIH, mmH, F7H
    - II: DSPタイプMSB
    - mm: DSPタイプLSB詳細はエフェクトマップ(82ページ)を参照してください。
  - <ドライレベル>  
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 08H, 0mH, 11H, IIH, F7H
    - II: ドライレベル
    - 0m: チャンネル番号
- スタイルやソングのスタート時にFAHを、ストップ時にFCHを送信します。クロック設定が外部の場合は、FAH(スタイルのスタート)、FCH(スタイルのストップ)を受信します。
- ローカル オン/オフ  
<ローカル オン> Bn, 7A, 7F  
<ローカル オフ> Bn, 7A, 00
  - n: 無視されます。

## ■ エフェクトマップ .....

- ・ TYPE LSBに、エフェクトタイプを持たない値を受信した場合、LSB=0のタイプとなります。
- ・ ( )内の番号/名前はパネル画面上でのものです。
- ・ 外部機器からのMIDIエクスルーシブデータをPSR-450に送信すれば、PSR-450のパネル操作では設定できないリバーブ/コーラス/DSPタイプを設定することができます。その場合、各エフェクトタイプの設定画面では「-」が表示されます。

### [ リバーブ ]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000	No Effect									
001	(1)Hall1				(2)Hall2	(3)Hall3				
002	Room					(4)Room1		(5)Room2		
003	Stage				(6)Stage1	(7)Stage2				
004	Plate				(8)Plate1	(9)Plate2				
005~127	No Effect									

### [ コーラス ]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000~064	No Effect									
065	Chorus		Chorus2							
066	Celeste					Chorus1				
067	Flanger			Flanger1		Flanger2				
068~127	No Effect									

### [ DSP ]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000	No Effect									
001	(1)Hall1				(2)Hall2	(3)Hall3				
002	Room					(4)Room1		(5)Room2		
003	Stage				(6)Stage1	(7)Stage2				
004	Plate				(8)Plate1	(9)Plate2				
005	Delay L,C,R				(27)Delay L,C,R					
006	(28)Delay L,R									
007	(29)Echo									
008	(30)Cross Delay									
009	(10)Early Reflection1	(11)Early Reflection2								
010	(12)Gate Reverb									
011	(13)Reverse Gate									
012~019	No Effect									
020	(31)Karaoke									
021~064	No Effect									
065	Chorus		(15)Chorus2							
066	Celeste					(14)Chorus1				
067	Flanger			(16)Flanger1		(17)Flanger2				
068	Symphonic				(18)Symphonic					
069	Rotary Speaker				(20)Rotary Speaker1					
070	Tremolo				(22)Tremolo1					
071	Auto Pan				(25)Auto Pan		(21)Rotary Speaker2	(23)Tremolo2	(24)Guitar Tremolo	
072	(19)Phaser									
073	Distortion									
074	(34)Overdrive									
075	(35)Amp Simulation				(32)Distortion Hard	(33)Distortion Soft				
076	(38)3Band EQ				(36)EQ Disco	(37)EQ Telephone				
077	(39)2Band EQ									
078	Auto Wah				(26)Auto Wah					
079~127	No Effect									

# 故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
[電源 入/切](STANDBY/ON) スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が小さくなった。</li> <li>音質が劣化した。</li> <li>リズムが止まる。</li> <li>ソングなどの録音内容が、正しく演奏(再生)されない。</li> <li>突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。</li> </ul>	電池が消耗しています。	6本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
PSR-450から雑音が出る。	PSR-450の近くで携帯電話を使っています。(または呼び出し音が鳴っています)	PSR-450の近くでは携帯電話の電源を切ってください。PSR-450の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。	PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力) 端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
	「ディクショナリー」が「オン」になっています。	「ディクショナリー」を「オフ」にしてください。
	MIDIのローカルが「オフ」に設定されています。	ローカルの設定を「オン」にしてください。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音が途中で途切れる。	PSR-450の最大同時発音数を越えています。	PSR-450の最大同時発音数は32です。スタイルやソングなどを合わせて最大32音の範囲で鳴らすことができます。
スタイルで[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押してもスタイルが鳴らない。	スタイル番号128~140: ピアニスト、または121: ギターセレナーデが選ばれています。	故障ではありません。スタイル番号128~140: ピアニストや、121: ギターセレナーデが選ばれている場合は、ドラムパート以外のスタイルが鳴ります。
スタイルやソングがスタートしない。	クロックの設定が「エクスターナル」に設定されていて、外部クロックが入力されていません。	66ページの「クロックを設定する」の項を参照して、クロックを「インターナル」に設定してください。
スタイルが正しく演奏されない。	スタイル/ソング音量の設定が下がっています。	23ページを参照して、スタイル/ソング音量の設定を確認してください。
	コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切です。	28ページの「スプリットポイントの変更」の項を参照して、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。
フットスイッチのオン/オフが逆になった。	フットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。	電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう1度電源を入れ直してください。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	PSR-450で採用しているAWM音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかに分けて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。

# 仕様一覧

## 鍵盤

- レギュラーサイズ61鍵(C1～C6：タッチレスポンス付)

## 画面

- 大型液晶画面(バックライト付き)

## セットアップ

- 電源 入/切スイッチ
- 全体音量コントロール：大～小

## コントロール

- メニュー [L]、[R]ボタン、SONGボタン、STYLEボタン、VOICEボタン、グランドピアノボタン、メトロノームボタン、数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]、デモボタン、タッチレスポンスボタン、ハーモニーボタン、スプリットボタン、デュアルボタン、設定[▲]、[▼]ボタン、Dict.ボタン、イージーパフォーマー [L]、[R]ボタン、テンポ/タップボタン、ピッチベンドホイール

## 楽器

- 楽器135音色+12ドラムキット+480XG音色(最大同時発音数32)

## スタイル

- 140スタイル+ディスク
- スタイルコントロール：  
スタイル オン/オフ、シンクロストップ、シンクロスタート、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/rit.、メイン/フィルイン
- スタイル音量

## ミュージックデータベース

- 227

## ディクショナリー

## ワンタッチセッティング

## メニュー設定

- トランスポーズ
- スタイル/ソング音量
- メトロノーム音量
- ピッチベンドレンジ
- チューニング
- MIDI
- ハーモニー
- リバーブ
- DSP
- トラックアサイン R
- トラックアサイン L
- トラックオクターブ

## エフェクト

- リバーブ： 9種類
- DSP： 39種類
- ハーモニー： 26種類

## ソング

- ソング5曲+ユーザーソング5曲
- ソング音量

## 録音

- ソング  
ユーザーソング： 5曲  
録音トラック： 1、2、3、4、5/スタイル  
ソングクリア、トラッククリア

## ディスク

- ソング再生、セーブ、ロード、消去、フォーマット、左手/右手トラック選択、SMFセーブ

## MIDI

- クロック
- ローカル オン/オフ
- イニシャルセンド

## 付属端子

- MIDI IN/OUT、FOOT SWITCH、PHONES/OUTPUT、DC IN 12V

## アンプ実用最大出力

- 6W+6W

## スピーカー

- 12cm×2+3cm×2

## 電源

- アダプター： PA-5D
- 電池： 単1乾電池(1.5V)×6

## 電池寿命

- アルカリ電池で約13時間

## 消費電力

- 電源アダプター PA-5D使用時：26W

## 寸法(幅×奥×高mm)

- 952×387×169

## 質量(kg) 乾電池含まず

- 8.5

## 付属品

- 電源アダプター、譜面立て、和文シート、取扱説明書、データディスク、保証書

## オプション(別売)商品

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| • ヘッドフォン    | HPE-150<br>HPE-30 |
| • キーボードスタンド | L-6<br>L-7        |
| • フットスイッチ   | FC4<br>FC5        |
| • MIDIケーブル  | MIDI-03(3m)       |
| • ソフトケース    | SCC-35            |

※仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

# インデックス

<b>A</b>		<b>シ</b>		バックアップ.....41
A-Bリピート.....49		システムメッセージ.....63		早送り.....15
<b>D</b>		実行.....56		バンク.....52
DSPタイプリスト.....78		仕様.....84		伴奏.....18
<b>G</b>		消去.....36		伴奏鍵域.....19
GM.....7		小節表示.....40		<b>ヒ</b>
GMシステムレベル1.....7		初期化(イニシャライズ).....41		ビート表示.....40
<b>M</b>		シンクロスタート.....22		ピッチベンド.....30
MIDI.....62		シンクロストップ.....22		拍子(メトロノーム).....25
MIDIインプリメンテーションチャート.....80		<b>ス</b>		<b>フ</b>
MIDI端子.....11		数字ボタン.....39		フォーマット.....59
<b>S</b>		スタート.....22		付属品.....7
SMF Format 0でセーブ.....57		スタイル.....18		フットスイッチ端子.....11
SONG.....14		スタイル オン/オフ.....19		譜面立て.....11
STYLE.....18		スタイル音量.....23		プログラムチェンジ.....63
<b>V</b>		スタイルトラック.....34		<b>へ</b>
VOICE.....26		スタイルリスト.....76		ヘッドフォン.....11
<b>イ</b>		ストップ.....23		<b>ホ</b>
イージーパフォーマー.....50		スプリット.....28		ボイス.....24
一時停止.....15		スプリットポイント.....28		保証とアフターサービス.....87
イニシャルセンド.....65		<b>セ</b>		<b>マ</b>
イントロ.....20		セーブ.....55		巻戻し.....15
<b>エ</b>		<b>ソ</b>		<b>ミ</b>
エフェクトタイプリスト.....78		ソング.....14		ミュージックデータベース.....16
演奏の準備.....10		ソング音量の調整.....48		<b>メ</b>
エンディング.....23		ソングの録音.....34		メイン.....20
<b>オ</b>		ソングリスト.....14		メインボイス.....29
オプション商品.....84		<b>タ</b>		メトロノーム.....24
音符表示.....40		タッチ感度.....42		メトロノーム音量.....25
音量の設定.....38		タッチレスポンス.....42		メニュー.....38
<b>カ</b>		<b>チ</b>		メロディ音色の変更.....48
外部出力端子.....11		チャンネルメッセージ.....63		メロディトラック.....34
各部の名称.....12		チューニング.....43		<b>ユ</b>
楽器.....26		<b>テ</b>		ユーザー.....34
楽器リスト.....67		ディクショナリー.....46		<b>リ</b>
乾電池.....10		デモ.....14		リタルダンド.....21
<b>ク</b>		デュアル.....29		リバーブ.....32
グランドピアノ.....24		電源アダプター.....10		リバーブタイプリスト.....78
クリア.....36		電源の準備.....10		<b>ル</b>
くり返し.....49		電源を入れる.....10		ルート音.....46
クロック.....66		テンポ.....24		<b>レ</b>
<b>コ</b>		<b>ト</b>		レジストレーションメモリー.....52
コードタイプ(ディクショナリー).....46		トラック.....40		<b>ロ</b>
コード表示.....40		トラックアサイン R/L.....51		ローカルオン/オフ.....64
コード(和音).....47		トラックオクターブ.....55		ロード.....57
故障かな?と思ったら.....83		トラッククリア.....37		録音.....34
<b>サ</b>		ドラムキット.....27		<b>ワ</b>
最大同時発音数.....67		ドラムキットリスト.....27, 74		和文シート.....11
		トランスポーズ.....43		ワンタッチセッティング.....27
		<b>ハ</b>		
		パーソナルコンピューター.....64		
		ハーモニー.....31		
		ハーモニータイプリスト.....79		

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

## ● 保証書

本機には保証書がついています。  
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## ● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。  
下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

### 消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

## ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## ● 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。  
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

## ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ◆ ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラクターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] CSセンター	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL (053) 465-1158

## ◆ ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラピノバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-5272

● 受付日 月曜日～土曜日(日・祝日およびセンターの休業日を除く) ● 受付時間 10:30～19:00

● <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

国内楽器営業本部			
EM営業統括部企画推進室	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5476
PA・DMI事業部			
EKB営業部 CL・PK営業課	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL (053) 460-3275

※名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

## ◆ インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・電子ピアノ/キーボードのホームページ <http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>
- ・ヤマハマニュアルライブラリー <http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」  
ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com/>
- ・よくあるご質問(Q&A/FAQ) <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

# ヤマハ株式会社